



Informatica® Data Quality
10.4.0

アクセラレータガイド

Informatica Data Quality アクセラレータガイド

10.4.0

2019 年 12 月

© 著作権 Informatica LLC 2009, 2020

本ソフトウェアおよびマニュアルは、使用および開示の制限を定めた個別の使用許諾契約のもとでのみ提供されています。本マニュアルのいかなる部分も、いかなる手段（電子的複製、写真複製、録音など）によっても、Informatica LLC の事前の承諾なしに複製または転載することは禁じられています。

米政府の権利プログラム、ソフトウェア、データベース、および関連文書や技術データは、米国政府の顧客に配信され、「商用コンピュータソフトウェア」または「商業技術データ」は、該当する連邦政府の取得規制と代理店固有の補足規定に基づきます。このように、使用、複製、開示、変更、および適応は、適用される政府の契約に規定されている制限およびライセンス条項に従うものとし、政府契約の条項によって適当な範囲において、FAR 52.227-19、商用コンピュータソフトウェアライセンスの追加権利を規定します。

Informatica および Informatica ロゴは、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。Informatica の商標の最新リストは、Web (<https://www.informatica.com/trademarks.html>) にあります。その他の企業名および製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

本ソフトウェアまたはドキュメンテーション（あるいはその両方）の一部は、第三者が保有する著作権の対象となります。必要な第三者の通知は、製品に含まれています。

本マニュアルの情報は、予告なしに変更されることがあります。このドキュメントで問題が見つかった場合は、infa_documentation@informatica.com までご報告ください。

Informatica 製品は、それらが提供される契約の条件に従って保証されます。Informatica は、商品性、特定目的への適合性、非侵害性の保証等を含めて、明示的または黙示的ないかなる種類の保証をせず、本マニュアルの情報を「現状のまま」提供するものとします。

発行日: 2020-06-26

目次

序文	7
Informatica のリソース	7
Informatica Network	7
Informatica ナレッジベース	7
Informatica マニュアル	8
Informatica 製品可用性マトリックス	8
Informatica Velocity	8
Informatica Marketplace	8
Informatica グローバルカスタマサポート	8
第 1 章 : アクセラレータの概要	9
アクセラレータの概要	9
アクセラレータ構造	9
全般アクセラレータの構造	10
データドメインアクセラレータの構造	10
アクセラレータのインストール	11
アクセラレータのインストールのルールとガイドライン	12
ルールとマッピングオブジェクトのインポート	13
データドメインとデータドメイングループのインポート	13
アクセラレータコンポーネント	14
コンテンツセット	16
データドメイン	16
デモンストレーションマッピング	17
参照テーブル	17
ルール仕様	17
規則	17
タグとルール	18
PowerCenter でのアクセラレータの使用	18
第 2 章 : コアアクセラレータ	19
コアアクセラレータの概要	19
コア住所データクレンジングルール	19
コア連絡先データクレンジングルール	21
コア企業データクレンジングルール	22
コア一般データクレンジングルール	22
コア一致および重複排除ルール	28
コア製品データクレンジングルール	29
コアデモンストレーションマッピング	29

第3章：データドメインアクセラレータ	30
データドメインアクセラレータの概要	30
データドメインアクセラレータ内のデータドメイン	30
データドメインアクセラレータ内のカラム名ルール	46
データドメインアクセラレータ内のデータルール	50
第4章：オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ	56
オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータの概要	56
オーストラリア/ニュージーランド住所データクレンジングルール	57
オーストラリア/ニュージーランド複合ルール	58
オーストラリア/ニュージーランド連絡先データクレンジングルール	61
オーストラリア/ニュージーランド企業データクレンジングルール	63
オーストラリア/ニュージーランド一般データクレンジングルール	64
オーストラリア/ニュージーランド一致および重複排除ルール	65
オーストラリア/ニュージーランドデモンストレーションマッピング	68
第5章：BCBS 239/CCAR アクセラレータ	69
BCBS 239/CCAR アクセラレータの概要	69
BCBS 239/CCAR ルール仕様	69
依存ルール	76
BCBS 239/CCAR デモンストレーションマッピング	76
第6章：ブラジルアクセラレータ	77
ブラジルアクセラレータの概要	77
ブラジル住所データクレンジングルール	77
ブラジル複号ルール	78
ブラジル連絡先データクレンジングルール	79
ブラジル企業データクレンジングルール	81
ブラジル一般データクレンジングルール	81
ブラジル一致および重複排除ルール	82
ブラジルデモンストレーションマッピング	83
第7章：金融サービスアクセラレータ	85
金融サービスアクセラレータの概要	85
金融サービスの連絡先データのクレンジングルール	85
金融サービスの財務データのクレンジングルール	86
金融サービスの一般データのクレンジングルール	89
金融サービスの一致および重複排除のルール	89
第8章：フランスアクセラレータ	91
フランスアクセラレータの概要	91
フランス住所データクレンジングルール	91

フランス複合ルール.	92
フランス連絡先データクレンジングルール.	94
フランス企業データクレンジングルール.	95
フランス一般データクレンジングルール.	96
フランス一致および重複排除ルール.	97
フランスデモンストレーションマッピング.	98

第9章: ドイツアクセラレータ. 100

ドイツアクセラレータの概要.	100
ドイツ住所データクレンジングルール.	100
ドイツ複号ルール.	101
ドイツ連絡先データクレンジングルール.	103
ドイツ企業データクレンジングルール.	104
ドイツ一般データクレンジングルール.	104
ドイツ一致および重複排除ルール.	105
ドイツデモンストレーションマッピング.	108

第10章: インドアクセラレータ. 109

インドアクセラレータの概要.	109
インド住所データクレンジングルール.	110
インド連絡先データクレンジングルール.	111
インド企業データクレンジングルール.	111
インド財務データクレンジングルール.	112
インド一般データクレンジングルール.	112
インド一致および重複排除ルール.	113
インド製品データクレンジングルール.	114

第11章: ポルトガルアクセラレータ. 116

ポルトガルアクセラレータの概要.	116
ポルトガル住所データクレンジングルール.	116
ポルトガル複合ルール.	117
ポルトガル連絡先データクレンジングルール.	119
ポルトガル企業データクレンジングルール.	120
ポルトガル一般データクレンジングルール.	120
ポルトガル一致および重複排除ルール.	121
ポルトガルデモンストレーションマッピング.	123

第12章: スペインアクセラレータ. 124

スペインアクセラレータの概要.	124
スペイン住所データクレンジングルール.	124
スペイン連絡先データクレンジングルール.	126
スペイン企業データクレンジングルール.	127
スペイン一般データクレンジングルール.	127

スペイン一致および重複排除ルール.	128
スペインデモンストレーションマッピング.	130
第 13 章 : 英国アクセラレータ.	132
英国アクセラレータの概要.	132
英国住所データクレンジングルール.	132
英国複合ルール.	134
英国連絡先データクレンジングルール.	135
英国企業データクレンジングルール.	137
英国財務データクレンジングルール.	138
英国一般データクレンジングルール.	138
英国一致および重複排除ルール.	139
英国デモンストレーションマッピング.	142
第 14 章 : 米国/カナダアクセラレータ.	143
米国/カナダアクセラレータの概要.	143
米国/カナダ住所データクレンジングルール.	143
米国/カナダ複合ルール.	146
米国/カナダ連絡先データクレンジングルール.	148
米国/カナダ企業データクレンジングの依存関係.	153
米国/カナダ一般データクレンジングルール.	153
米国/カナダ一致および重複排除ルール.	154
米国/カナダデモンストレーションマッピング.	157

序文

Informatica が Data Quality ユーザーに対して準備するアクセラレータの詳細を確認するには、『*Data Quality アクセラレータガイド*』をお読みください。アクセラレータは、国、地域、または業界の一般的なデータ品質の問題に対処するためのコンテンツバンドルです。アクセラレータには、Informatica 環境にインポートできる事前作成されたマップレット、データドメイン、および参照データオブジェクトを含めることができます。

Informatica のリソース

Informatica は、Informatica Network やその他のオンラインポータルを通じてさまざまな製品リソースを提供しています。リソースを使用して Informatica 製品とソリューションを最大限に活用し、その他の Informatica ユーザーや各分野の専門家から知見を得ることができます。

Informatica Network

Informatica Network は、Informatica ナレッジベースや Informatica グローバルカスタマサポートなど、多くのリソースへの入口です。Informatica Network を利用するには、<https://network.informatica.com> にアクセスしてください。

Informatica Network メンバーは、次のオプションを利用できます。

- ナレッジベースで製品リソースを検索できます。
- 製品の提供情報を表示できます。
- サポートケースを作成して確認できます。
- 最寄りの Informatica ユーザーグループネットワークを検索して、他のユーザーと共同作業を行えます。

Informatica ナレッジベース

Informatica ナレッジベースを使用して、ハウツー記事、ベストプラクティス、よくある質問に対する回答など、製品リソースを見つけることができます。

ナレッジベースを検索するには、<https://search.informatica.com> にアクセスしてください。ナレッジベースに関する質問、コメント、ご意見の連絡先は、Informatica ナレッジベースチーム (KB_Feedback@informatica.com) です。

Informatica マニュアル

Informatica マニュアルポータルでは、最新および最近の製品リリースに関するドキュメントの膨大なライブラリを参照できます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

製品マニュアルに関する質問、コメント、ご意見については、Informatica マニュアルチーム (infa_documentation@informatica.com) までご連絡ください。

Informatica 製品可用性マトリックス

製品可用性マトリックス (PAM) には、製品リリースでサポートされるオペレーティングシステム、データベースなどのデータソースおよびターゲットが示されています。Informatica PAM は、<https://network.informatica.com/community/informatica-network/product-availability-matrices> で参照できます。

Informatica Velocity

Informatica Velocity は、Informatica プロフェッショナルサービスが開発したヒントとベストプラクティスのコレクションで、多数のデータ管理プロジェクトから得た実体験に基づいています。Informatica Velocity には、世界中の組織と連携してデータ管理ソリューションを計画、開発、デプロイ、管理する Informatica コンサルタントによる集合知を表しています。

Informatica Velocity リソースには、<http://velocity.informatica.com> からアクセスしてください。Informatica Velocity についての質問、コメント、またはアイデアがある場合は、ips@informatica.com から Informatica プロフェッショナルサービスにお問い合わせください。

Informatica Marketplace

Informatica Marketplace は、お使いの Informatica 製品を拡張したり強化したりするソリューションを検索できるフォーラムです。Marketplace で、Informatica デベロッパーやパートナーからの多数のソリューションを活用すれば、生産性を向上したり、プロジェクトでの実装時間を短縮したりできます。Informatica Marketplace は、<https://marketplace.informatica.com> からアクセスしてください。

Informatica グローバルカスタマサポート

電話または Informatica Network からグローバルサポートセンターに連絡できます。

各地域の Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica Web サイト (<https://www.informatica.com/services-and-training/customer-success-services/contact-us.html>) を参照してください。

Informatica Network でオンラインサポートリソースを見つけるには、<https://network.informatica.com> にアクセスし、eSupport オプションを選択します。

第 1 章

アクセラレータの概要

この章では、以下の項目について説明します。

- [アクセラレータの概要, 9 ページ](#)
- [アクセラレータ構造, 9 ページ](#)
- [アクセラレータのインストール, 11 ページ](#)
- [アクセラレータコンポーネント, 14 ページ](#)
- [タグとルール, 18 ページ](#)
- [PowerCenter でのアクセラレータの使用, 18 ページ](#)

アクセラレータの概要

アクセラレータは、国、地域、または業界の一般的なデータ品質の問題に対処するためのコンテンツバンドルです。アクセラレータには、組織内のデータを分析して強化するために使用できるマップレットまたはルール仕様が含まれることがあります。アクセラレータには、データに含まれる情報のタイプを検出するために使用できるデータドメインが含まれることもあります。

マップレット、ルール仕様、およびデータドメインはモデルリポジトリにインポートします。Informatica は、組織のデータに対して定義できるビジネスルールに対応するためのオブジェクトを設定します。

注: アクセラレータでは、マップレットを識別するために マップレットとルールという用語を使用します。モデルリポジトリにマップレットをインポートすると、Developer tool は *Rules* というフォルダにマップレットオブジェクトを作成します。

Informatica Data Quality には、コアアクセラレータとコアデータドメインアクセラレータが含まれます。その他のアクセラレータは、Informatica から購入してダウンロードできます。

アクセラレータ構造

アクセラレータは、ディレクトリ構造にリポジトリメタデータファイルおよびその他のファイルを含む圧縮ファイルです。ディレクトリ構造は、アクセラレータのタイプによって異なります。全般アクセラレータには、ルール、参照データオブジェクト、デモンストレーションマッピング、およびデモンストレーションデータソースが含まれます。データドメインアクセラレータには、ルール、参照データオブジェクト、データドメイン、およびデータドメイングループが含まれます。

全般アクセラレータの構造

全般アクセラレータには、組織データを分析して強化するルールおよびルールの操作を例示するサンプルマッピングが含まれます。全般アクセラレータには、ルールとマッピングが使用する参照データファイルとソースデータファイルも含まれます。

全般アクセラレータには、以下のディレクトリが含まれます。

- Accelerator_Content
- Accelerator_Sources

Accelerator_Content ディレクトリ

Accelerator_Content ディレクトリには、以下のコンポーネントが含まれます。

アクセラレータ XML ファイル

ルール、ルール仕様、デモンストレーションマッピング、参照テーブル、およびデータオブジェクトのメタデータが含まれます。

参照データファイル

ルール、ルール仕様、およびマッピングがデータ値のさまざまな形式を識別するために使用する参照データが含まれます。参照データファイルは、ディクショナリファイルが複数のディレクトリに格納されている圧縮ファイルです。対応する XML ファイルをインポートする際に圧縮ファイルを指定します。インポートプロセスは、参照データを参照データデータベースのテーブルにコピーします。

注: PowerCenter (R) に対するルールを含むマッピングをエクスポートする場合は、PowerCenter 統合サービスが読み取ることができるディレクトリにディクショナリファイルをコピーします。

Accelerator_Sources ディレクトリ

Accelerator_Sources ディレクトリには、デモンストレーションデータファイルが含まれます。デモンストレーションデータファイルは、デモンストレーションマッピングのソースデータが入った圧縮ファイルです。ソースデータファイルをファイルシステムにコピーします。

データドメインアクセラレータの構造

データドメインアクセラレータには、データセット内の情報のタイプを決定し、データドメインのロジックを定義するルールを決定するデータドメインが含まれます。アクセラレータには、データドメインとルールで使用する参照データファイルも含まれます。

データドメインアクセラレータには、以下のファイルが含まれます。

データドメインのメタデータファイル

データドメインロジックに追加するデータドメインとデータドメイングループのメタデータが含まれます。

ルールのメタデータファイル

データドメインのロジックを定義するルールのメタデータと、データドメインで使用する参照データオブジェクトのメタデータが含まれます。

データドメインの参照データファイル

データドメインが含まれるプロファイルを実行する場合にデータドメインで使用する参照データが含まれます。参照データファイルは、ディクショナリファイルが複数のディレクトリに格納されている圧縮ファイルです。対応する XML ファイルをインポートする際に圧縮ファイルを指定します。インポートプロセスは、参照データを参照データデータベースのテーブルにコピーします。

データドメインルールの参照データファイル

ルールが含まれるデータドメインを実行する場合にルールで使用する参照データが含まれます。参照データファイルは、ディクショナリファイルが複数のディレクトリに格納されている圧縮ファイルです。対応する XML ファイルをインポートする際に圧縮ファイルを指定します。インポートプロセスは、参照データを参照データデータベースのテーブルにコピーします。

アクセラレータのインストール

アクセラレータをインストールするには、モデルリポジトリプロジェクトにリポジトリオブジェクトメタデータをインポートし、デモンストレーションデータファイルをファイルシステムにコピーします。Developer tool を使用してリポジトリオブジェクトをインポートします。

ルールとデモンストレーションマッピングをインポートする場合は、Object Explorer からリポジトリプロジェクトを選択します。データドメインをインポートする場合は、**[設定]** ダイアログボックスからリポジトリプロジェクトを選択します。いずれの場合も、インポート操作によって、XML ファイルに指定されている参照データを含む圧縮ファイルを選択するように求められます。

全般アクセラレータの例

コアアクセラレータに対して以下のメタデータファイルをインポートするとします。

Informatica_Core_Accelerator_1011.xml

メタデータファイルをインポートする場合は、以下の参照データファイルを選択します。

Informatica_Core_Accelerator_1011.zip

データドメインアクセラレータの例

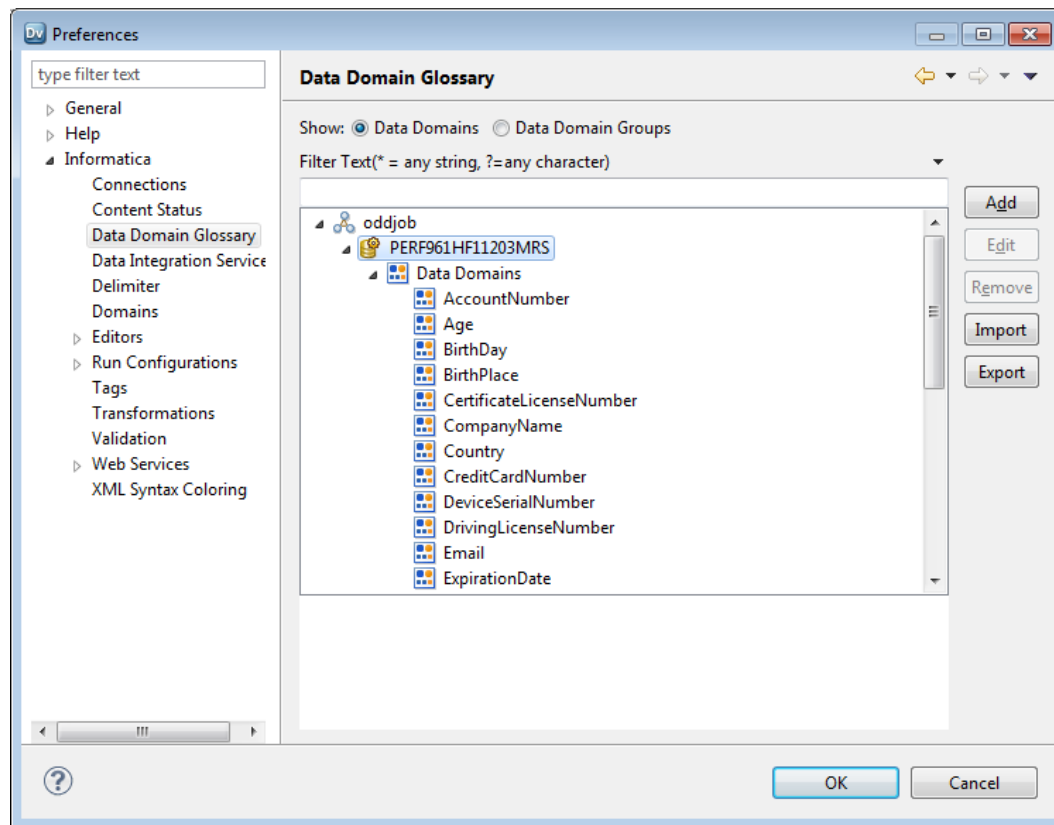
コアデータドメインアクセラレータに対して以下のメタデータファイルをインポートするとします。

Informatica_IDE_DataDomain_1011.xml

メタデータファイルをインポートする場合は、以下の参照データファイルを選択します。

Informatica_IDE_DataDomain_1011.zip

以下の図に、**[設定]** ダイアログボックスのデータドメインを示します。



サンプルマッピングのソースデータ

全般アクセラレータをインポートする場合は、デモンストレーションデータファイルをデータ統合サービスのマシンの以下のディレクトリにコピーします。

<Informatica インストールディレクトリ>\services\DQContent\INFA_Content\demos\source_data

アクセラレータのインストールのルールとガイドライン

アクセラレータのリポジトリオブジェクトとデータファイルは、Informatica システムの他のオブジェクトやファイルと同様に動作します。いくつかのルールとガイドラインがアクセラレータのコンテンツに適用されます。

アクセラレータをインストールする場合は、以下のルールとガイドラインを考慮します。

- ファイルをインポートまたはコピーする前に、データ統合サービス、コンテンツ管理サービス、およびアナリストサービスに対するすべての特権を保有していることを確認します。
- アクセラレータを単一のモデルリポジトリプロジェクトにインポートします。アクセラレータをインポートする前に、プロジェクトを作成します。
- 他のアクセラレータをインストールする前に、コアアクセラレータをインストールします。
- データドメインアクセラレータをインストールする前に、コアデータドメインアクセラレータをインストールします。
- 以前にインポートしたアクセラレータと共通するオブジェクトを含むメタデータファイルをインポートする場合は、リポジトリ内のオブジェクトを置き換えます。

アドレス検証を実行するアクセラレータルールを使用するには、アクセラレータが指定する国のアドレス参照データファイルをダウンロードしてインストールします。ID 照合分析を実行するアクセラレータルールを使用

するには、アクセラレータが指定する国の ID ポピュレーションファイルをダウンロードしてインストールします。アドレス参照データファイルと ID ポピュレーションファイルは、Informatica から購入します。

ルールとマッピングオブジェクトのインポート

Developer tool を使用して、アクセラレータルール、デモンストレーションマッピング、およびマッピングデータソースのメタデータをインポートします。インポート操作中に、ルールとマッピングが使用する参照データファイルを選択します。

1. Developer ツールで、メタデータのターゲットプロジェクトを含むモデルリポジトリに接続します。
2. オブジェクトエクスプローラで、ターゲットプロジェクトを選択します。
例えば、*Informatica_DQ_Content* プロジェクトを選択します。必要に応じて、モデルリポジトリでプロジェクトを作成します。
3. **【ファイル】 > 【インポート】** を選択します。
4. **【インポート】** ダイアログボックスで、**【Informatica】 > 【オブジェクトメタデータファイルのインポート（詳細）】** を選択します。
5. **【次へ】** をクリックします。
6. アクセラレータディレクトリ構造で、XML メタデータファイルに移動してファイルを選択します。
7. **【開く】** をクリックし、**【次へ】** をクリックします。
8. **【ソース】** ペインで、プロジェクトノードの下に表示される項目を選択します。
9. **【ターゲット】** ペインで、ターゲットプロジェクトを選択します。
10. **【ターゲットに追加】** をクリックします。
 - 追加するオブジェクトがリポジトリプロジェクトに含まれる場合、Developer tool からそのオブジェクトを現在のオブジェクトにマージするように求められます。**【はい】** をクリックしてオブジェクトをマージします。
 - Developer tool からオブジェクトの名前を変更するように求められたら **【いいえ】** をクリックします。
 - **【ソース】** ペインにオブジェクトが残っている場合は、ポインタを使用してオブジェクトをターゲットプロジェクトに移動します。
11. **【次へ】** をクリックします。
12. アクセラレータディレクトリ構造で、圧縮された参照データファイルに移動してファイルを選択します。
13. **【開く】** をクリックします。
14. コードページが UTF-8 であることを確認し、**【次へ】** をクリックします。
15. **【ターゲット接続】** フィールドで、参照データデータベースを選択します。
16. **【完了】** をクリックします。

データドメインとデータドメイングループのインポート

【設定】 ダイアログボックスを使用して、データドメインとデータドメイングループのメタデータをインポートします。インポート操作中に、データドメインが使用する参照データファイルを選択します。

1. Developer ツールで、メタデータのターゲットプロジェクトを含むモデルリポジトリに接続します。
2. **【ウィンドウ】 > 【設定】** を選択します。
3. **【設定】** ダイアログボックスで Informatica ノードを展開し、**【データドメイングロッサリ】** を選択します。
4. リポジトリペインで、データドメインまたはデータドメイングループの最上位ノードを選択します。
5. **【インポート】** をクリックします。

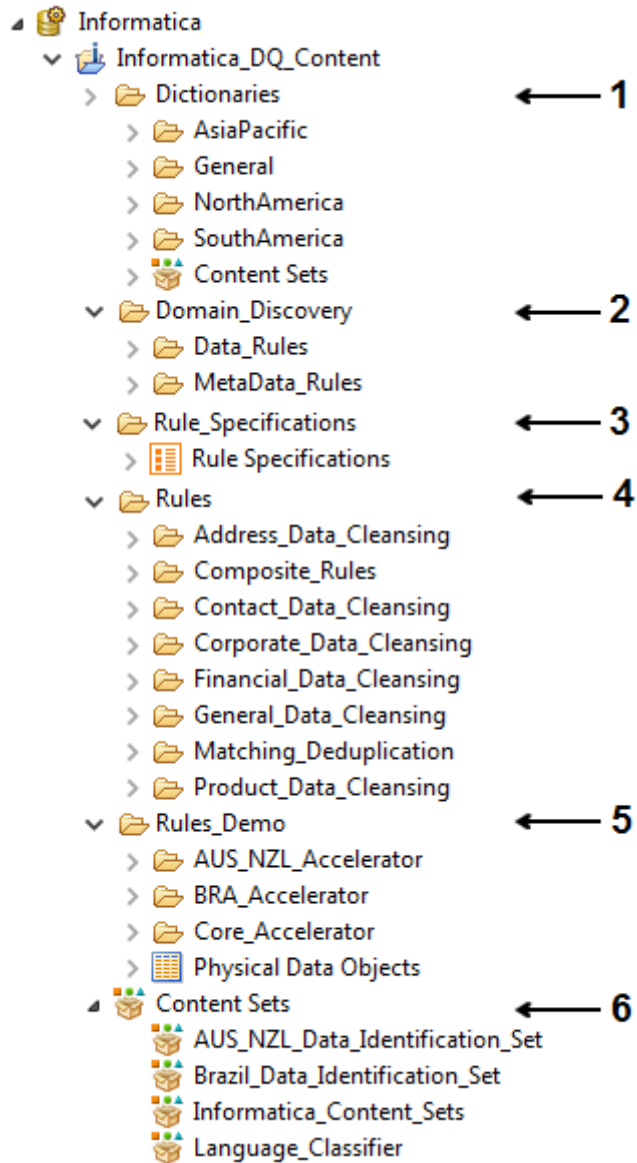
6. アクセラレータディレクトリ構造で、XML メタデータファイルに移動してファイルを選択します。
7. **【開く】** をクリックし、**【次へ】** をクリックします。
8. **【ソース】** ペインで、データドメインプロジェクトを選択します。
9. **【ターゲット】** ペインで、ターゲットプロジェクトを選択します。
10. **【解決】** フィールドで、以下のオプションを選択します。
【ターゲットの置換オプション】
11. **【ターゲットにコンテンツを追加】** をクリックします。
 - Developer tool からオブジェクトを追加するように求められたら **【はい】** をクリックします。
 - Developer tool からオブジェクトの名前を変更するように求められたら **【いいえ】** をクリックします。
12. **【次へ】** をクリックします。
13. インポート操作が依存関係を特定した場合は、ソースプロジェクトからターゲットプロジェクトに依存オブジェクトをコピーします。
14. **【次へ】** をクリックします。
15. アクセラレータディレクトリ構造で、圧縮された参照データファイルに移動してファイルを選択します。
16. **【開く】** をクリックします。
17. コードページが UTF-8 であることを確認し、**【次へ】** をクリックします。
18. **【ターゲット接続】** フィールドで、参照データデータベースを選択します。
19. **【完了】** をクリックします。

アクセラレータコンポーネント

アクセラレータをインポートすると、Developer tool はアクセラレータが指定するルール、データドメイン、およびその他のオブジェクトのフォルダを作成します。各フォルダには、国別と、実行されるデータ品質操作の種類別に、オブジェクトを整理するサブフォルダが含まれます。

コアアクセラレータを使用して、リポジトリプロジェクトにフォルダを作成します。追加のアクセラレータをインポートする場合は、プロジェクトにオブジェクトとフォルダを追加します。

次の図は、プロジェクトに複数のアクセラレータをインポートする場合の Informatica_DQ_Content プロジェクトフォルダの構造を示しています。



1. Dictionaries フォルダ
2. Domain_Discovery フォルダ
3. Rule_Specifications フォルダ
4. Rules フォルダ
5. Rules_Demo フォルダ
6. Content Sets フォルダ

このプロジェクトには、以下に示す最上位レベルのフォルダが含まれます。

Dictionaries

Dictionaries フォルダには、参照テーブルオブジェクトが含まれます。各オブジェクトは、参照データデータベースのテーブルを参照します。

Domain_Discovery

Domain_Discovery フォルダには、インストールするアクセラレータのデータドメインを定義するルールが含まれます。このフォルダには、Data_Rules フォルダと Metadata_Rules フォルダが含まれます。Data_Rules フォルダのルールは、カラムデータ値を分析するデータドメインに対応します。Metadata_Rules フォルダのルールは、カラム名を分析するデータドメインに対応します。

Rule_Specifications

Rule_Specifications フォルダには、ビジネスルールに対してデータを検証するために使用するルール仕様が含まれます。

Rules

Rules フォルダには、データを分析および強化するために使用するルールが含まれます。

Rules_Demo

Rules_Demo フォルダには、デモンストレーションマッピングとデモンストレーションデータソースが含まれます。

Content Sets

Content Sets フォルダには、参照データデータベースのデータを指定しない参照データオブジェクトが含まれます。

コンテンツセット

コンテンツセットとは、データベーステーブルにデータを格納しない参照データオブジェクトのことです。コンテンツセットには、文字セット、パターンセット、正規表現、トークンセット、確率的なモデル、分類子モデルなどが含まれます。

インポート操作では、次のリポジトリフォルダにルールが追加されます。

[Informatica_DQ_Content]\Content Sets

注: コンテンツセット内の要素の一覧を表示するには、Developer ツールでコンテンツセットを開き、**[タグ]** タブを選択します。

データドメイン

データドメインは、カラム内の 1 つのタイプのビジネス情報を表すことができるデータ値を示します。データドメインを使用してカラム内の情報のタイプを決定し、カラムに指定したタイプの情報を検索します。アクセラレータには、社会保険番号、クレジットカード番号、電子メールアドレス、役職などのさまざまなタイプの情報のデータドメインが含まれます。

例えば、データベーステーブルには、すべてのユーザーが読むことができるコメントカラムに社会保険番号が含まれることがあります。社会保険番号を含むレコードを識別し、社会保険番号を削除するか、または移動する必要があります。プロファイルに SSN データドメインを追加し、コメントカラムに対してプロファイルを実行します。

データドメインは、1 つ以上のデータドメイングループに割り当てることができます。データドメイングループを使用して、データドメインが実行するビジネス分析のタイプに基づいてデータドメインを編成します。データドメイングループには、モデルリポジトリに追加するデータドメインとデータドメイングループが一覧表示されます。Developer tool の **[設定]** メニューを使用して、データドメインをデータドメイングループに追加します。データドメインのデータの定義を更新するには、データドメインアクセラレータのルールを使用します。

注: Object Explorer でデータドメインオブジェクトを表示することはできません。

デモンストレーションマッピング

デモンストレーションマッピングは、データソースに 1 つ以上のルールを適用して結果を他のデータソースに書き込むランタイムオブジェクトです。デモンストレーションマッピングは、他のマッピングのテンプレートとして使用できます。

インポート操作では、次のリポジトリフォルダにマッピングとデータソースオブジェクトが追加されます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo

アクセラレータをインポートするときには、インポート操作によりデモンストレーションマッピングのデータソースが Rules_Demo フォルダに追加されます。データソースファイルを、Accelerator_Sources ディレクトリからファイルシステムにコピーしてください。

参照テーブル

参照テーブルには標準および代替バージョンの一連のデータ値が含まれます。ルールは、参照テーブルを使用して、データ値が正確であり、正しく書式設定されていることを確認します。

インポート操作では、次のリポジトリフォルダに参照テーブルが追加されます。

[Informatica_DQ_Content]\Dictionaries

ルール仕様

ルール仕様は、ビジネスルールのデータ要件を論理的な形式で表すアセットです。

インポート操作では、次のリポジトリフォルダにルール仕様が追加されます。

[Informatica_DQ_Content]\Rule_Specifications

ルール仕様は、組織のビジネスルール内でよく発生する質問に回答することを意図しています。例えば、ルール仕様はビジネスデータが満たす必要がある 1 つまたは複数の条件を定義することができます。ルール仕様とマッピングは非常に似ていることがあり、これらは同じバックグラウンドデータ分析およびデータトランスフォーメーション処理を使用できます。データアナリストは Analyst ツールの設計ワークスペースでルール仕様を作成できます。

規則

アクセラレータルールは、データ分析とデータトランスフォーメーション操作の範囲を定義します。マッピングには単一のルールまたは一式のルールを追加できます。

アクセラレータルールを使用して、次のデータ品質タスクを実行します。

アドレス検証

郵便アドレスレコード内のデータを検証し、改善します。ルールにはアドレス参照データファイルが必要です。

データ解析

レコードの情報を解析します。解析ルールでは、人名、組織名、電話番号、日付、ID 番号など、複数のタイプの情報を抽出できます。

データ標準化

データ値のスペルとフォーマットを標準化します。標準化ルールでは、人名、組織名、電話番号、日付、ID 番号など、複数のタイプの情報の特定と修正を行うことができます。

重複分析

データセット内の重複レコードを検索します。重複分析ルールは、データセット内のレコードを比較し、レコード同士がどの程度似ているかを示す数値スコアを生成します。

重複分析ルールは、一般的な企業データが含まれるレコードと、ID データが含まれるレコードを読み取ることができます。ID データルールには、ID ポピュレーションデータファイルが必要です。

インポート操作では、次のリポジトリフォルダにルールが追加されます。

```
[Informatica_DQ_Content]\Rules
```

アドレス検証、データ解析、データの標準化の各操作を行うルールは、アクセラレータプロジェクトのデータクレンジングサブフォルダにインストールされます。重複分析を実行するルールは、アクセラレータプロジェクトの *Matching_Deduplication* サブフォルダに入っています。

国または地域のルールをインポートする場合は、複合ルールのサブフォルダを追加します。複合ルールは、入れ子形式で複数のルールを結合して単一のルールにします。

タグとルール

アクセラレータルールには、そのルールが読み取ることができるデータの種類の種類とそのルールが実行できる操作の種類を示すタグが含まれます。

ルールに適用されるタグを確認するには、Developer ツールでそのルールを開き、[タグ] タブをクリックします。指定するタグが含まれるアクセラレータを確認するには、Developer ツールの [検索] オプションを使用します。

PowerCenter でのアクセラレータの使用

ルールとマッピングは、モデルリポジトリからファイルシステムと PowerCenter リポジトリにエクスポートできます。オブジェクトをエクスポートする場合は、参照テーブル、データオブジェクト、およびエクスポートするオブジェクトに対するその他の依存関係を選択します。

エクスポート操作により、ファイルシステムに参照テーブルデータがコピーされます。ファイルを PowerCenter 統合サービスのホストマシンにコピーします。PowerCenter のディレクトリ構造の参照データファイルの場所は、モデルリポジトリのフォルダ構造の参照テーブルの場所に対応する必要があります。

以下のパスに、PowerCenter のインストールの参照データオブジェクトのディレクトリ構造の例を示します。

```
<Informatica_installation_directory>\services\<Model_repository_project_name>  
\<Model_repository_project_folder_name>
```

注: PowerCenter 製品のバージョンが Developer tool のバージョンに一致しない場合は、PowerCenter 環境に Data Quality 統合プラグインが含まれていることを確認します。

Data Quality の PowerCenter との統合についての詳細は、『Informatica Data Quality 統合（PowerCenter 用）ユーザーガイド』を参照してください。

第 2 章

コアアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [コアアクセラレータの概要, 19 ページ](#)
- [コア住所データクレンジングルール, 19 ページ](#)
- [コア連絡先データクレンジングルール, 21 ページ](#)
- [コア企業データクレンジングルール, 22 ページ](#)
- [コア一般データクレンジングルール, 22 ページ](#)
- [コア一致および重複排除ルール, 28 ページ](#)
- [コア製品データクレンジングルール, 29 ページ](#)
- [コアデモンストレーションマッピング, 29 ページ](#)

コアアクセラレータの概要

コアアクセラレータ内のルールは、任意の国または地域のビジネスデータの検証と改善に使用します。

コアアクセラレータには、以下のデータ品質処理を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 企業データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除データのクレンジング
- 製品データクレンジング

コアアクセラレータには、他のアクセラレータが再利用できるマップレットと参照データオブジェクトが含まれます。コアアクセラレータは、他のアクセラレータをインストールする前にインストールします。

コア住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、コアアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
mplt_Global_AddressValidation5_v2_Discrete_Webservice	複数の国の郵便アドレスを検証します。このマップレットは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。 マップレットはアドレス検証 Web サービスを呼び出します。このマップレットは、他の Web サービスマップレットを設定するときにサンプルとして使用してください。
mplt_Global_AddressValidation5_v2_Hybrid_Webservice	複数の国の郵便アドレスを検証します。このマップレットは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。 マップレットはアドレス検証 Web サービスを呼び出します。このマップレットは、他の Web サービスマップレットを設定するときにサンプルとして使用してください。
mplt_Global_AddressValidation5_v2_Multiline_Webservice	複数の国の郵便アドレスを検証します。このマップレットは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。 マップレットはアドレス検証 Web サービスを呼び出します。このマップレットは、他の Web サービスマップレットを設定するときにサンプルとして使用してください。
rule_Calc_Distance_Between_Geocoordinates	2 セットの地理座標間の距離を計算します。
rule_Country_Identification	国を特定します。
rule_Country_Name_Standardization	国名を標準化します。このルールは、国名、2 文字の ISO 国コード、および 3 文字の ISO 国コードを返します。
rule_Geocoordinate_In_Polygon	3 つ以上の地理座標点が定義する領域内の地理座標点の存在を検証します。
rule_Global_Address_Parse_Hybrid	構造化されていない住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_Global_Address_Parse_Multiline	構造化されていない住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_Global_Address_Validation_Discrete	複数の国の住所レコードの配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_Global_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	複数の国の住所レコードの配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

名前	説明
rule_Global_Address_Validation_Hybrid	複数の国の住所レコードの配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_Global_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	複数の国の住所レコードの配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_Global_Address_Validation_Multiline	複数の国の住所レコードの配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_Global_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	複数の国の住所レコードの配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

コア連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、企業担当者と個人についてのデータを解析および検証するために使用します。

連絡先住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

以下の表に、コアアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_Email_Parse	データフィールドの電子メールアドレスを解析します。
rule_Email_Parse_and_Validate	データフィールドの電子メールアドレスを解析し、各電子メールアドレスのフォーマットを検証します。
rule_Email_Parse_Into_Mailbox_Domain	電子メールアドレスをメールボックスポート、ドメインポート、およびサブドメインポートに解析します。例えば、このルールは <i>info@informatica.com</i> を以下のように解析します。 <ul style="list-style-type: none"> - メールボックス: info - サブドメイン: informatica - ドメイン: com

名前	説明
rule_Email_Validation	電子メールアドレスのフォーマットを検証します。このルールは、電子メールアドレスが正確またはアクティブであることは確認しません。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
rule_Identify_Suspect_Names	正当な人名でない可能性がある名前を特定します。このルールは、入力値を、正当でない可能性がある名前の参照テーブルと照合します。例えば、参照テーブルには、架空の人物の名前が含まれます。
rule_Phone_Country_Code_Validation	電話番号の国コードが指定された国名に対して正しいことを確認します。 国名が米国領土を示す場合、ルールは国コードが正しいことと、3桁の市外局番が米国領土の有効な市外局番であることを確認します。例えば、ルールは 1340 を米領バーゲン諸島の国コードおよび地域コードとして検証します。

コア企業データクレンジングルール

コアアクセラレータ内の企業データクレンジングルールは、企業データを標準化するために使用します。

企業データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Corporate_Data_Cleansing

以下の表に、コアアクセラレータ内の企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_Company_Name_Standardization	参照テーブルを使用して、会社名を標準化します。

コア一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、データを解析、標準化、および検証するために使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、コアアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
mplt_Parse_Tokens_Into_Single_Field	スペース区切りの文字列内の各単語を個々のポートに解析します。
rule_Add_Leading_Zero	文字列の先頭に数字「0」を追加します。

名前	説明
rule_Add_Parentheses_At_Start_End_of_Line	文字列の先頭および末尾に丸括弧記号を追加します。
rule_Add_Plus_To_Start_of_Line	文字列の先頭にプラス記号を追加します。
rule_Add_Space_Around_Ampersand	文字列内のすべてのアンパサンドの前後にスペースを追加します。
rule_Add_Space_Around_Hyphen	文字列内のすべてのダッシュおよびハイフンの前後にスペースを追加します。
rule_Add_Space_Between_Number_Letter	1つの数字と1つの英文字で構成される文字ペアの間にスペースを追加します。このマップレットは、左から右の順で、データ内の最初の数字/英文字ペアにスペースを追加します。
rule_Add_Spaces_Around_Period	文字列内のすべてのピリオドの前後にスペースを追加します。
rule_AllTrim	入力データフィールドから、先頭および末尾のすべてのスペースを削除します。
rule_Assign_DQ_AddressResolutionCode_Description	アドレスバリデータトランスフォーメーションの【アドレス解決コード】出力に説明を割り当てます。
rule_Assign_DQ_ElementInputStatus_Description	アドレスバリデータトランスフォーメーションの【要素入力ステータス】出力に説明を割り当てます。この説明は、Data Quality 9.0 よりも前のリリースにおける Data Quality トランスフォーメーションからの出力に対応しています。
rule_Assign_DQ_ElementRelevance_Description	アドレスバリデータトランスフォーメーションの【要素の関連性】出力に説明列を割り当てます。この説明は、Data Quality 9.0 よりも前のリリースにおける Data Quality トランスフォーメーションからの出力に対応しています。
rule_Assign_DQ_ElementResultStatus_Description	アドレスバリデータトランスフォーメーションの【要素の結果ステータス】出力に説明を割り当てます。この説明は、Data Quality 9.0 よりも前のリリースにおける Data Quality トランスフォーメーションからの出力に対応しています。
rule_Assign_DQ_ExtendedElementStatus_Description	アドレスバリデータトランスフォーメーションの【拡張要素の結果ステータス】出力に説明を割り当てます。
rule_Assign_DQ_GeocodingStatus_Description	アドレスバリデータトランスフォーメーションの【ジオコーディングのステータス】出力に説明を割り当てます。この説明は、Data Quality 9.0 よりも前のリリースにおける Data Quality トランスフォーメーションからの出力に対応しています。
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	アドレスバリデータトランスフォーメーションの【郵送可能スコア】出力に説明を割り当てます。この説明は、Data Quality 9.0 よりも前のリリースにおける Data Quality トランスフォーメーションからの出力に対応しています。
rule_Assign_DQ_Match_Code_Description	アドレスバリデータトランスフォーメーションの【照合コード】出力に説明を割り当てます。この説明は、Data Quality 9.0 よりも前のリリースにおける Data Quality トランスフォーメーションからの出力に対応しています。

名前	説明
rule_Classify_Language	<p>文字列を、以下のいずれかの言語に分類します。アラビア語、オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、トルコ語。このルールは、Language_Classifier コンテンツセットを使用して言語を識別します。</p> <p>注: このルールは、分析する各文字列の言語を返します。ルールによって認識されない言語に文字列が属している場合は、文字列内のテキストに最も近い言語を返します。</p>
rule_Compare_Dates	<p>2 つの日付間の差異を計算します。このマップレットは以下の測定単位を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 時間 - 日 - 月 - 年 <p>各出力値は、他の値とは排他的です。出力を加算してデータ値間の差異を表すことはできません。</p>
rule_Completeness	<p>1 つのポートをチェックし、NULL 値がないかを確認します。ポートにデータが含まれる場合、「Complete」を返します。ポートが空であるか、ポートに NULL 値が含まれる場合、「Incomplete」を返します。</p>
rule_Completeness_Multi_Port	<p>複数のポートで NULL 値を確認します。すべてのポートにデータが含まれる場合、「Complete」を返します。ポートのどれかが空であるか、ポートのどれかに NULL 値が含まれる場合、「Incomplete」を返します。</p>
rule_Concatenate_Words	<p>2 つのフィールドを連結します。スペース文字を区切りとして使用します。</p>
rule_Convert_Match_Codes_to_Legacy_Values	<p>アドレスバリデータトランスフォーメーションの [照合コード] ポートからの出力を、Data Quality 8.6 における同等のアドレス検証照合コードに変換します。</p>
rule_CreditCard_Number_Validation	<p>Luhn アルゴリズムを使用するクレジットカードのクレジットカード番号を検証します。検証が行われるのは次のようなクレジットカードです（これらに限定されません）。</p> <ul style="list-style-type: none"> - American Express - Diners Club Carte Blanche - Diners Club International - Diners Club US & Canada - Discover Card - JCB - Maestro - Master Card - Solo - Switch - Visa - Visa Electron <p>このルールは、「有効」または「無効」を返します。</p>
rule_Date_Complete	<p>ルールで認識される日付フォーマットに入力文字列が従っていることを検証します。このルールは、以下の参照データオブジェクトを読み取ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> - user_defined_dates_infa

名前	説明
rule_Date_of_Birth_Validation	誕生日と現在の日付との間の年数をチェックします。この年数が 120 未満の場合は、「Valid」とともに「Adult」（成人）または「Minor」（未成年）を返します。この年数が 120 を超える場合は、「Invalid」を返します。
rule_Date_Parse	文字列の日付データを、ルールで指定したポートに解析します。このルールは、以下のフォーマットの日付を認識します。 <ul style="list-style-type: none"> - dd/mm/yyyy - mm/dd/yyyy - yyyy/dd/mm このルールは日付を返し、日付のない入力テキストを含む文字列も返します。
rule_Date_Standardization	日付文字列を、ユーザーが指定する出力形式に標準化します。出力形式を設定するには、このルール内の dq_FormatDate 式トランスフォーメーションを開き、Output_Date_Format 式変数と Delimiter 式変数を更新します。入力データに有効な日付が指定されない場合、このルールは入力文字ごとに数字 0 を返します。
rule_Date_Validation	データカラムに単一の形式で表示される日付文字列を検証します。このルールが検証に使用する日付フォーマットを設定するには、ルール内の dq_ValidateDate 式トランスフォーメーションを開き、In_Date_Format 式変数を更新します。デフォルトの形式は「月/日/年」です。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
rule_Date_Validation_Variable_Format	データカラムに複数の形式で表示される日付文字列を検証します。データソースに以下のカラムが含まれる場合はルールを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> - 複数の形式の日付値を含むカラム。 - 各行の日付値の形式を識別するカラム。カラムによって行の日付フォーマットが識別されない場合、ルールは日付値に「MM/DD/YYYY」の形式を適用します。 ルールは、is_date()関数が認識するすべてのデータ値を読み取ります。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
rule_Days_Between_Dates	2 つの日付の間の日数を計算します。
rule_Days_From_Current_Date	指定された日付と現在の日付との間の日数を計算します。
rule_EAN13_Algorithm	国際商品番号（International Article Number）を検証します。番号のチェックデジットが正しい場合は「Valid」を返し、チェックデジットが正しくない場合は「Invalid」を返します。
rule_GTIN_Validation	国際取引商品番号（GTIN）を検証します。このルールは、8 桁、12 桁、13 桁、および 14 桁の番号を検証します。番号のチェックデジットが正しい場合は「Valid」を返し、チェックデジットが正しくない場合は「Invalid」を返します。
rule_IsNumeric	入力データが数字であることを確認します。「True」または「False」が返されます。
rule_LowerCase	すべての英文字を小文字で返します。

名前	説明
rule_Luhn_Algorithm	数値文字列に Luhn アルゴリズムを適用します。このルールは、クレジットカード番号などの数値文字列を検証できます。
rule_Mask_Profanity	入力データをチェックし、不敬な表現がないかを確認します。不敬な表現は、出力データで「CENSORED」という語句でマスクします。
rule_Negative_Number_Validation	入力データが負の数値であることを確認します。
rule_Numeric_Completeness	数値入力内に NULL 値が含まれないかを確認します。
rule_Parse_Alpha_Chars_from_Non_Alpha_Chars	入力文字列内の英字と英字以外の文字を識別し、各文字セットをさまざまな出力ポートに書き込みます。例えば、ルールでは入力文字 teststring_123 から次の値を解析します。 teststring _123
rule_Parse_First_Word	入力文字列内の最初の単語を、ルールで指定したポートに解析します。
rule_Parse_Number_At_End_Of_Line	入力文字列の最後に出現した任意の数字を、ルールで指定したポートに解析します。このルールは、左から右の順に文字列を読み取ります。
rule_Parse_Number_At_Start_Of_Line	入力文字列の最初に出現した任意の数字を、ルールで指定したポートに解析します。このルールは、左から右の順に文字列を読み取ります。
rule_Parse_Profanity	文字列を俗語の参照テーブルと照合し、参照テーブルの値と一致するすべての用語を、ルールで指定したポートに解析します。
rule_Parse_Text_Between_Parentheses	丸括弧で囲まれた文字列を、ルールで指定したポートに解析します。このルールには、解析された文字列の出力ポートと、解析された文字列を含まない入力テキストの出力ポートが含まれます。
rule_Parse_Text_in_Single_Quotes	引用符で囲まれた文字列を、ルールで指定したポートに解析します。入力データに引用符で囲まれた要素が複数含まれる場合は、最後の要素を解析します。このルールは、左から右の順に入力文字列を読み取ります。このルールには、解析された文字列の出力ポートと、解析された文字列を含まない入力テキストの出力ポートが含まれます。
rule_Past_Date_Label	入力日付がシステム日付よりも前であるかシステム日付よりも後であるかを確認します。
rule_Personal_Company_Identification	人名と会社名を、ルールで指定した異なるポートに解析します。このルールには次の出力があります。 - 人名 - 会社名 - 人名や会社名などのデータカテゴリ - ルールで解析できないデータ
rule_Positive_Number_Validation	入力データが正の数値であることを確認します。

名前	説明
rule_Prepending_Zero_to_Single_Digit	単一の数字の前に数字「0」を追加します。
rule_Remove_All_Leading_Zeros	文字列の先頭に出現している数値文字「0」をすべて削除します。
rule_Remove_Apostrophe	アポストロフィを削除します。このルールは、アポストロフィの両側にあるテキスト文字列をマージします。
rule_Remove_Control_Characters	テキスト文字列から制御文字を削除します。このルールは、制御文字を含む文字列と、制御文字のない入力テキストを含む文字列を返します。
rule_Remove_Extra_Spaces	すべての連続するスペースを単一のスペースで置換し、前後のスペースを削除します。
rule_Remove_Hyphen	ハイフンを削除します。
rule_Remove_Leading_Zero	文字列の先頭から、数字「0」を1つ削除します。
rule_Remove_Limited_Punctuation	外部文字を削除します。外部文字には、スラッシュ、バックスラッシュ、ピリオド、感嘆符、アンダースコア、連続する複数のスペースなどがあります。
rule_Remove_Non_Numbers	数字ではないすべての文字を削除します。
rule_Remove_Parentheses	開始および終了の丸括弧記号を削除します。
rule_Remove_Period	ピリオドを削除します。
rule_Remove_Period_Parentheses	以下の文字を削除します。 - 開始および終了の丸括弧 - ピリオド
rule_Remove_Punctuation	句読記号を削除します。
rule_Remove_Punctuation_and_Space	すべての句読点とすべてのスペース文字を削除します。
rule_Remove_Quotation	引用符を削除します。
rule_Remove_Slashes	スラッシュとバックスラッシュを削除します。
rule_Remove_Space	すべての文字スペースを削除します。
rule_Replace_Ampersand_With_Space	アンパサンドをスペースで置換します。
rule_Replace_Hyphen_Underscore_with_Space	ハイフンとアンダースコアをスペースで置換します。
rule_Replace_Hyphen_with_Space	ハイフンをスペースで置換します。
rule_Replace_Limited_Punct_with_Space	ダッシュ、バックスラッシュ、ピリオド、感嘆符、およびアンダースコアの各句読文字を単一のスペースで置換します。また、連続する2〜4個のスペースを単一のスペースで置換します。

名前	説明
rule_Replace_Non_Alphabetic_with_Space	数字および句読文字を単一のスペースで置換します。
rule_Replace_Period_With_Space	ピリオドを単一のスペースで置換します。
rule_Replace_Punctuation_with_Space	すべての句読点をスペースで置換します。
rule_Replace_Slashes_With_Space	スラッシュとバックスラッシュをスペースで置換します。
rule_Reverse_String_Input	入力文字列内の文字の順序を反転します。
rule_String_Completeness	文字列が完全であるかを確認します。また、入力文字列を検索し、参照テーブル string_default_values_infa 内の値が存在しないことも確認します。この参照テーブルには、NA、DEFAULT、XX などの値が含まれます。入力文字列に参照テーブル内の値が含まれていると、このルールはその文字列を不完全と識別します。
rule_TitleCase	文字列をタイトルケースに変換します。タイトルケースの文字列では、各単語の最初の文字が大文字になります。
rule_Translate_Diacritic_Characters	分音文字を、対応する ASCII 文字で置換します。例えば、「ä」を「a」に変換します。
rule_UpperCase	すべての英文字を大文字で返します。
rule_URL_Validation	URL の形式と構造を検証します。
rule_Years_Since_Date_of_Birth	入力日付以降の年数を計算します。

コア一致および重複排除ルール

一致および重複排除ルールは、重複レコードを特定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、コアアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_Consolidate_and_Remove_Duplicate_Rows	重複レコードのクラスタを単一のレコードとして統合し、不要な重複レコードを削除します。

コア製品データクレンジングルール

製品データクレンジングルールは、製品データを解析、標準化、および検証するために使用します。

製品データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Product_Data_Cleansing

以下の表に、コアアクセラレータ内の製品データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_Color_Parse	色の値を、ルールで指定したポートに解析します。
rule_Parse_Quantity_And_UOM	文字列に含まれる数量と測定単位の最初のインスタンスを、ルールで指定したポートに解析します。このルールは、左から右の順に文字列を読み取り、以下のデータを返します。 <ul style="list-style-type: none">- 数量。- 測定単位。- 数量と測定単位の値を含まない入力文字列。
rule_UOM_Standardization	測定単位を標準化します。このルールは、数量および測定単位の標準化された値と標準化されていない値を返します。また、測定単位が標準化された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_UPC_Validation	統一商品コードを検証し、標準化された統一商品コードを返します。

コアデモンストレーションマッピング

コアアクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\Core_Accelerator

このアクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれます。

m_customer_data_demo

米国およびカナダのデータを解析、標準化、および検証します。

m_product_demo

製品の説明を解析し、説明の品質を検証します。

第 3 章

データドメインアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [データドメインアクセラレータの概要, 30 ページ](#)
- [データドメインアクセラレータ内のデータドメイン, 30 ページ](#)
- [データドメインアクセラレータ内のカラム名ルール, 46 ページ](#)
- [データドメインアクセラレータ内のデータルール, 50 ページ](#)

データドメインアクセラレータの概要

データドメインは、ルールを使用してカラムデータまたはカラム名の機能的な意味を検出するための定義済みまたはユーザー定義のモデルリポジトリオブジェクトです。データドメインルールによって、ソースデータとメタデータに一致するデータパターンとカラム名パターンが定義されます。データドメインルールは、データドメインロジックを更新するために使用できます。

データドメインアクセラレータでデータドメインを使用すると、カラム名またはカラムデータ値に基づいてソースデータの機能的な意味を検出できます。

データドメインアクセラレータには、次のタイプのルールが含まれます。

- データルール。ルールに定義されているロジックに一致するデータを含むカラムを検出します。
- カラム名ルール。ルールに定義されているカラム名ロジックに一致するカラム名のカラムを検出します。

データドメインルールは、カラムデータまたはカラム名がルール基準を満たしているかどうかを示すブール値を返します。データドメインルールでは、正規表現または参照テーブルを使用して、特定の値またはパターンを検索します。例えば、社会保障番号形式のデータ値を見つけるには、9 桁のルール式を使用できます。

データドメインルールに式を使用すると、いくつかの関連のないデータ値もルール式の基準を満たすことがあります。例えば、ソースデータの米国の郵便番号は、社会保障番号の形式を満たすことがあります。データドメインの推測を効果的に行うには、データドメインの検出結果の矛盾を確認します。データドメインの検出結果を確認して検証した後に、データカラムへのデータドメインの関連付けを選択できます。

データドメインアクセラレータ内のデータドメイン

プロファイルの定義済みデータドメインを使用してデータドメイン検出を実行し、エンタープライズ内の重要なデータ特性を識別します。

注: この表では、アスタリスク (*) 記号はワイルドカード文字です。

次の表に、データドメインアクセラレータで使用できるデータドメインを示します。

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
Account_Status	参照テーブルの口座ステータスの値に一致するデータを含むカラムを検出します。	データルール	Account_Bank
AccountNumber	「a*c*num」文字列または「acc」文字列を含むカラム名を検出します。	メタデータルール	Account_Bank、PCI、PHI
Address	住所データ値（市区町村、郡、国、国コード、住所プレフィックス、住所サフィックスなど）を含むカラムを検出します。カナダ、フランス、ドイツ、英国、ニュージーランド、ポルトガル、および米国の住所をサポートします。 住所データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	General、PHI、PII
Admission_date	カラムデータ内の日付値を検出し、日付値を 1 つの形式に標準化します。 加入日の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。 Discharge_date も参照してください。	データルール メタデータルール	PHI
Age	1～120 の値のカラムデータを検出します。 「age」文字列または「dob」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI、PII
AlphaNumeric_SpecialCharacter	書式設定されていない英数字データと特殊文字データを含むカラムデータを検出します。	データルール	General
Austria_NationalID	オーストラリアの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
Bank_Routing_Number_ABA_Number	全米銀行協会の銀行コードの形式に一致するカラムデータを検出します。 メタデータルールで全米銀行協会の銀行コードについて定義されているインジケータに一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	General
BIC_SwiftCode	銀行識別コード（BIC）または国際銀行間通信協会（SWIFT）コードデータに一致するカラムデータを検出します。データルールでは、パターン認識と国コードによる検証を使用して、データ値を見つけます。 メタデータルールで BIC データまたは SWIFT コードデータについて定義されているインジケータに一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Account_Bank
BinaryValue	バイナリ値を含むカラムデータを検出します。	データルール	General
BirthDay	有効な生年月日に一致するカラムデータを検出します。生年月日は年齢 120 歳まで有効です。 「dob」文字列、「date*of*bir*」文字列、または「birth*da*」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI、PII
BirthPlace	参照データ内の国名に一致するカラムデータを検出します。 「birth*place」文字列または「location*birth」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI、PII
Brazil_IDDoc	ブラジルの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	NationalID
Brazil_NationalID_CPF	ブラジルの個人納税者レジストリ識別番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
Brazil_NationalID_RG	ブラジルの国 ID 番号 (<i>Registro Geral</i> または <i>Carteira de Identidade</i>) の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	このルールはデータドメイングループには属していません。
Bulgaria_NationalID	ブルガリアの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
Canada_Driver_License_Narrow	次を除くカナダの運転免許証番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 - ブリティッシュコロンビア、ケベック、マニトバ、およびプリンスエドワード島の免許証番号。 - 4 桁、5 桁、6 桁、7 桁、または 8 桁の免許証番号。 運転免許証データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	このルールはデータドメイングループには属していません。
Canada_SIN	カナダの社会保険番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 社会保険番号データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
CertificateLicenseNumber	「*cert*lic*number」文字列、「cert*lic*no*」文字列、「lic*nu*」文字列、または「lic*no*」文字列を含むカラム名を検出します。	メタデータルール	PHI
China_NationalID	中国の国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
City	全世界で市区町村名に一致するカラムデータを検出します。 市区町村名の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI
CompanyName	参照テーブルの組織名の値に一致するカラムデータを検出します。 「company」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Contact、PII
ComputerAddress	IP アドレスまたは MAC アドレスの形式に一致するカラムデータを検出します。 IP アドレスまたは MAC アドレスの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	General
Country	参照データ内の国名に一致するカラムデータを検出します。 「iso*countr*code」文字列、 「iso*country」文字列、または 「countr*」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Address、PHI、PII
CountryCode_Phone	国際通話コードに基づいて、カラムデータの電話番号を検出します。 電話番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	担当者
CreditCard_AMEX	American Express のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	Account_Bank
CreditCard_DinersCard	Diners Club International のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	Account_Bank
CreditCard_DiscoverCard	Discover のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	Account_Bank

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
CreditCard_JCB	JCB International のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	Account_Bank
CreditCard_MasterCard	MasterCard のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	Account_Bank
CreditCard_Visa	Visa のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	Account_Bank
CreditCardNumber	大手クレジットカード会社のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 「ccn」文字列、「cr*ca*nu」文字列、または「credit*no*」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Account_Bank、 PCI、PII
Croatia_NationalID	クロアチアの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
Currency	通貨インジケータを含むカラムデータを検出します。 通貨データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	適用できません
Date_AllFormats	カラムデータ内の日付値を検出します。	データルール	General
Date_MM_DD_YYYY	1 つの形式で出現するカラムデータ内の日付値を検出します。デフォルトの形式は「月/日/年」です。	データルール	General
Denmark_NationalID	デンマークの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
DeviceSerialNumber	「device*number」文字列、 「device*no*」文字列、 「serial*number」文字列、 「serial*no*」文字列、または 「device*identi*」文字列を含むカラム名を検出します。	メタデータルール	PHI
Discharge_date	カラムデータ内の日付値を検出し、日付値を1つの形式に標準化します。 弁済日の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。 Admission_date も参照してください。	データルール メタデータルール	PHI
DriverLicense_Canada	カナダの運転免許証番号の形式（ブリティッシュコロンビア、ケベック、マニトバ、およびプリンスエドワード島の免許証を除く）に一致するカラムデータを検出します。 運転免許証データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
DriverLicense_US_Canada_GBR	英国、およびカナダと米国の多くの州の運転免許証番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 データドメインでは次のような免許証は検出しません。 - ブリティッシュコロンビア、ケベック、マニトバ、およびプリンスエドワード島の免許証番号。 - 4桁、5桁、6桁、7桁、または8桁の免許証番号。 運転免許証データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	適用できません
DriversLicense_GBR	英国の運転免許証番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 運転免許証データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
DriversLicense_USA	米国のほとんどの州の運転免許証番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 運転免許証データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID、PHI

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
DriversLicense_USA_Narrow	米国の大多数の州の運転免許証番号の形式に一致するカラムデータを検出します。フォールスポジティブを低減するため、データドメインでは、免許証の形式が他の共通形式（8桁の日付の形式など）とオーバーラップする州はカバーしません。 運転免許証データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI
DrivingLicenseNumber	英国、米国のほとんどの州、およびカナダ（ブリティッシュコロンビア、マニトバ、プリンスエドワード島、およびケベックを除く）の運転免許証番号に一致するカラムデータを検出します。 運転免許証データの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PII
Email	定義済みの電子メール ID の形式に一致するカラムデータを検出します。 「email」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Contact、PHI、PII
ExpirationDate	期限切れになったクレジットカードの日付に一致するカラムデータを検出します。 「exp*da*」文字列または「cr*exp*」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PCI
Finland_NationalID	フィンランドの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
FirstName	名の参照テーブルの値に一致するカラムデータを検出します。 「f*nam*」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Contact、PCI、PHI、PII

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
France_INSEE	フランス国立統計経済研究所 (INSEE) の番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	NationalID
FullName	参照データの名、ミドルネーム、姓に一致するカラムデータで文字列を検出します。 フルネームの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Contact、PCI、PHI、PII
Gender	参照テーブルの性別の値に一致するカラムデータを検出します。 「gender」文字列または「female」や「male」などの文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Contact、PHI、PII
Geocode_Latitude	緯度の座標に一致するカラムデータを検出します。 「latitude」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Address、General
Geocode_LatitudeLongitude	緯度または経度の座標に一致するカラムデータを検出します。 「latitude」、「longitude」、「geocode」などの文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Address、General
Geocode_Longitude	経度の座標に一致するカラムデータを検出します。 「longitude」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Address、General
Grade	「grade」文字列を含むカラム名を検出します。	メタデータルール	PII

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
GreatBritain_NINO	英国の国民保険番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国民保険番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
Health_Plan_Beneficiary_Number	医療保険受給者番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	メタデータルール	PHI
Height	値が 1 から 8 まで（8 は身長フィートに相当）の範囲にあるカラムデータを検出します。 身長情報の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI
ホスト名	有効なホスト名に一致するカラムデータを検出します。 ホスト名の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	General
IBAN	複数の欧州諸国の国際銀行口座番号（IBAN）の形式に一致するカラムデータを検出します。 IBAN 値の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Account_Bank
ICD_10_Codes	「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」（ICD）の第 10 版にある医学的状態のコードに一致するカラムデータを識別します。 ICD コードの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI
ICD_9_Codes	「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」（ICD）の第 9 版にある医学的状態のコードに一致するカラムデータを識別します。 ICD コードの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
India_NationalID	インドの納税者番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
IPAddress	定義済みの IP アドレスの形式に一致するカラムデータを検出します。 「ip」文字列または「inter*port*add」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	General、PII
ISBN	国際標準図書番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国際標準図書番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	General
Italy_FiscalCode	イタリアの <i>Codice Fiscale</i> （会計年度コード番号）の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	NationalID
JobPosition	職位記述子または役職を含むカラムデータを検出します。 「title」文字列、「position」文字列、または「designation」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI、PII
Korea_NationalID	韓国の国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
LastName	姓の参照テーブルの値に一致するカラムデータを検出します。 姓情報の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Contact、PCI、PHI、PII

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
MaidenName	参照データの姓に一致するカラムデータで文字列を検出します。 旧姓情報の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	Contact、PHI、PII
ミドルネーム	参照データの名に一致するカラムデータで文字列を検出します。 ミドルネーム情報のカラムの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	Contact、PHI、PII
Norway_NationalID	ノルウェーの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	NationalID
Passport_DEU_MR	機械で読み取り可能なドイツのパスポート番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	NationalID
Passport_GBR	英国のパスポート番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	NationalID
Passport_India	インドのパスポート番号の形式に一致するカラムデータを検出します。	データルール	NationalID
Passport_MachineReadable	すべての国の機械で読み取り可能なパスポート番号に一致するカラムデータを検出します。	データルール	NationalID
Passport_USA_MR	機械で読み取り可能な米国のパスポート番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 パスポート番号のカラムの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	NationalID、PHI

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
PhoneNumber	米国の電話番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 「phone」文字列または「fax」文字列を含むカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	Contact、PHI
郵便番号	複数の国の郵便番号に一致するカラムデータを検出します。 郵便番号のカラムを表すカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	住所、PCI
Race	参照データ内の人種の名前に一致するカラムデータを検出します。 人種の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	PHI
Religion	参照データ内の宗教の名前に一致するカラムデータを検出します。 宗教または信仰の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	PHI
Romania_NationalID	ルーマニアの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	NationalID
Salary	金額を示すカラムデータを検出します。 報酬、給与、または賃金の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルールメタデータルール	PII

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
SouthAfrica_NationalID	南アフリカの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
SSN	米国の社会保障番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 「SSN」文字列、「social*sec*no」文字列、または「social*sec*num*」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID、PHI
SSN_General	社会保険番号の形式に一致するカラムデータを検出します。SSN ランダム化イニシアチブ（2011 年 6 月）に基づいて、データドメインではカラムデータ値でのグループとエリア番号の組み合わせは検証しません。 「SSN」文字列、「social*sec*no」文字列、または「social*sec*num*」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID、PII
State	米国の州名に一致するカラムデータを検出します。 「add*sta」文字列、「state」文字列、または「us*sta*」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PII
Street	データルールで指定されている 20 個超の一連の記述子に何らかの番地記述子を含むカラムデータを検出します。 ルールには次の記述子が含まれていません。 - avenue - boulevard - junction - lane - road - street - valley - way 番地情報のカラムの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PII

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
Sweden_NationalID	スウェーデンの国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
Taiwan_NationalID	台湾の国 ID 番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 国 ID 番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID
Track1_Format_B	トラック 1 フォーマット B クレジットカードデータに一致するカラムデータを検出します。 トラック 1 フォーマット B 情報の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PCI
UniqueIdentifyingNumber	「unique*iden*number」文字列または「iden*num」文字列を含むカラム名を検出します。	メタデータルール	PHI
Unit_of_Measure	測定単位を含むカラムデータを検出します。 測定量または測定単位の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	適用できません
UPC	有効な統一商品コードまたは欧州統一商品番号の形式に一致するカラムデータを検出します。 統一商品コードまたは欧州統一商品番号の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	General
URL	定義済みの URL の形式に一致するカラムデータを検出します。 「uni*res*loc」文字列、「URL」文字列、または「web」文字列を含むカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
USA_Bank_Account	米国の銀行口座番号形式に一致するカラムデータを検出します。 銀行口座情報の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI、PII
USA_County	米国の郡名に一致するカラムデータを検出します。 郡名情報の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Address、PHI、PII
USA_National_Drug_Code_NDC	米国の National Drug Code Directory の National Drug Code (NDC) の値に一致するカラムデータを検出します。 National Drug Code (NDC) 情報の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI
USA_National_Provider_Identifier_Standard_NPI	米国の米国医療従事者識別子 (NPI) 番号に一致するカラムデータを検出します。 米国医療従事者識別子 (NPI) 情報の条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	PHI
USA_Taxpayer_Identification_Number	米国の個人納税者識別番号 (ITIN) の形式に一致するカラムデータを検出します。 個人納税者識別番号 (ITIN) 情報のカラムの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	NationalID、PHI
USZip_5digit	米国の郵便番号値に一致するカラムデータを検出します。 郵便番号コードの条件を示すか条件に一致するカラム名を検出します。	データルール メタデータルール	Address、PHI、PII

名前	説明	依存するルールタイプ	データドメイングループ
VehicleRegPlateNumber	「registration」文字列、 「number*plate」文字列、 「license*plate」文字列、または 「vehicle*registration」文字列を含む カラム名を検出します。	メタ デー タル ール	PHI、PII
Weight	値が 1 から 500 まで（500 は体重の値 に相当）の範囲にあるカラムデータを 検出します。 体重情報の条件を示すか条件に一致す るカラム名を検出します。	デー タル ール メタ デー タル ール	PHI
ZipCode	米国の郵便番号に一致するカラムデー タを検出します。 郵便番号コードの条件を示すか条件に 一致するカラム名を検出します。	デー タル ール メタ デー タル ール	PCI、PHI、PII

データドメイングループ名の略称に関する注釈

データドメイングループ名 PCI は Payment Card Industry Information の略称です。

データドメイングループ名 PHI は Protected Health Information の略称です。

データドメイングループ名 PII は Personally Identifiable Information の略称です。

データドメインアクセラレータ内のカラム名ルール

データドメインカラム名ルールを使用して、ルールで定義されたカラム名ロジックに一致する名前のデータカラムを識別します。各規則は、1 つ以上の正規表現を使用して、カラム名に含まれる可能性がある共通文字列を検索します。

例えば、ルール `dataDomain_MetaDataRule_BIC_SWIFTCode` には、次の正規表現を使用して検索するラベラー変換が含まれています。

```
^*[iI][sS][oO].*[9][3][6][2].*$
^*[sS][wW][iI][fF][tT]*[bB][iI][cC]$
^*[bB][iI][cC].*[cC][oO][dD][eE].*$
```

カラム名ルールは、カラム名の文字を分析します。カラム名ルールでは、カラムのデータ値は分析されません。

カラム名ルールは、次のリポジトリの場所にあります。

`[Informatica_DQ_Content]\Domain_Discovery\MetaData_Rules`

次の表に、データドメインアクセラレータのカラム名ルールを示します。

名前	説明
dataDomain_MetaDataRule_ABARoutingNumber	全米銀行協会の銀行コードのカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_AccountNumber	口座番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_AccountStatus	口座ステータス情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Address	住所情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_AdmissionDate	加入日情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Age	年齢または誕生日情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_BankAccount	銀行口座情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_BIC_SwiftCode	ビジネス識別子コードのカラムを表す名前を検索します。ビジネス識別子コードは、SWIFT コードや ISO 9362 コードとも呼ばれます。
dataDomain_MetaDataRule_BirthDay	生年月日または誕生日情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_BirthPlace	出生地または出生場所情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_CertificateLicenseNumber	証明書のライセンス番号情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_City	市区町村情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_CompanyName	会社名情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_ComputerAddress	マシンまたは MAC アドレスデータのカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Country	国情報（ISO 国コード情報を含む）のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_CountryCode_Phone	電話の国コードのカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_County	郡情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_CreditCardNumber	クレジットカード番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_CreditCardTrack1FormatB	クレジットカードからのトラック 1 フォーマット B 情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Currency	通貨情報のカラムを表す名前を検索します。

名前	説明
dataDomain_MetaDataRule_DeviceSerialNumber	デバイス番号またはシリアル番号情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_DischargeDate	弁済日情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_DrivingLicenseNumber	運転免許証情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Email	電子メール情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_ExpirationDate	クレジットカードの有効期限情報など、有効期限情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_FirstName	名情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_FullName	フルネーム情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Gender	性別情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Grade	等級情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_HealthCareBeneficiaryNumber	保健医療受益者番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Height	高さ情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Hostname	コンピュータのホスト名情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_IBAN	国際銀行口座番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_ICD10	「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」の第 10 版からの値のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_ICD9	「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」の第 9 版からの値のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_IPAddress	コンピュータの IP アドレス情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_ISBN	国際標準図書番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_ITIN_USA	個人納税者識別番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_JobPosition	役職または職位情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_LastName	姓情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Latitude	緯度情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_LatitudeLongitude	緯度、経度、または地理座標情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Longitude	経度情報のカラムを表す名前を検索します。

名前	説明
dataDomain_MetaDataRule_MaidenName	旧姓の情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_MiddleName	ミドルネーム情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_NationalId	国 ID 番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_NDC_USA	全米医薬品コード情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_NPI_USA	National Provider Identifier (NPI) 番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Passport	パスポート情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_PhoneNumber	電話番号または FAX 番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Quantity	数量情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Race	人種または色情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Religion	宗教、信仰、または信条に関する情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Salary	給与、賃金、または報酬情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_SSN	社会保障番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_State	米国州情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Street	番地情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_UniqueIdentifyingNumber	固有識別番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_UPC_EAN	統一商品コードまたは欧州統一商品番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_URL	URL (Uniform Resource Locator) または Web アドレス情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_VehicleRegPlateNumber	車両登録番号または車両ナンバープレート番号のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_Weight	重量情報のカラムを表す名前を検索します。
dataDomain_MetaDataRule_ZipCode	郵便番号のカラムを表す名前を検索します。

データドメインアクセラレータ内のデータルール

データドメインデータルールを使用して、ルール基準に一致するデータを含むカラムを識別します。

データルールは、以下のリポジトリの場所にあります。

[Informatica_DQ_Content]\Domain_Discovery\Data_Rules

次の表に、データドメインアクセラレータのデータルールを示します。

名前	説明
dataDomain_DataRule_ABARoutingNumber	全米銀行協会の銀行コードの形式に一致するカラムデータを識別します。銀行コードは、金融取引において金融機関を識別します。
dataDomain_DataRule_Account_Status	参照データの口座ステータスの値に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Address_Data	住所情報を表すカラムデータを識別します。このルールは、複数の国からの住所データをグローバルに認識します。
dataDomain_DataRule_Age	1～120 の値でカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Alphanumeric_SpecialCharacter	書式設定されていない英数字データと特殊文字データを含むカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Amount	物理量を表すカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_AUT_NATID	オーストリアのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_BankAccount_USA	米国の銀行口座番号形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_BGR_NATID	ブルガリアのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_BIC_SWIFTCode	パターン認識と国コードにより、銀行識別コード（BIC）または国際銀行間通信協会（SWIFT）コードに一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_BinaryValues	バイナリ値を含むカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_BirthDay	有効な生年月日に一致するカラムデータを識別します。ルールは、入力日と現在の日付の間の年数を検証します。ルールは 1～120 の値に基づいて「Adult」（成人）、「Minor」（未成年）、または「Valid」を返します。ルールは、それ以外のすべての値に対して「Invalid」を返します。
dataDomain_DataRule_BRA_IDDoc	<i>Registro Geral</i> というブラジルの ID カードの番号形式に一致するカラムデータを検出します。
dataDomain_DataRule_BRA_Personal_ID	ブラジルの個人 ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CAN_SIN	カナダの社会保険番号の形式に一致するカラムデータを識別します。

名前	説明
dataDomain_DataRule_CHN_NATID	中国のナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_City	有効な市区町村名を含むカラムデータを識別します。ルールは、国際都市名を含む参照データを読み取ります。
dataDomain_DataRule_CompanyName	参照データの組織名の値に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Computer_Address	IP アドレスと MAC アドレスの形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Country	ISO 国名に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CountryCode_Phone	国際通話コードに基づいて電話番号に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_County	米国の郡名に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CreditCard_AMEX	American Express のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CreditCard_DinersCard	Diners Club International のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CreditCard_DiscoverCard	Discover のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CreditCard_JCB	JCB International のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CreditCard_MasterCard	MasterCard のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CreditCard_Visa	Visa のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CreditCardNumber	American Express、Diners Club International、Maestro などの主要なクレジットカード組織のクレジットカード番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_CreditCardTrack1FormatB	トラック 1 フォーマット B クレジットカード情報に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Currency	参照データの通貨用語に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Date_Validation	日付カラムに単一の形式で表示されるソースデータ内の日付文字列を識別します。このルールが検証に使用する日付フォーマットを設定するには、ルール内の dq_ValidateDate 式トランスフォーメーションを開き、In_Date_Format 式変数を更新します。デフォルトの形式は「月/日/年」です。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
dataDomain_DataRule_Date_Validation_All_Formats	カラムデータの日付値を識別し、カラムデータを単一の日付フォーマットに標準化します。

名前	説明
dataDomain_DataRule_DEU_Machine_Readable_Passport	機械で読み取り可能なドイツのパスポート番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_DNK_NATID	デンマークのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_DriversLicense	データ値の長さパターンに基づいて、カナダ、英国、および米国の運転免許証番号と一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_DriversLicense_Canada	ブリティッシュコロンビア州、ケベック州、マニトバ州、およびプリンスエドワードアイランド州のものを除く、カナダの運転免許証番号に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_DriversLicense_Canada_narrow	ブリティッシュコロンビア州、ケベック州、マニトバ州、およびプリンスエドワードアイランド州のものを除く、カナダの運転免許証番号に一致するカラムデータを識別します。 このルールは、dataDomain_DataRule_DriversLicense_Canada ルールに似ています。ただし、dataDomain_DataRule_DriversLicense_Canada_narrow は、誤検知の可能性を減らすために、より絞り込んだ分析を実行します。
dataDomain_DataRule_DriversLicense_GBR	英国の運転免許証番号に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_DriversLicense_narrow	英国、およびカナダと米国の多くの州の運転免許証番号に一致するカラムデータを識別します。 このルールは、ブリティッシュコロンビア州、ケベック州、マニトバ州、プリンスエドワードアイランド州からの番号を検証しません。 誤検知の可能性を減らすために、このルールは 4 桁〜8 桁を含む数値を検証しません。
dataDomain_DataRule_DriversLicense_USA	米国のほとんどの州の運転免許証番号に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_DriversLicense_USA_narrow	米国のほとんどの州の運転免許証番号に一致するカラムデータを識別します。 誤検出の可能性を減らすために、このルールは 6 桁〜8 桁で構成されるデータ値を除外します。例えば、このルールは 01012017 などの値を除外します。
dataDomain_DataRule_Email	定義済みの電子メール ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_ExpirationDate	期限切れになったクレジットカードの日付に一致するカラムデータを識別します。ルールは、検証のために入力された日付とシステム日付を比較します。
dataDomain_DataRule_FIN_NATID	フィンランドのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_FirstName	名の参照データセットの値に一致するカラムデータを識別します。

名前	説明
dataDomain_DataRule_FRA_INSEE	フランス国立統計経済研究所（INSEE）の番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_FullName	名、ミドルネーム、および姓を含むデータカラムの文字列を識別します。このルールは、各文字列内の単語を参照データと比較します。
dataDomain_DataRule_GBR_NINO	英国の国民保険番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_GBR_Passport_Number	英国のパスポート番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Gender	参照データの性別値に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Height	値が 1〜8 のカラムデータを識別します。8 は高さのフィートを表します。
dataDomain_DataRule_HostName	有効なホスト名に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_HRV_NATID	クロアチアのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_IBAN	複数の欧州諸国の国際銀行口座番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_ICD_10	「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」（ICD）の第 10 版にある条件の名前に一致するカラムデータを識別します。世界保健機関（WHO）が分類を管理します。
dataDomain_DataRule_ICD_9	「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」（ICD）の第 9 版にある条件の名前に一致するカラムデータを識別します。世界保健機関（WHO）が分類を管理します。
dataDomain_DataRule_IND_NATID	インドの Permanent Account Number の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_IND_Passport	インドのパスポート番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_IPAddress	定義済みの IP アドレスの形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_ISBN	国際標準図書番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_ISIN	国際証券識別番号（ISIN）形式に一致するカラムデータを識別します。ISIN は、株式や債券などの証券を一意に識別します。
dataDomain_DataRule_ItalyFiscalCode	イタリアのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_ITIN_USA	米国の個人納税者識別番号（ITIN）の形式に一致するカラムデータを識別します。アメリカ合衆国内国歳入庁は、ID 番号を発行します。

名前	説明
dataDomain_DataRule_JobPosition	参照データ内の役職名に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_KOR_NATID	韓国のナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_LastName	姓の参照データセットの値に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Latitude	緯度の座標に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_LatitudeLongitude	緯度と経度の座標の有効なペアに一致するカラムデータを識別します。各ペアはセミコロンで区切られています。
dataDomain_DataRule_Longitude	経度の座標に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Machine_Readable_Passport	すべての国の機械で読み取り可能なパスポート番号に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_NDC_USA	米国の National Drug Code Directory の National Drug Code (NDC) の値に一致するカラムデータを識別します。各コードは、医薬品メーカーが人間用に開発した医薬品を一意に識別します。
dataDomain_DataRule_NOR_NATID	ノルウェーのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_NPI_USA	米国の米国医療従事者識別子 (NPI) 番号に一致するカラムデータを識別します。メディケアメディケイドサービスセンターは、医療従事者に番号を発行します。
dataDomain_DataRule_PhoneNumber	米国の電話番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_PostCode	複数の国の郵便番号に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Quantity	物理量を記述し、測定単位を含むカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Race	参照データ内の人種の名前に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Religion	参照データ内の宗教の名前に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_ROU_NATID	ルーマニアのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_SouthAfrica_NATID	南アフリカのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_Spanish_NIF	スペインの Fiscal Identification Number (NIF) の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_SSN	米国の社会保障番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_State	米国の州名に一致するカラムデータを識別します。

名前	説明
dataDomain_DataRule_Street	ストリート、ロード、アベニューなどの番地情報を記述するカラムデータ内の文字列を識別します。このルールは、正規表現を使用して、カラムデータ内の番地記述子を検索します。
dataDomain_DataRule_SWE_NATID	スウェーデンのナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_TWN_NATID	台湾のナショナル ID の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_UPC	有効な統一商品コードに一致するカラムデータを識別します。統一商品コードは、バーコードの一種です。
dataDomain_DataRule_UPC_EAN	有効な統一商品コードまたは欧州統一商品番号に一致するカラムデータを識別します。統一商品コードおよび欧州統一商品番号は、バーコードの種類です。
dataDomain_DataRule_URL	定義済みの URL の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_US_Zip5	米国の郵便番号に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_USA_Machine_Readable_Passport	機械で読み取り可能な米国のパスポート番号の形式に一致するカラムデータを識別します。
dataDomain_DataRule_USA_SSN_post_2011June	地域、グループ、およびシリアル番号の各セクションの長さ、数値、および最小値と最大値において、社会保障番号の形式に一致するカラムデータを識別します。2011 年 6 月 25 日に発効した SSN Randomization イニシアティブに基づいて、ルールは社会保障番号の発行およびグループと地域の番号の組み合わせを検証しません。
dataDomain_DataRule_Weight	加重値を記述するカラムデータを識別します。このルールは、0～500 の数値をチェックします。
dataDomain_DataRule_ZipCode	米国の郵便番号に一致するカラムデータを識別します。

第 4 章

オーストラリア/ニュージーランド アクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータの概要, 56 ページ](#)
- [オーストラリア/ニュージーランド住所データクレンジングルール, 57 ページ](#)
- [オーストラリア/ニュージーランド複合ルール, 58 ページ](#)
- [オーストラリア/ニュージーランド連絡先データクレンジングルール, 61 ページ](#)
- [オーストラリア/ニュージーランド企業データクレンジングルール, 63 ページ](#)
- [オーストラリア/ニュージーランド一般データクレンジングルール, 64 ページ](#)
- [オーストラリア/ニュージーランド一致および重複排除ルール, 65 ページ](#)
- [オーストラリア/ニュージーランドデモンストレーションマッピング, 68 ページ](#)

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータの 概要

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内のルールは、オーストラリアとニュージーランド内の組織からのデータの検証と改善に使用します。

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータには、以下のデータ品質操作を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 企業データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータには、複合ルールも含まれています。複合ルールは、複数のルールを 1 つのオブジェクトに結合しています。

アクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるルールに依存します。

オーストラリア/ニュージーランド住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_AUS_Address_Parse_Hybrid	構造化されていないオーストラリアの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_AUS_Address_Parse_Multiline	構造化されていないオーストラリアの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_AUS_Address_Validation_Discrete	オーストラリアの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_AUS_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	オーストラリアの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_AUS_Address_Validation_Hybrid	オーストラリアの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_AUS_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	オーストラリアの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_AUS_Address_Validation_Multiline	オーストラリアの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_AUS_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	オーストラリアの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

名前	説明
rule_NZL_Address_Parse_Hybrid	構造化されていないニュージーランドの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_NZL_Address_Parse_Multiline	構造化されていないニュージーランドの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_NZL_Address_Validation_Discrete	ニュージーランドの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_NZL_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	ニュージーランドの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_NZL_Address_Validation_Hybrid	ニュージーランドの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_NZL_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	ニュージーランドの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_NZL_Address_Validation_Multiline	ニュージーランドの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_NZL_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	ニュージーランドの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

オーストラリア/ニュージーランド複合ルール

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータの複合ルールを使用して、一連のルールを1つのオブジェクトとしてマッピングに追加します。複合ルールは、他のアクセラレータルールのロジックを使用するルールです。

これらの複合ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Composite_Rules

以下の表に、オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内の複合ルールを示します。

名前	説明
rule_AUS_Contact_Data	オーストラリアの連絡先データ（住所、電話番号、納税者番号など）を解析、標準化、および検証します。
rule_NZL_Contact_Data	ニュージーランドの連絡先データ（住所、電話番号、税務署（IRD）番号など）を解析、標準化、および検証します。

オーストラリアの連絡先データの複合ルール

ルール rule_AUS_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_AUS_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

ルール	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	[Informatica_DQ_Content]\Rules \General_Data_Cleansing
rule_AUS_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Address_Data_Cleansing
rule_AUS_Company_Name_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Corporate_Data_Cleansing
rule_AUS_Gender_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_AUS_Multi_Person_Name_Parse	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_AUS_Phone_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_AUS_Phone_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_AUS_Tax_File_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_AUS_Tax_File_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Prenome_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing

ニュージーランド連絡先データの複合ルール

ルール rule_NZL_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_NZL_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

ルール	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	[Informatica_DQ_Content]\Rules \General_Data_Cleansing
rule_AUS_Company_Name_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Corporate_Data_Cleansing
rule_AUS_Multi_Person_Name_Parse	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_NZL_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Address_Data_Cleansing
rule_NZL_Gender_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_NZL_IRD_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_NZL_IRD_Number_Validate	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_NZL_Phone_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_NZL_Phone_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Prenome_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing

オーストラリア/ニュージーランド連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、ビジネス上の連絡先や個人についてのデータを解析、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

以下の表に、オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_AUS_Driver_Licence_Number_Validation	オーストラリアの運転免許証番号を、長さと言語パターンの要件に基づいて検証します。
rule_AUS_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「John Smith」という名前には、男性であることを示す「M」を性別として割り当てます。
rule_AUS_Given_Name_Standard	オーストラリアのニックネームから名を生成します。
rule_AUS_Multi_Person_Name_Parse	人名の値を個別のポートに解析します。ルールによって、役職、名、ミドルネーム、姓などの値のポートが作成されます。 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートが含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。 名前のデータで複数の個人が識別されると、ルールは各フルネームに対して出力ポートを作成します。例えば、ルールは「John and Jane Smith」という名前を読み込み、「John Smith」と「Jane Smith」の出力ポートを作成できます。
rule_AUS_Personal_Name_Parsing_FML	人名の値を個別のポートに解析します。 ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。 - 名、ミドルネーム、姓 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。
rule_AUS_Personal_Name_Parsing_LFM	人名の値を個別のポートに解析します。 ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。 - 姓、名、ミドルネーム ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。

名前	説明
rule_AUS_Phone_Number_Parse	<p>文字列からオーストラリアの電話番号をパースします。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号をパースします。</p> <p>このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。このルールは、プラス記号、丸括弧、およびハッシュ記号の各句読記号を処理します。このルールを実行する前に、ダブルスペースなど、その他のすべての句読点を削除します。</p> <p>このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。</p>
rule_AUS_Phone_Number_Standardization	オーストラリアの電話番号を国際通話および域内通話のフォーマットに標準化します。このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。
rule_AUS_Phone_Number_Validation	オーストラリアの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の地域に加えて、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。
rule_AUS_Tax_File_Number_Parse	オーストラリアの納税者番号（TFN）をパースします。
rule_AUS_Tax_File_Number_Standardization	オーストラリアの納税者番号（TFN）を標準化します。標準化されたフォーマットを設定するには、dq_Format_TFN 式トランスフォーメーションの TFN_Format 式変数を編集します。デフォルトは「No_punctuation」です。
rule_AUS_Tax_File_Number_Validation	オーストラリアの納税者番号（TFN）を、そのチェックデジットに基づいて検証します。
rule_NZL_Gender_Assignment	ニュージーランドの名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「John Smith」という名前には、男性であることを示す「M」を性別として割り当てます。
rule_NZL_Given_Name_Standard	ニュージーランドのニックネームから名を生成します。
rule_NZL_IRD_Number_Parse	9桁の数値文字列をニュージーランドの税務署番号（IRD）としてパースします。
rule_NZL_IRD_Number_Standardization	ニュージーランドの税務署番号（IRD）を標準化します。標準化されたフォーマットを設定するには、dq_Format_IRD 式トランスフォーメーションの IRD_Format 式変数を編集します。デフォルトは「No_punctuation」です。このルールでは、入力が9桁の文字列である必要があります。
rule_NZL_IRD_Number_Validate	ニュージーランドの税務署番号（IRD）を、そのチェックデジットに基づいて検証します。

名前	説明
rule_NZL_Phone_Number_Parse	文字列からニュージーランドの電話番号をパースします。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号をパースします。 このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。このルールは、プラス記号、丸括弧、およびハッシュ記号の各句読点を処理します。このルールを実行する前に、ダブルスペースなど、その他のすべての句読点を削除します。 このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_NZL_Phone_Number_Standardization	ニュージーランドの電話番号を国際通話および域内通話のフォーマットに標準化します。このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。
rule_NZL_Phone_Number_Validation	ニュージーランドの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の地域に加えて、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。
rule_Prenome_Assignment	性別に応じて敬称を生成します。female_prenome 式変数を Ms.から Mrs.に変更できます。
rule_Salutation_Assignment	名および名前トークンから正式なあいさつと略式のあいさつを生成します。例えば、入力データに「Mr. John Smith」が含まれる場合、正式なあいさつ「Dear Mr. Smith,」と、略式のあいさつ「Dear John,」を生成します。敬称と句読点を変更するには、dq_Generate_Salutation 式トランスフォーメーションの変数を編集します。

コア連絡先データクレンジングルールへの依存

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の連絡先データクレンジングルールに依存します。

- rule_Email_Validation

これらのルールの詳細については、[「コア連絡先データクレンジングルール」 \(ページ 21\)](#)を参照してください。

オーストラリア/ニュージーランド企業データクレンジングルール

企業データクレンジングルールは、データを解析、標準化、および検証するために使用します。

企業データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Corporate_Data_Cleansing

以下の表に、オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内の企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_AUS_Business_Number_Parse	11 桁の数値文字列をオーストラリア企業番号（ABN）として解析します。
rule_AUS_Business_Number_Standardize	オーストラリア企業番号（ABN）を NN NNN NNN NNN フォーマットに標準化します。このルールでは、入力が 11 桁の文字列である必要があります。
rule_AUS_Business_Number_Validation	オーストラリア企業番号（ABN）を、そのチェックデジットに基づいて検証します。
rule_AUS_Company_Name_Standardization	会社名をオーストラリアの参照テーブルの値に標準化します。

オーストラリア/ニュージーランド一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_AUS_NZL_NER_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報の種類を特定します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、およびオーストラリアとニュージーランドの住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。

コアの一般データのクレンジングルールに対する依存

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_GeocodingStatus_Description
- rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description
- rule_Assign_DQ_Match_Code_Description
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Hyphen
- rule_Remove_Leading_Zero
- rule_Remove_Period_Parentheses

- rule_Remove_Punctuation
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Remove_Space
- rule_Replace_Limited_Punct_with_Space
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、[「コア一般データクレンジングルール」 \(ページ 22\)](#)を参照してください。

オーストラリア/ニュージーランド一致および重複排除ルール

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内の一致および重複排除ルールは、データセット内のレコード同士がどの程度似ているかを測定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_AUS_Firstname_and_TFN_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、納税者番号（TFN）と名に基づいて、オーストラリアのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、TFN データからグループキーを生成します。
mplt_AUS_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、オーストラリアのデータの重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_AUS_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、オーストラリアのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_AUS_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、オーストラリアのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_AUS_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、オーストラリアのデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、納税者番号などの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
mplt_AUS_Individual_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名とオーストラリアの住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_AUS_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、オーストラリアの人名と日付に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。

名前	説明
mplt_AUS_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、電子メールアドレスとオーストラリアの人名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_AUS_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、オーストラリアの人名と電話番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、電話番号データからグループキーを生成します。
mplt_AUS_Individual_Name_and_TFN_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、納税者番号（TFN）と人名に基づいて、オーストラリアのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、TFN データからグループキーを生成します。
mplt_AUS_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、オーストラリアの人名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
mplt_AUS_NZL_Company_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、オーストラリアおよびニュージーランドの会社名と住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_AUS_NZL_Familyname_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、オーストラリアおよびニュージーランドの姓と住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_Company_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値から Soundex コードを生成し、その Soundex コードをグループキーとして使用します。
mplt_NZL_Firstname_and_IRD_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、税務署（IRD）番号と名に基づいてニュージーランドデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、IRD 番号からグループキーを生成します。
mplt_NZL_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、ニュージーランドデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_NZL_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、ニュージーランドデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_NZL_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、ニュージーランドデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_NZL_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、ニュージーランドデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、税務署番号などの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
mplt_NZL_Individual_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名とニュージーランド住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。

名前	説明
mplt_NZL_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、ニュージーランドの人名と日付に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。
mplt_NZL_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、電子メールアドレスとニュージーランドの人名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_NZL_Individual_Name_and_IRD_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、ニュージーランドの人名と税務署 (IRD) 番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、IRD 番号からグループキーを生成します。
mplt_NZL_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、ニュージーランドの人名と電話番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、電話番号データからグループキーを生成します。
mplt_NZL_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、ニュージーランドの人名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
rule_AUS_NZL_Company_Name_and_Address_MatchScore	オーストラリアおよびニュージーランドの会社名と住所に基づいて、マッチ率を生成します。
rule_AUS_NZL_Familyname_and_Address_MatchScore	オーストラリアおよびニュージーランドの姓と住所に基づいて、マッチ率を生成します。
rule_AUS_NZL_Firstname_and_PID_MatchScore	名と個人識別番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_AUS_NZL_Individual_Name_and_Address_MatchScore	オーストラリアおよびニュージーランドの人名と住所に基づいて、マッチ率を生成します。
rule_AUS_NZL_Individual_Name_and_PID_MatchScore	人名と個人識別番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Company_Name_MatchScore	会社名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	人名と電話番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_MatchScore	人名に基づいてマッチ率を生成します。

オーストラリア/ニュージーランドデモンストレーションマッピング

オーストラリア/ニュージーランドアクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\AUS_NZL_Accelerator

このアクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれます。

m_AUS_customer_data_demo

オーストラリアおよびニュージーランドのデータを解析、標準化、および検証します。

m_AUS_customer_matching_demo

オーストラリアおよびニュージーランドからの ID データを解析して標準化し、データの ID 照合分析を行います。

このマッピングは、以下のデータの組み合わせを分析し、それぞれの組み合わせの一致クラスタを生成します。

- 人名と住所データ
- 人名と電話番号

第 5 章

BCBS 239/CCAR アクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [BCBS 239/CCAR アクセラレータの概要, 69 ページ](#)
- [BCBS 239/CCAR ルール仕様, 69 ページ](#)
- [BCBS 239/CCAR デモンストレーションマッピング, 76 ページ](#)

BCBS 239/CCAR アクセラレータの概要

BCBS 239/CCAR アクセラレータを使用して、主要な国際的銀行取引要件に対してデータレコードを確認します。

アクセラレータにはルール仕様が含まれます。ルール仕様は、ビジネスルールのデータ要件を論理的な形式で表すリポジトリオブジェクトです。マッピングにマップレットを追加するのと同じ方法で、ルール仕様をマップに追加できます。

ルール仕様では、以下の規制要件に対して選択したデータソースをテストします。

- バーゼル銀行監督委員会が基準 239 で定めるリスク計測およびリスク報告の原則
- 米国連邦準備制度の包括的資本分析レビュー（CCAR）

アクセラレータは、データソースおよびターゲットにルール仕様を接続する方法を示すデモンストレーションマッピングとともにインストールされます。ルール仕様の一部は、アクセラレータとともにインストールされるマップレットルールを使用します。

BCBS 239/CCAR ルール仕様

入力データを BCBS 239 および CCAR のさまざまな側面に照らして確認するには、ルール仕様を使用します。

ルール仕様は、以下のリポジトリの場所にあります。

[Informatica_DQ_Content]\Rule Specifications

以下の表に、BCBS 239/CCAR アクセラレータのルール仕様を示します。

名前	説明
rlsp_ARM_Initial_Rate_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当の当初金利は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_ARM_Initial_Rate_Period_must_be_a_small_int	変動金利型抵当の当初金利期間は smallint 値である必要があります。
rlsp_ARM_Initial_Rate_Period_should_not_be_populated_for_Fixed_Rate_Loans	変動金利型抵当の当初金利期間を固定金利型ローンに対して取り込むことはできません。
rlsp_ARM_Initial_Rate_Should_Not_Be_Greater_Than_Or_Equal_to_18_or_less_than_1	変動金利型抵当の当初金利は 1 以上 18 未満にする必要があります。
rlsp_ARM_Lifetime_Rate_Cap_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当の全期間の上限金利は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_ARM_Lifetime_Rate_Floor_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当の全期間の下限金利は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_ARM_loans_should_have_ARM_Initial_Rate_Period	変動金利型モーゲージローンには当初金利期間が必要です。
rlsp_ARM_Margin_at_Origination_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当の取組手数料は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_ARM_Margin_at_Origination_should_not_change_unless_it_was_not_provided	変動金利型抵当の取組手数料は、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_ARM_Negative_Amortization_Limit_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当のネガティブアモチゼーションの上限は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_ARM_Negative_Amortization_Limit_should_be_an_empty_string_if_Negative_Amortization_not_allowed	変動金利型抵当のネガティブアモチゼーションの上限は、ネガティブアモチゼーションを許容しない場合、空の文字列にする必要があります。
rlsp_ARM_Negative_Amortization_Limit_Should_Not_Be_Greater_Than_125_Pct	変動金利型抵当のネガティブアモチゼーションの上限は、125 パーセント以下にする必要があります。
rlsp_ARM_Negative_Amortization_Limit_should_not_be_populated_for_Fixed_Rate_Loans	変動金利型抵当のネガティブアモチゼーションの上限を固定金利型ローンに対して取り込むことはできません。
rlsp_ARM_Periodic_Pay_Cap_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当の定期支払額の上限は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_ARM_Periodic_Pay_Floor_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当の定期支払額の下限は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。

名前	説明
rlsp_ARM_Periodic_Rate_Cap_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当の定期の上限金利は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_ARM_Periodic_Rate_Floor_must_be_able_to_fit_a_decimal_7_5_datatype_field_or_an_empty_string	変動金利型抵当の定期の下限金利は、decimal (7,5)データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_Balance_LT_125_pct_LoanAmountDisp	残高は支払われた当初の融資額の 125%未満である必要があります。
rlsp_Balloon_Term_must_be_a_number_greater_than_equal_to_12_and_less_or_equal_to_600_when_Balloon_Flag_is_Y	バルーンフラグを設定する場合、バルーン期間は 12 以上 600 以下にする必要があります。
rlsp_Balloon_Term_must_be_a_smallint	バルーン期間は smallint 値である必要があります。
rlsp_Balloon_Term_should_not_change_unless_it_was_not_provided	バルーン期間は、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_BalloonFlag_Is_Valid_Value	バルーンフラグは、はい、いいえ、または不明を示す必要があります。
rlsp_BalloonFlag_Unchanged_unless_Unknown_or_Empty	バルーンフラグは、不明のステータスを示す場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Buydown_Flag_is_Unknown	バイダウンフラグが不明のステータスを示しています。
rlsp_Buydown_Flag_Must_Be_Valid_Value	バイダウンフラグは、はい、いいえ、または不明を示す必要があります。
rlsp_Buydown_Flag_should_not_change_unless_it_was_Unknown_or_not_provided	バイダウンフラグは、不明のステータスを示す場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Calc_LTV_Has_GT_20pct_Change_from_Original_LTV	計算された融資比率は、当初の融資比率と 20 パーセントを超える差があります。
rlsp_Closing_Date_Check	手続き完了日は、YYYY-MM-DD 形式の有効な日付であり、スペースを含まず、NULL でない必要があります。
rlsp_ClosingDate_Plus_Term_and_3Months_Greater_Than_Current_Month	手続き完了日にローン期間と 3 か月を加えた日付は、現在の月以降の日を示す必要があります。
rlsp_CLTV_Is_Number_GT_10pct_and_LT_150pct	合計の融資比率は、10 パーセントより大きく 150 パーセント未満の値である必要があります。
rlsp_Credit_Bureau_Score_is_Whole_Number_Between_300_and_899	当初の信用情報機関スコアは、300 から 899 までの有効な整数である必要があります。
rlsp_Credit_Class_Must_Be_Specific_Value	信用クラス値は、一連の定義値の範囲内である必要があります。
rlsp_Credit_Class_must_be_Specific_Value_or_an_empty_string	信用クラス値は、一連の定義値の範囲内であるか、空の文字列である必要があります。

名前	説明
rlsp_Credit_class_should_not_change	現在の信用クラス値は、前月の信用クラス値と一致する必要があります。
rlsp_FirstPayDate_Before_NextDueDate	初回支払日は次の支払日以前にする必要があります。
rlsp_FirstPayDate_LessThanOrEqual_3Months_After_and_LessThan_40_Years_Passed_CurrentDate	初回支払日は現在の月から 3 か月以内、40 年前以降である必要があります。
rlsp_FirstPayDate_LessThanOrEqual_ClosingDate	手続き完了日は初回支払日以前でなければなりません。
rlsp_FirstPayDate_Valid_Date	入力文字列は YYYYMMDD 形式の有効な日付値である必要があります。
rlsp_Fixed_loans_should_not_have_an_ARM_Initial_Rate_Adjustment_Period	固定ローンに変動金利型抵当の当初金利変動期間は指定できません。
rlsp_Fixed_Loans_should_not_have_ARM_Initial_Rate_Period	固定ローンに変動金利型抵当の当初金利期間は指定できません。
rlsp_For_Non_Commercial_Loans_Original_Property_Value_must_be_a_valid_positive_whole_number	非商業ローンの場合、当初のプロパティ値は 1,000 以上 10,000,000 以下の有効な正の整数である必要があります。
rlsp_Frontend_DTI_is_Positive_Whole_Number	当初のフロントエンドの返済負担率の値は有効な正の整数である必要があります。
rlsp_If_not_a_Balloon_should_not_have_a_Balloon_Term	バルーンローンではないローンにバルーン期間を指定することはできません。
rlsp_Interest_Only_At_Origination_cannot_change_unless_it_was_Unknown_or_not_provided	取組時のインタレストオンリー値は、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Interest_Only_At_Origination_is_Unknown	取組時のインタレストオンリー値は不明です。
rlsp_Lien_Position_At_Origin_Must_Be_1	取組時の先取特権順位は 1 である必要があります。
rlsp_Lien_Position_at_Origination_cannot_change_unless_it_was_Unknown_or_not_provided	取組時の先取特権順位は、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Lien_Position_at_Origination_Must_Be_Specific_Value	取組時の先取特権順位は一連の定義値の範囲内である必要があります。
rlsp_Loan_Closing_Date_Less_Than_or_Equal_40_Years_Ago	ローン手続き完了日の年は 40 年前以降である必要があります。
rlsp_Loan_Closing_Month_Not_Greater_Than_Current_Month	ローン手続き完了日の月が現在の月より前です。
rlsp_Loan_Number_Length_Check	ローン番号が空または NULL ではなく、含まれる文字数が 32 文字以下です。

名前	説明
rlsp_Loan_Type_is_Other	ローンが商業ローンです。
rlsp_Loan_Type_is_Unknown_or_Other	ローンが商業ローンであるか、またはローンタイプが不明です。
rlsp_LoanAmount_Unchanged_if_NotEmpty	支払われた当初の融資額は、額を指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_LoanPurpose_is_Other_or_Unknown	ローンの目的が定義されていないか、不明です。
rlsp_LoanPurpose_Unchanged_unless_Unknown_or_not_provided	ローンの目的のコーディング値は、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Loans_with_ARM_Initial_Rate_Period_should_be_ARMs	変動金利型抵当の当初金利期間があるローンは変動金利型抵当である必要があります。
rlsp_LoanSource_is_Unknown	ローンソースが不明です。
rlsp_LoanSource_Unchanged_unless_Unknown_or_not_provided	ローンソースは、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_LoanType_Unchanged_Unless_Unknown_or_not_Provided	ローンタイプは、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_LVT_GT_10pct_and_LT_125pct_for_Non_HARP_and_150pct_for_HARP	HARP (Home Affordable Refinance Program) ローンの場合、当初の融資比率は 10 パーセントより大きく 150 パーセント未満の値である必要があります。非 HARP ローンの場合は、10 パーセントより大きく 125 パーセント未満の値である必要があります。
rlsp_MI_Coverage_Pct_At_Origination_should_not_change_unless_it_was_not_provided	当初の抵当保険の補償割合は、割合を指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_MI_Coverage_Percent_At_Origination_must_be_able_to_fit_a_decimal_4_2_data_type_field_or_an_empty_string	当初の抵当保険の補償割合は、decimal (4, 2) データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_MI_Coverage_Percent_At_Origination_should_be_between_1_and_50_pct	当初の抵当保険の補償割合は、1 パーセントから 50 パーセントまでの値である必要があります。
rlsp_Negative_Amortization_Flag_must_be_Specific_Value_or_an_empty_string	ネガティブアモチゼーションフラグ値は、一連の定義値の範囲内であるか、空の文字列である必要があります。
rlsp_Negative_Amortization_Flag_must_be_Y_or_N	ネガティブアモチゼーションフラグ値は、はい、またはいいえを示す必要があります。
rlsp_Negative_Amortization_Flag_should_not_change_unless_it_was_not_provided	ネガティブアモチゼーションフラグ値は、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_NonHARP_Loan_and_LTV_GTE_125pct	ローンが HARP ローンではなく、計算された当初の融資比率が 125 パーセント以上です。
rlsp_Number_of_Units_is_Unknown_or_Other	ローンが商業ローンであり、単位数が指定されていません。

名前	説明
rlsp_Number_Of_Units_should_not_change_unless_it_was_U_or_not_provided	単位数は、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_NumberOfUnits_is_Specific_Value_or_Unknown	単位数は、一連の定義値の範囲内である必要があります。
rlsp_Occupancy_cannot_change_unless_it_was_Unknown_or_not_provided	占有率値は、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Occupancy_Code_Must_be_Specific_Value_or_Unknown	占有コードは、一連の定義値の範囲内である必要があります。
rlsp_Occupancy_is_Unknown	占有率値は不明です。
rlsp_Option_ARM_At_Origination_must_be_Specific_Value	オプションの当初の変動金利型抵当の値は、Y または N である必要があります。
rlsp_Option_ARM_At_Origination_must_be_Specific_Value_or_an_empty_string	オプションの当初の変動金利型抵当の値は、Y、N、または空の文字列である必要があります。
rlsp_Option_ARM_At_Origination_must_be_the_same_as_prior_month	オプションの当初の変動金利型抵当のフラグは前月と同じである必要があります。
rlsp_Origin_Credit_Bureau_Score_should_not_change_unless_it_was_not_provided	当初の信用情報機関スコアは、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Original_Backend_DTI_is_Positive_Whole_Number	当初のバックエンドの返済負担率は有効な正の整数であり、100 未満である必要があります。
rlsp_Original_Backend_DTI_is_SmallInt	当初のバックエンドの返済負担率は smallint 値である必要があります。
rlsp_Original_Backend_DTI_Unchanged_If_Provided	当初のバックエンドの返済負担率は、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Original_CLTV_Is_4_2_format_or_Is_Empty	当初の合計の融資比率は、decimal (4, 2) データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_Original_CLTV_Not_Provided	当初の合計の融資比率は指定されていません。
rlsp_Original_CLTV_Unchanged_If_Not_Empty	当初の合計の融資比率は、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Original_Frontend_DTI_GT_Backend_DTI	当初のフロントエンドの返済負担率がバックエンドの返済負担率より大きくなっています。
rlsp_Original_Frontend_DTI_is_Smallint	当初のフロントエンドの返済負担率は smallint 値である必要があります。
rlsp_Original_Frontend_DTI_Unchanged_If_Provided	当初のフロントエンド DTI は、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Original_Loan_Amount_Disbursed_must_be_a_valid_positive_whole_number	支払われた当初の融資額は、有効な正の整数である必要があります。

名前	説明
rlsp_Original_Loan_Amount_Disbursed_must_be_an_integer	支払われた当初の融資額は整数値である必要があります。
rlsp_Original_Loan_Term_should_be_a_number_between_12_and_600	当初のローン期間は 12 から 600 までの数値である必要があります。
rlsp_Original_LVT_Is_Number_with_4_2_format	当初の融資比率は、decimal (4, 2) データ型フィールドに適合するか、空の文字列である必要があります。
rlsp_Original_LVT_Unchanged_If_Not_Empty	当初の融資比率は、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Original_Property_Value_must_be_an_integer	当初のプロパティ値は整数でなければなりません。
rlsp_OriginalPropertyValue_Unchanged_if_Not_Empty	当初のプロパティ値は、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Origination_Credit_Bureau_Score_is_not_between_300_and_899	当初の信用情報機関スコアは、300 から 899 までの値である必要があります。
rlsp_Origination_Credit_Bureau_Score_must_be_a_smallint	当初の信用情報機関スコアは smallint 値である必要があります。
rlsp_Origination_Credit_Bureau_Score_should_not_change_unless_it_was_not_provided	当初の信用情報機関スコアは、指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Property_type_cannot_change_unless_it_was_Unknown_or_not_provided	不動産のタイプは、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_Property_ZIP_Code_Should_Be_Less_than_or_equal_to_5_characters_or_an_empty_string	不動産の ZIP コードは、5 文字以上を含むか、空の文字列である必要があります。
rlsp_PropertyState_Length_Not_GreaterThan_2	不動産の州コードは 2 文字以内です。
rlsp_PropertyType_is_Unknown	不動産のタイプが不明です。
rlsp_Recourse_Flag_is_Unknown	リコースフラグが不明のステータスを示しています。
rlsp_RecourseFlag_Unchanged_unless_Unknown_or_Empty	リコースフラグは、不明な場合または指定しない場合を除き、変更できません。
rlsp_State_Abbreviation_Valid_for_Non_Commercial_Loan	非商業ローンの場合、不動産の州は、50 州、DC、または有効な米国領のいずれかの有効な郵便略号である必要があります。
rlsp_Three_Digit_Zip_Code_must_be_Consistent_with_State	3 桁の ZIP コードは米国の州と一致する必要があります。

名前	説明
rlsp_ZipCode_Length_of_5_for_NonCommercial_Loan	非商業ローンの場合、不動産の ZIP コードは 5 桁である必要があります。
rlsp_Zipcode_Unchanged_and_NotEmpty	不動産の ZIP コードは、指定しない場合を除き、変更できません。

依存ルール

ルール仕様はマップレットルールを読み取ることができます。BCBS 239 CCAR アクセラレータは、モデルリポジトリのアクセラレータフォルダにインストールされる一連のマップレットルールに依存します。

BCBS 239 CCAR アクセラレータのルール仕様は次のルールを読み取ります。

- rule_Convert_to_Integer: 文字列値を整数に変換します。
- rule_Convert_to_Number: 文字列値を数値に変換します。
- rule_Decimal_Length: 文字列の 10 進数の桁数を返します。
- rule_Is_Date: 文字列が正しい日付であることを確認します。
- rule_Is_Numeric: 文字列が正しい数値であることを確認します。

BCBS 239/CCAR デモンストレーションマッピング

BCBS 239/CCAR アクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルール仕様を使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\Informatica_CCAR_BCBS239_Accelerator

BCBS 239/CCAR アクセラレータには以下のマッピングが含まれます。

m_CCAR_balloon_term_demo

バルーンローンについてルール仕様で定義される条件に対して入力データを検証します。

m_CCAR_fixed_demo

固定期間ローンについてルール仕様で定義される条件に対して入力データを検証します。

第 6 章

ブラジルアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [ブラジルアクセラレータの概要, 77 ページ](#)
- [ブラジル住所データクレンジングルール, 77 ページ](#)
- [ブラジル複号ルール, 78 ページ](#)
- [ブラジル連絡先データクレンジングルール, 79 ページ](#)
- [ブラジル企業データクレンジングルール, 81 ページ](#)
- [ブラジル一般データクレンジングルール, 81 ページ](#)
- [ブラジル一致および重複排除ルール, 82 ページ](#)
- [ブラジルデモンストレーションマッピング, 83 ページ](#)

ブラジルアクセラレータの概要

ブラジルアクセラレータ内のルールは、ブラジルの組織からのデータの検証と改善に使用します。

ブラジルアクセラレータには、以下のデータ品質操作を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 企業データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除

ブラジルアクセラレータには、複合ルールも含まれています。複合ルールは、複数のルールを 1 つのオブジェクトに結合しています。

アクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるルールに依存します。

ブラジル住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、ブラジルアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_BRA_Address_Parse_Hybrid	構造化されていないブラジルの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_BRA_Address_Parse_Multiline	構造化されていないブラジルの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_BRA_Address_Validation_Discrete	ブラジルの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_BRA_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	ブラジルの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_BRA_Address_Validation_Hybrid	ブラジルの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_BRA_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	ブラジルの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_BRA_Address_Validation_Multiline	ブラジルの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_BRA_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	ブラジルの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

ブラジル複号ルール

ブラジルアクセラレータの複合ルールを使用して、一連のルールを1つのオブジェクトとしてマッピングに追加します。複合ルールは、他のアクセラレータルールのロジックを使用するルールです。

これらの複合ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Composite_Rules

以下の表では、ブラジルアクセラレータの複合ルールについて説明します。

名前	説明
rule_BRA_Contact_Data	ブラジルの連絡先データ（住所、電話番号、Cadastro de Pessoas Físicas（CPF）番号など）を解析、標準化、および検証します。

ルール rule_BRA_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_BRA_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

ルール	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \General_Data_Cleansing
rule_BRA_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Address_Data_Cleansing
rule_BRA_Company_Suffix_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Corporate_Data_Cleansing
rule_BRA_Personal_CPF_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_BRA_Personal_Name_Parse_Validate	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_BRA_Phone_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_BRA_Phone_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_BRA_Prenome_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_BRA_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing

ブラジル連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、ビジネス上の連絡先や個人についてのデータをパース、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

以下の表に、ブラジルアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_BRA_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「Joao Coelho」という名前には、男性であることを示す「M」を性別として割り当てます。
rule_BRA_Given_Name_Standard	ブラジルのニックネームから名を生成します。
rule_BRA_Personal_CPF_Validation	Cadastro de Pessoas Físicas (CPF) 番号のチェックデジットを検証します。
rule_BRA_Personal_Name_Parse_Validate	人名の値を個別のポートにパースします。ルールによって、役職、名、ミドルネーム、姓などの値のポートが作成されます。ルールは、名前に会社名の可能性があるかどうかを示し、名前のスペルを検証します。 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートが含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。
rule_BRA_Personal_PIS_PASEP_Validation	ブラジルの社会保険番号を検証します。
rule_BRA_Personal_Voter_Registration_Validation	ブラジルの投票者登録番号のチェックデジットを検証します。
rule_BRA_Phone_Number_Parse	文字列からブラジルの電話番号をパースします。このルールは、左から右の順で、データ内の最初の電話番号をパースします。このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_BRA_Phone_Number_Standardization	ブラジルの電話番号を標準化します。このルールは、次のフォーマットの電話番号を返します。 - 標準 - nn nnnnn nnnnn - ダッシュ - nn-xxxxx-xxxxx - スペースなし - nnnnnnnnnnn
rule_BRA_Phone_Validation	ブラジルの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。
rule_BRA_Prenome_Assignment	性別に応じて敬称を生成します。female_prenome 式変数を「Sra」から「Sta」に変更できます。
rule_BRA_Salutation_Assignment	名および名前トークンから正式なあいさつと略式のあいさつを生成します。例えば、入力データに「Sr. Joao Coelho」が含まれる場合、正式なあいさつ「Prezado Sr. Coelho,」と、略式のあいさつ「Prezado Joao,」を生成します。敬称と句読点を変更するには、dq_Generate_Salutation 式トランスフォーメーションの変数を編集します。

コア連絡先データクレンジングルールへの依存

ブラジルアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の連絡先データクレンジングルールに依存します。

- rule_Email_Parse_Into_Mailbox_Domain
- rule_Email_Validation

これらのルールの詳細については、[「コア連絡先データクレンジングルール」 \(ページ 21\)](#)を参照してください。

ブラジル企業データクレンジングルール

ブラジルアクセラレータ内の企業データクレンジングルールは、企業データを検証するために使用します。

企業データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Corporate_Data_Cleansing

以下の表に、ブラジルアクセラレータ内の企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_BRA_Company_CNPJ_Validation	Cadastro Nacional da Pessoa Jurídica (CNPJ) 番号を検証します。CNPJ 番号は、ブラジルの企業を識別します。
rule_BRA_Company_Suffix_Standardization	ブラジルの企業のサフィックスを標準化します。

ブラジル一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、ブラジルアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_BRA_NER_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報の種類を特定します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、およびブラジルの住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データと確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。

コアの一般データのクレンジングルールに対する依存

ブラジルアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_GeocodingStatus_Description
- rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description
- rule_Assign_DQ_Match_Code_Descriptions
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Non_Numbers
- rule_Remove_Punctuation
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Replace_Limited_Punct_with_Space
- rule_TitleCase
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、「[コア一般データクレンジングルール](#)」(ページ 22)を参照してください。

ブラジル一致および重複排除ルール

一致および重複排除ルールは、データセット内のレコード同士がどの程度似ているかを測定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、ブラジルアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_BRA_Company_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名とブラジルの住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_BRA_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、ブラジルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_BRA_Firstname_and_CPF_Match	フィールド照合ストラテジを使用し、名と Cadastro de Pessoas Físicas (CPF) 番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、CPF 番号からグループキーを生成します。
mplt_BRA_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、ブラジルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_BRA_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、ブラジルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_BRA_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、ブラジルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_BRA_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、ブラジルのデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、Cadastro de Pessoas Físicas 番号などの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
mplt_BRA_Individual_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名とブラジルの住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_BRA_Individual_Name_and_CPF_Match	フィールド照合ストラテジを使用し、ブラジルの人名と Cadastro de Pessoas Físicas (CPF) 番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、CPF 番号からグループキーを生成します。

名前	説明
mplt_BRA_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、ブラジルの人名と日付データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。
mplt_BRA_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、ブラジルの人名と電子メールアドレスに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_BRA_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、ブラジルの人名と電話番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは電話番号から生成されたグループキーを生成します。
mplt_Company_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値から Soundex コードを生成し、その Soundex コードをグループキーとして使用します。
rule_BRA_Company_Name_and_Address_MatchScore	会社名とブラジルの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_BRA_Familyname_and_Address_MatchScore	姓とブラジルの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_BRA_Firstname_and_CPF_MatchScore	名と Cadastro de Pessoas Físicas (CPF) 番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_BRA_Individual_Name_and_Address_MatchScore	人名とブラジルの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_BRA_Individual_Name_and_CPF_MatchScore	人名とブラジルの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_BRA_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	人名と電話番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Company_Name_MatchScore	会社名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。

ブラジルデモンストレーションマッピング

ブラジルアクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\BRA_Accelerator

このアクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれます。

m_BRA_customer_data_demo

ブラジルのデータを解析、標準化、および検証します。

m_BRA_customer_matching_demo

ブラジルからの ID データを解析して標準化し、データの ID 照合分析を行います。

このマッピングは、以下のデータの組み合わせを分析し、それぞれの組み合わせの一致クラスタを生成します。

- 人名と住所データ
- 人名と電話番号

第 7 章

金融サービスアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [金融サービスアクセラレータの概要, 85 ページ](#)
- [金融サービスの連絡先データのクレンジングルール, 85 ページ](#)
- [金融サービスの財務データのクレンジングルール, 86 ページ](#)
- [金融サービスの一般データのクレンジングルール, 89 ページ](#)
- [金融サービスの一致および重複排除のルール, 89 ページ](#)

金融サービスアクセラレータの概要

金融サービスアクセラレータは、金融サービス部門の組織からのデータの検証と改善に使用します。

金融サービスアクセラレータには、以下のデータ品質プロセスを実行するルールが含まれています。

- 連絡先データクレンジング
- 財務データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除

このアクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるデータクレンジングルールに依存します。

金融サービスの連絡先データのクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、企業担当者と個人についての連絡先データを標準化するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules>Contact_Data_Cleansing

次の表に、金融サービスアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_USA_Given_Name_Standard	米国のニックネームから名を生成します。例えば、「Bob」というニックネームは「Robert」という名に標準化されます。

金融サービスの財務データのクレンジングルール

財務データクレンジングルールは、財務データを解析、標準化、および検証するために使用します。

財務データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Financial_Data_Cleansing

次の表に、金融サービスアクセラレータ内の財務データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_Account_Status_Validation	口座ステータスを検証します。このルールには、口座ステータス参照データが必要です。
rule_Accrual_Period_Validation	開始日が終了日よりも前の日付であることを検証します。
rule_Age_For_Account_Validation	口座タイプの顧客年齢を検証します。このルールでは、age_per_account_infa 参照テーブルを使用します。この参照テーブルは独自のデータで更新する必要があります。
rule_Beta_Coefficient_Validation	ベータ係数の文字列が数値であることを検証します。このルールは、文字列が正の数値、負の数値、0、または数値以外のいずれであることを示します。
rule_BIC_SWIFT_Code_Validation	パターン認識と国コードの検証により、銀行識別コード（BIC）または国際銀行間通信協会（SWIFT）コードを検証します。
rule_CAN_Transit_Number_Validation	振替用紙または電子振替決済を使用し、カナダの振替番号のフォーマットを検証します。
rule_Credit_Card_Expiry_Check	クレジットカードの有効期限を検証します。クレジットカードの有効期限とシステム日付を比較することで、有効期限切れの日付が識別されます。このルールでは、MM/YYYY という形式の 7 文字の文字列を受け付けます。
rule_Credit_Card_Security_Code_Validation	クレジットカードのセキュリティコードが 3 桁または 4 桁の整数であることを検証します。
rule_Currency_Code_Country_Validation	ISO の 3 文字の国コードに応じた有効な通貨コードであることを検証します。
rule_Currency_Code_Validation	通貨コードを検証します。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
rule_CUSIP_Validation	チェックデジットの値について、形式と長さを検証します。チェックデジットの値の有効性を示すステータスと、ステータスの内容を示すメッセージが返されます。

名前	説明
rule_Delta_Validation	差分の値が正、負、または 0 であることを検証します。
rule_Dividend_Yield_Validation	配当利回りの文字列が 0 以上の数値であることを検証します。文字列が正の数値、負の数値、0、または数値以外のいずれであるかが返されます。
rule_EAD_Drawn_Balance_Validation	デフォルト時エクスポージャ（EAD）の金額が振出残高以上であることを検証します。このルールは、英国の金融サービス機構が定めた EAD 計算のガイドラインに準拠しています。
rule_EAD_Validation	デフォルト時エクスポージャ（EAD）の文字列が数値であることを検証します。文字列が正の数値、負の数値、0、または数値以外のいずれであるかが返されます。
rule_EPS_Validation	入力が 0 以上の数値であることを検証します。
rule_Ex_Dividend_Date_Validation	配当落ち日と基準日が有効な日付であること、および配当落ち日が基準日よりも前の日付であることを検証します。差が 15 日を超える日付は無効と見なされます。このルールでは、基準日と配当落ち日の差の日数が返されます。
rule_Gamma_Validation	ガンマの文字列が数値であることを検証します。文字列が正の数値、負の数値、0、または数値以外のいずれであるかが返されます。
rule_GBR_Bank_Account_Parse	8 桁の数値文字列を英国の銀行口座番号として解析します。
rule_GBR_Bank_Account_Validation	英国の銀行口座番号を検証します。入力が数値であるかどうか、および桁数が正しいかどうかを示すコードが返されます。
rule_GBR_Bank_Sort_Code_Parse	6 桁の数値文字列を英国の銀行のソートコードとして解析します。数値文字列は以下の形式で解析されます。 - 連続した数値（999999） - ダッシュで区切られた数値（99-99-99）
rule_GBR_Bank_Sort_Code_Standardize	英国の銀行のソートコードを「NN-NN-NN」の形式に標準化します。
rule_GBR_Bank_Sort_Code_Validation	ダッシュ区切りの形式（99-99-99）に標準化された英国の銀行のソートコードについて、形式と長さを検証します。ソートコードの有効性を示す Status ポートと、ステータスの内容を示す Validation Note ポートが返されます。ソートコードのプレフィックスが英国の銀行に割り当てられた既知のプレフィックスと一致する場合は、Validation Note ポートに銀行名が含まれます。
rule_Interest_Rate_Within_Range	10 進の利率値が指定された範囲内であることを検証します。範囲は、式トランスフォーメーションの 2 つの変数ポートによって設定されます。「True」または「False」が返されます。
rule_ISIN_Code_Validation	入力値が国際証券識別番号（ISIN）であることを検証します。このルールは、値の構造をチェックし、チェックデジットを検証します。
rule_Loan_to_Value_Ratio	融資額を資産価値で割って融資比率を計算します。
rule_Loss_Given_Default_Validation	文字列が数値であり、その値が正、負、または 0 であることを検証します。

名前	説明
rule_Market_Cap_Validation	入力が 0 以上の数値であることを検証します。
rule_Maturity_Date_Validation	満期日がシステム日付よりも後の日付であることを検証します。
rule_Positive_Close_Price_Value_Validation	入力が 0 より大きい数値であることを検証します。
rule_Positive_Coupon_Percent_Validation	入力が 0 より大きい数値であることを検証します。
rule_Positive_Last_Price_Value_Validation	入力が 0 より大きい数値であることを検証します。
rule_Positive_Open_Price_Validation	入力が 0 より大きい数値であることを検証します。
rule_Positive_Volume_Validation	入力が 0 より大きい数値であることを検証します。
rule_Price_Earnings_Ratio_Validation	株価収益率が 0~100 の正の数値であることを検証します。
rule_Probability_of_Default_Validation	デフォルト値の確率が数値であることを検証し、値が正、負、または 0 のいずれであるかを示します。値が正の場合、次の値の範囲に応じてステータスメッセージが返されます。 - <= 0.1 - > 0.1 かつ <= 0.5 - > 0.5 かつ <= 1 - > 1
rule_Rating_Code_Validation	スタンダード&プアーズの評価基準、ムーディーズの評価基準、またはユーザー定義リストの評価であることを検証します。
rule_Rating_Date_Validation	評価日がシステム日付から 1 年後であることを検証します。
rule_Risk_Weighted_Asset_Validation	リスク加重資産が正の数値であることを検証します。
rule_SEDOL_Validation	SEDOL (Stock Exchange Daily Official List) コードの形式とチェックディジットを検証します。
rule_Stock_Exchange_Validation	世界各地のほとんどの証券取引所を名前と記号で検証します。
rule_USA_Routing_Number_Validation	標準の MICR (magnetic ink character recognition) ライン形式の銀行支店コードを検証します。関連付けられている連邦準備銀行、入力の構造、およびチェックサム計算を検証します。
rule_Volatility_Validation	変動性の値が 0 以上の数値であることを検証します。

金融サービスの一般データのクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

次の表に、金融サービスアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_Positive_Number_Validation	数値が 0 より大きいことを検証します。

コアの一般データのクレンジングルールに対する依存

金融サービスアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データのクレンジングルールに依存します。

- rule_Remove_Punctuation
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Remove_Space
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、「[コア一般データクレンジングルール](#)」 (ページ 22)を参照してください。

金融サービスの一致および重複排除のルール

一致および重複排除ルールは、マッチ率を生成し、重複レコードを特定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、金融サービスアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_Company_Name_and_Address_Match	会社名と米国の住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_Company_Name_Match	会社名に基づいて重複行を識別します。このマップレットは、会社名の値から Soundex コードを生成し、その Soundex コードをグループキーとして使用します。
mplt_Familyname_and_Address_Match	姓と米国の住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_Individual_Name_and_Address_Match	人名と米国の住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。

名前	説明
mplt_Individual_Name_and_Date_Match	個人名および日付データに基づいて重複行を識別します。このマップレットは、日付データから生成されたグループキーを生成します。
mplt_Individual_Name_and_Email_Match	個人名および電子メールアドレスに基づいて重複行を識別します。このマップレットは、電子メールアドレスデータから生成されたキーを生成します。
mplt_Individual_Name_and_Phone_Match	人名と電話番号に基づいて重複行を識別します。このマップレットは電話番号からグループ ID を生成します。
mplt_Individual_Name_Match	個人名に基づいて重複行を識別します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
rule_Company_Name_and_Address_MatchScore	会社名と米国の住所に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Company_Name_MatchScore	会社名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Familyname_and_Address_MatchScore	姓と米国の住所に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Address_MatchScore	人名と米国の住所に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	人名と電話番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_MatchScore	人名に基づいてマッチ率を生成します。

第 8 章

フランスアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [フランスアクセラレータの概要, 91 ページ](#)
- [フランス住所データクレンジングルール, 91 ページ](#)
- [フランス複合ルール, 92 ページ](#)
- [フランス連絡先データクレンジングルール, 94 ページ](#)
- [フランス企業データクレンジングルール, 95 ページ](#)
- [フランス一般データクレンジングルール, 96 ページ](#)
- [フランス一致および重複排除ルール, 97 ページ](#)
- [フランスデモンストレーションマッピング, 98 ページ](#)

フランスアクセラレータの概要

フランスアクセラレータ内のルールは、フランスの組織からのデータの検証と改善に使用します。

フランスアクセラレータには、以下のデータ品質処理を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 企業データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除

このアクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるデータクレンジングルールに依存します。

フランス住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、フランスアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_FRA_Address_Parse_Hybrid	構造化されていないフランスの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_FRA_Address_Parse_Multiline	構造化されていないフランスの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_FRA_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	フランスの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_FRA_Address_Validation_Discrete	フランスの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_FRA_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	フランスの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_FRA_Address_Validation_Hybrid	フランスの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_FRA_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	フランスの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_FRA_Address_Validation_Multiline	フランスの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

フランス複合ルール

フランスアクセラレータの複合ルールを使用して、一連のルールを1つのオブジェクトとしてマッピングに追加します。複合ルールは、他のアクセラレータルールのロジックを使用するルールです。

フランスアクセラレータ内の複号ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Composite_Rules

フランスの連絡先データの複合ルール

以下の表に、フランスアクセラレータ内の、連絡先データの複合ルールを示します。

名前	説明
rule_FRA_Contact_Data	フランスの連絡先データ（住所や電話番号など）を解析、標準化、および検証します。

ルール rule_FRA_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_FRA_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

ルール	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \General_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_FRA_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Address_Data_Cleansing
rule_FRA_Company_Name_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Corporate_Data_Cleansing
rule_FRA_Gender_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_FRA_Multi_Person_Name_Parse	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_FRA_Phone_Number_Standardize	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_FRA_Phone_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_FRA_Prenome_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_FRA_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing

フランス連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、ビジネス上の連絡先や個人についてのデータをパース、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules>Contact_Data_Cleansing

以下の表に、フランスアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_FRA_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「Jean Leclerc」という名前には、男性であることを示す「M」を性別として割り当てます。
rule_FRA_Given_Name_Standard	フランスのニックネームから名を生成します。
rule_FRA_INSEE_Parse	文字列から、French Institut National de la Statistique et des Études Économiques (INSEE) 番号をパースします。
rule_FRA_INSEE_Standardization	French INSEE 番号を 13 桁の文字列、または 13 桁の文字列+スペース+2 桁のコントロールキー (合計 16 桁) に標準化します。
rule_FRA_INSEE_Validation	INSEE 番号を姓、日付、Code Officiel Géographique (COG) 値に基づいて検証します。
rule_FRA_Multi_Person_Name_Parse	人名の値を個別のポートにパースします。ルールによって、役職、名、ミドルネーム、姓などの値のポートが作成されます。 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートが含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。 名前のデータで複数の個人が識別されると、ルールは各フルネームに対して出力ポートを作成します。例えば、ルールは「Jean et Marianne Leclerc」という名前を読み込み、「Jean Leclerc」と「Marianne Leclerc」の出力ポートを作成できます。
rule_FRA_Personal_Name_Parsing_FML	人名の値を個別のポートにパースします。 ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。 - 名、ミドルネーム、姓 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。
rule_FRA_Personal_Name_Parsing_LFM	人名の値を個別のポートにパースします。 ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。 - 姓、名、ミドルネーム ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。

名前	説明
rule_FRA_Phone_Number_Parse	<p>文字列からフランスの電話番号をパースします。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号をパースします。</p> <p>このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。このルールは、プラス記号、丸括弧、およびハッシュ記号の各句読点を処理します。このルールを実行する前に、ダブルスペースなど、その他のすべての句読点を削除します。</p> <p>このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。</p>
rule_FRA_Phone_Number_Standardize	<p>フランスの電話番号を国際通話および域内通話のフォーマットに標準化します。このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。</p>
rule_FRA_Phone_Number_Validation	<p>フランスの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の地域に加えて、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。</p>
rule_FRA_Prenome_Assignment	<p>性別に応じて敬称を生成します。</p>
rule_FRA_Salutation_Assignment	<p>名および名前トークンから正式なあいさつと略式のあいさつを生成します。例えば、入力データに「M. Jean Leclerc」が含まれる場合、正式なあいさつ「Monsieur Leclerc,」と略式のあいさつ「Cher Jean,」を生成します。敬称と句読点を変更するには、dq_Generate_Salutation 式トランスフォーメーションの変数を編集します。</p>

コア連絡先データクレンジングルールへの依存

フランスアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の連絡先データクレンジングルールに依存します。

- rule_Email_Validation

これらのルールの詳細については、[「コア連絡先データクレンジングルール」](#) (ページ 21)を参照してください。

フランス企業データクレンジングルール

企業データクレンジングルールは、企業データを標準化するために使用します。

企業データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Corporate_Data_Cleansing

以下の表に、フランスアクセラレータの企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_FRA_Company_Name_Standardization	<p>会社名を参照テーブルの値に標準化します。</p>
rule_FRA_SIRET_Number_Parse	<p>文字列からフランスの système d'identification du répertoire des établissements (SIRET) 番号を解析します。</p>

名前	説明
rule_FRA_SIRET_Number_Standardize	文字列内のスペースや句読点にかかわらず、14桁の番号をNNN NNN NNN NNNNN形式に標準化します。 14桁未満の文字列は標準化されません。
rule_FRA_SIRET_Number_Validation	système d'identification du répertoire des établissements (SIRET) 番号を検証します。このルールは、対象となる番号がrule_FRA_SIRET_Number_Standardization ルールの適用後で標準形式になっていることを前提としています。

フランス一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、フランスアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_FRA_NER_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報の種類を特定します。このルールは、名前、個人ID、会社名、日付、およびフランスの住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データを使用して情報の種類を特定します。このルールは、確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。

フランスアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_GeocodingStatus_Description
- rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description
- rule_Assign_DQ_Match_Code_Description
- rule_Luhn_Algorithm
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Parentheses
- rule_Remove_Punctuation
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Replace_Limited_Punct_with_Space
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、「[コア一般データクレンジングルール](#)」(ページ 22)を参照してください。

フランス一致および重複排除ルール

一致および重複排除は、マッチ率を生成し、重複レコードを特定するために使用します。

フランスアクセラレータ内の一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、フランスアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_Company_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値から Soundex コードを生成し、その Soundex コードをグループキーとして使用します。
mplt_FRA_Company_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_FRA_Familyname_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_FRA_Firstname_and_INSEE_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、文字列から、French Institut National de la Statistique et des Études Économiques (INSEE) 番号を基に、重複行を特定します。このマップレットは、INSEE 番号データからグループキーを生成します。
mplt_FRA_Firstname_Surname_DOB_and_Postcode_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名、誕生日、および郵便番号の重複行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_FRA_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、フランスのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_FRA_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、フランスのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_FRA_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、フランスのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_FRA_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、フランスのデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、Institut National de la Statistique et des Études Économiques (INSEE) 番号などの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データから生成されたグループキーを生成します。
mplt_FRA_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、フランスの人名と日付データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、日付からグループキーを生成します。
mplt_FRA_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、フランスの人名と電子メールアドレスに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。

名前	説明
mplt_FRA_Individual_Name_and_INSEE_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、フランスの人名と INSEE 番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、INSEE 番号データから生成されたグループキーを生成します。
mplt_FRA_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、フランスの人名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
rule_Company_Name_Match Score	会社名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_FRA_Company_Name_and_Address_MatchScore	会社名とフランスの住所に基づいてマッチ率を生成します。
rule_FRA_Familyname_and_Address_MatchScore	姓とフランスの住所に基づいてマッチ率を生成します。
rule_FRA_Firstname_and_INSEE_MatchScore	個人データカラム内の名と電話番号、電子メール、INSEE 番号などのデータに基づいてマッチ率を生成します。
rule_FRA_Firstname_Surname_DOB_and_Postcode_MatchScore	姓、誕生日、および郵便番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_FRA_Individual_Name_and_INSEE_MatchScore	人名と INSEE 番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_Match Score	人名に基づいてマッチ率を生成します。

フランスデモンストレーションマッピング

フランスアクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\FRA_Accelerator

このアクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれます。

m_FRA_customer_data_demo

フランスのデータを解析、標準化、および検証します。

m_FRA_customer_matching_demo

オーストラリアおよびニュージーランドからの ID データを解析して標準化し、データの ID 照合分析を行います。

このマッピングは、以下のデータの組み合わせを分析し、それぞれの組み合わせの一致クラスタを生成します。

- 人名と住所データ
- 人名と電話番号

第 9 章

ドイツアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [ドイツアクセラレータの概要, 100 ページ](#)
- [ドイツ住所データクレンジングルール, 100 ページ](#)
- [ドイツ複号ルール, 101 ページ](#)
- [ドイツ連絡先データクレンジングルール, 103 ページ](#)
- [ドイツ企業データクレンジングルール, 104 ページ](#)
- [ドイツ一般データクレンジングルール, 104 ページ](#)
- [ドイツ一致および重複排除ルール, 105 ページ](#)
- [ドイツデモンストレーションマッピング, 108 ページ](#)

ドイツアクセラレータの概要

ドイツアクセラレータ内のルールは、ドイツの組織からのデータの検証と改善に使用します。。

ドイツアクセラレータには、以下のデータ品質処理を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 企業データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除

このアクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるデータクレンジングルールに依存します。

ドイツ住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、ドイツアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_DEU_Address_Parse_Hybrid	構造化されていないドイツの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_DEU_Address_Parse_Multiline	構造化されていないドイツの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_DEU_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	ドイツの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_DEU_Address_Validation_Discrete	ドイツの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_DEU_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	ドイツの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_DEU_Address_Validation_Hybrid	ドイツの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_DEU_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	ドイツの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_DEU_Address_Validation_Multiline	ドイツの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

ドイツ複号ルール

ドイツアクセラレータの複合ルールを使用して、一連のルールを1つのオブジェクトとしてマッピングに追加します。複合ルールは、他のアクセラレータルールのロジックを使用するルールです。

これらの複合ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Composite_Rules

ドイツの連絡先データの複合ルール

以下の表に、ドイツアクセラレータ内の、連絡先データの複合ルールを示します。

名前	説明
rule_DEU_Contact_Data	ドイツの連絡先データ（住所や電話番号など）を解析、標準化、および検証します。

ルール rule_DEU_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_DEU_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

ルール	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \General_Data_Cleansing
rule_DEU_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Address_Data_Cleansing
rule_DEU_Company_Name_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Corporate_Data_Cleansing
rule_DEU_Gender_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_DEU_Multi_Person_Name_Parse	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_DEU_Phone_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_DEU_Phone_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_DEU_Prename_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_DEU_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ \Contact_Data_Cleansing

ドイツ連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、ビジネス上の連絡先や個人についてのデータをパース、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

以下の表に、ドイツアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_DEU_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「Hans Adler」という名前には、男性を表す「M」を割り当てます。
rule_DEU_Given_Name_Standard	ドイツのニックネームから名を生成します。
rule_DEU_Multi_Person_Name_Parse	人名の値を個別のポートにパースします。ルールによって、役職、名、ミドルネーム、姓などの値のポートが作成されます。 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートが含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。 名前のデータで複数の個人が識別されると、ルールは各フルネームに対して出力ポートを作成します。例えば、ルールは「Hans und Maria Adler」という名前を読み込み、「Hans Adler」と「Maria Adler」の出力ポートを作成できます。
rule_DEU_Personal_Name_Parsing_FML	人名の値を個別のポートにパースします。 ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。 - 名、ミドルネーム、姓 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。
rule_DEU_Personal_Name_Parsing_LFM	人名の値を個別のポートにパースします。 ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。 - 姓、名、ミドルネーム ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。
rule_DEU_Phone_Number_Parse	文字列からドイツの電話番号をパースします。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号をパースします。 このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。このルールは、プラス記号、丸括弧、およびハッシュ記号の各句読点を処理します。このルールを実行する前に、ダブルスペースなど、その他のすべての句読点を削除します。 このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_DEU_Phone_Number_Standardization	ドイツの電話番号を国際通話および域内通話のフォーマットに標準化します。このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。

名前	説明
rule_DEU_Phone_Number_Validation	ドイツの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の地域に加えて、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。
rule_DEU_Prenam_Assignment	性別に応じて敬称を生成します。
rule_DEU_Salutation_Assignment	名および名前トークンから正式なあいさつと略式のあいさつを生成します。例えば、入力データに「Herr Hans Adler」が含まれる場合、正式なあいさつ「Sehr geehrter Herr Adler,」と、略式のあいさつ「Lieber Hans,」を生成します。敬称と句読点を変更するには、dq_Generate_Salutation 式トランスフォーメーションの変数を編集します。

コア連絡先データクレンジングルールへの依存

ドイツアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の連絡先データクレンジングルールに依存します。

- rule_Email_Validation

これらのルールの詳細については、[「コア連絡先データクレンジングルール」](#) (ページ 21) を参照してください。

ドイツ企業データクレンジングルール

企業データクレンジングルールは、企業データを標準化するために使用します。

企業データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Corporate_Data_Cleansing

以下の表に、ドイツアクセラレータ内の企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_DEU_Company_Name_Standardization	参照テーブルを使用して、会社名を標準化します。

ドイツ一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、ドイツアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_DEU_NER_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報の種類を特定します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、およびドイツの住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データを使用して情報の種類を特定します。このルールは、確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。

コアの一般データのクレンジングルールに対する依存

ドイツアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_GeocodingStatus_Description
- rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description
- rule_Assign_DQ_Match_Code_Descriptions
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Hyphen
- rule_Remove_Leading_Zero
- rule_Remove_Parentheses
- rule_Remove_Period_Parentheses
- rule_Remove_Punctuation
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Remove_Space
- rule_Replace_Limited_Punct_with_Space
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、[「コア一般データクレンジングルール」 \(ページ 22\)](#)を参照してください。

ドイツ一致および重複排除ルール

一致および重複排除ルールは、マッチ率を生成し、重複レコードを特定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、ドイツアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_Company_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値から Soundex コードを生成し、その Soundex コードをグループキーとして使用します。
mplt_DEU_Company_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名と住所データに基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_DEU_Familyname_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、姓と住所データに基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_DEU_Firstname_3Chars_Surname_DOB_and_Postcode_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名、姓の最初の 3 文字、誕生日、および郵便番号に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_Firstname_and_PID_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、グループ化された人名と個人 ID に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、個人識別データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_Firstname_Surname_2ElementsDOB_and_Postcode_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名、誕生日の 2 つの要素、および郵便番号に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_Firstname_Surname_DOB_and_Postcode_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名、誕生日、および郵便番号に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、個人 ID など、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、日付別にグループ化された人名と日付データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。

名前	説明
mplt_DEU_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電子メールアドレスに基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_DEU_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電話番号に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電話番号データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_Individual_Name_and_PID_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と個人 ID に基づいて、ドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、個人識別データからグループキーを生成します。
mplt_DEU_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名に基づいてドイツのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
rule_Company_Name_Match Score	会社名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_DEU_Company_Name_and_Address_MatchScore	会社名と住所に基づいてマッチ率を生成します。
rule_DEU_Famillyname_and_Address_MatchScore	姓と住所に基づいてマッチ率を生成します。
rule_DEU_Firstname_3Chars Surname_DOB_and_Postcode_MatchScore	名、姓の最初の 3 文字、誕生日、および郵便番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_DEU_Firstname_and_PID_MatchScore	個人データカラム内の名と任意のデータ（電話番号、電子メール、個人 ID など）に基づいてマッチ率を生成します。
rule_DEU_Firstname_Surname_2ElementsDOB_and_Postcode_MatchScore	人名、誕生日、および郵便番号に基づいてマッチ率を生成します。 注: 誕生日の入力フォーマットは DD/MM/YYYY であることを前提とします。
rule_DEU_Firstname_Surname_DOB_and_Postcode_MatchScore	姓、誕生日、および郵便番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_DEU_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	人名と電話番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Famillyname_and_Address_MatchScore	姓と住所に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。

名前	説明
rule_Individual_Name_and_SSN_MatchScore	個人データカラム内の名と任意のデータ（電話番号、電子メール、SSN 番号など）に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_MatchScore	人名に基づいてマッチ率を生成します。

ドイツデモンストレーションマッピング

ドイツアクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用して品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\DEU_Accelerator

このアクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれます。

m_DEU_customer_data_demo

ドイツのデータを解析、標準化、および検証します。

m_DEU_customer_matching_demo

ドイツからの ID データを解析して標準化し、データの ID 照合分析を行います。

このマッピングは、以下のデータの組み合わせを分析し、それぞれの組み合わせの一致クラスタを生成します。

- 人名と住所データ
- 人名と電話番号

第 10 章

インドアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [インドアクセラレータの概要, 109 ページ](#)
- [インド住所データクレンジングルール, 110 ページ](#)
- [インド連絡先データクレンジングルール, 111 ページ](#)
- [インド企業データクレンジングルール, 111 ページ](#)
- [インド財務データクレンジングルール, 112 ページ](#)
- [インド一般データクレンジングルール, 112 ページ](#)
- [インド一致および重複排除ルール, 113 ページ](#)
- [インド製品データクレンジングルール, 114 ページ](#)

インドアクセラレータの概要

インドアクセラレータ内のルールは、ブラジルの組織からのデータの検証と改善に使用します。

インドアクセラレータには、以下のデータ品質処理を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 企業データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 財務データのクレンジング
- 一致および重複排除
- 製品データクレンジング

このアクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるデータクレンジングルールに依存します。

インド住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、ブラジルアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
mplt_IND_Address_Info_From_Postcode	入力された郵便番号からサブディビジョンの名前（州、行政区、徴税地区など）を取得します。
mplt_IND_Latitude_Longitude	入力された住所のそれぞれについて緯度および経度の座標を返します。このルールでは州名も返します。
rule_IND_Address_Parse_Hybrid	構造化されていないインドの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_IND_Address_Parse_Multiline	構造化されていないインドの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_IND_Address_Validation_Discrete	インドの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_IND_Address_Validation_Hybrid	インドの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_IND_Address_Validation_Multiline	インドの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_IND_Postcode_Parse	入力されたデータから郵便番号を解析します。
rule_IND_Postcode_Standardize	インドの郵便番号を標準化して標準形式にします。
rule_IND_Postcode_Validation	インドの郵便番号を検証します。このルールでは、標準化された郵便番号をインドの有効な郵便番号と照合します。一致する郵便番号が見つからない場合、その郵便番号がインドの標準の郵便番号のパターンに従っているかどうかを検証します。
rule_IND_State_Validation	インドの州名を検証します。

インド連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、ビジネス上の連絡先や個人についてのデータを解析、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

以下の表に、インドアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_IND_Aadhar_Number_Validation	インドのデータでアドハー番号または一意の識別番号を検証します。このルールでは、ヴァーヘフアルゴリズムに基づいて、アドハー番号を検証します。番号は 12 桁であり、12 桁目はチェックサムです。
rule_IND_Gender_Assignment	インドのデータで名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「Neha Kapur」という名前には、女性であることを示す「F」を性別として割り当てます。
rule_IND_Given_Name_Standard	インドのデータに共通するニックネームに対応する標準ニックネームを返します。例えば、このルールでは Vishwa に対して Vishwanath を返します。
rule_IND_Phone_Number_Parse	入力データからインドの電話番号を解析します。このルールは、左から右の順で、データ内の最初の電話番号を解析します。このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力データを含む文字列も返します。
rule_IND_Phone_Number_Standardization	インドの電話番号を標準化します。 このルールは、次のフォーマットの電話番号を返します。 - 標準。(nn) nnn- nnnnnnn - ダッシュ。nn-nnn-nnnnnnn - スペースなし。nnnnnnnnnn
rule_IND_Phone_Number_Validation	インドの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の地域に加えて、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。

インド企業データクレンジングルール

インドアクセラレータ内の企業データクレンジングルールは、企業データを検証するために使用します。

企業データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Corporate_Data_Cleansing

以下の表に、インドアクセラレータ内の企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
mplt_IND_Company_Data	インド入力レコードのデータを企業情報のカテゴリ（住所、上場の有無、主な事業など）に解析します。
rule_IND_CIN_Parse	入力データからインドの企業識別番号（CIN）を解析します。
rule_IND_Company_CIN_Standardize_and_Validate	入力データのインド企業識別番号（CIN）を標準化して検証します。このルールは 21 文字の番号を xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx の形式で返します。
rule_IND_Company_Name_Standardization	インドの会社名を参照テーブルの値に標準化します。

インド財務データクレンジングルール

財務データクレンジングルールは、財務データを解析、標準化、および検証するために使用します。

財務データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Financial_Data_Cleansing

以下の表に、インドアクセラレータ内の財務データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_IND_Bank_Data_Specifics	インド金融システムコード（IFSC）が示す銀行名、支店名、および支店コードを取得します。 IFSC は英数字形式の 11 文字のコードであり、インド準備銀行が NEFT（National Electronic Funds Transfer）ネットワーク内のすべての銀行支店を識別するのに使用します。
rule_IND_Bank_IFSC_Code_Validation	IFSC コードを検証します。 IFSC は英数字形式の 11 文字のコードであり、インド準備銀行が NEFT（National Electronic Funds Transfer）ネットワーク内のすべての銀行支店を識別するのに使用します。
rule_IND_Bank_Name_From_IFSC_Code	インド金融システムコード（IFSC）が示す銀行名を取得します。

インド一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、インドアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_UpperCase_Multiport	複数のポート全体ですべての英字を大文字で返します。
rule_Verhoeff_Algorithm	番号のチェックデジットをヴァーヘフアルゴリズムに従って検証します。チェックデジットは番号の末尾のデジットです。チェックデジットが正しい場合は Valid を返します。正しくないチェックデジットおよび数値以外の何らかの入力には Invalid を返します。

コアの一般データのクレンジングルールに対する依存

インドアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_Match_Code_Description
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Leading_Zero
- rule_Remove_Limited_Punctuation
- rule_Remove_Non_Numbers
- rule_Remove_Punctuation
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Replace_Limited_Punct_with_Space
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、[「コア一般データクレンジングルール」 \(ページ 22\)](#)を参照してください。

インド一致および重複排除ルール

一致および重複排除ルールは、マッチ率を生成し、重複レコードを特定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_IND_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、インドのデータの重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_IND_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、インドのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_IND_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、インドのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。

名前	説明
mplt_IND_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、インドのデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、単一の種類のデータ（電話番号、運転免許証番号、納税者番号、電子メールアドレスなど）が含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
mplt_IND_Individual_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と住所データに基づいて、インドのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号の最初の 4 桁、姓の 1 番目の文字、および名の最初の 5 文字から、NYSIIS 値を生成します。このマップレットは NYSIIS 値を使用してグループキーを生成します。
mplt_IND_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と日付に基づいて、インドのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。
mplt_IND_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電子メールアドレスに基づいて、インドのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_IND_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電話番号に基づいて、インドのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電話番号データからグループキーを生成します。
mplt_IND_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名に基づいてインドのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
rule_IND_Individual_Name_and_Address_MatchScore	インドのデータのレコード全体にわたって人名と住所フィールドを比較し、マッチ率を生成します。
rule_IND_Individual_Name_and_Date_MatchScore	インドのデータのレコード全体にわたって人名と日付フィールドを比較し、マッチ率を生成します。
rule_IND_Individual_Name_and_Email_MatchScore	インドのデータのレコード全体にわたって人名と電子メールフィールドを比較し、マッチ率を生成します。
rule_IND_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	インドのデータのレコード全体にわたって人名と電話番号フィールドを比較し、マッチ率を生成します。
rule_IND_Individual_Name_MatchScore	インドのデータのレコード全体にわたって人名フィールドを比較し、マッチ率を生成します。

インド製品データクレンジングルール

製品データクレンジングルールは、製品データを解析、標準化、および検証するために使用します。

製品データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Product_Data_Cleansing

以下の表に、インドアクセラレータ内の製品データクレンジングルールを示します。

名前	説明
mplt_IND_Product_Info	インドのデータの製品コードを標準化して、各製品コードの製品説明とセクタを返します。

第 11 章

ポルトガルアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [ポルトガルアクセラレータの概要, 116 ページ](#)
- [ポルトガル住所データクレンジングルール, 116 ページ](#)
- [ポルトガル複合ルール, 117 ページ](#)
- [ポルトガル連絡先データクレンジングルール, 119 ページ](#)
- [ポルトガル企業データクレンジングルール, 120 ページ](#)
- [ポルトガル一般データクレンジングルール, 120 ページ](#)
- [ポルトガル一致および重複排除ルール, 121 ページ](#)
- [ポルトガルデモンストレーションマッピング, 123 ページ](#)

ポルトガルアクセラレータの概要

ポルトガルアクセラレータ内のルールは、ポルトガルの組織からのデータの検証と改善に使用します。

ポルトガルアクセラレータには、以下のデータ品質処理を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 企業データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除

このアクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるデータクレンジングルールに依存します。

ポルトガル住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、ポルトガルアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_PRT_Address_Parse_Hybrid	構造化されていないポルトガルの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_PRT_Address_Parse_Multiline	構造化されていないポルトガルの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_PRT_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	ポルトガルの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_PRT_Address_Validation_Discrete	ポルトガルの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_PRT_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	ポルトガルの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_PRT_Address_Validation_Hybrid	ポルトガルの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_PRT_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	ポルトガルの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_PRT_Address_Validation_Multiline	ポルトガルの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

ポルトガル複合ルール

ポルトガルアクセラレータの複合ルールを使用して、一連のルールを1つのオブジェクトとしてマッピングに追加します。複合ルールは、他のアクセラレータルールのロジックを使用するルールです。

これらの複合ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Composite_Rules

ポルトガルの連絡先データの複合ルール

以下の表に、ポルトガルアクセラレータ内の、ポルトガルの連絡先データの複合ルールを示します。

名前	説明
rule_PRT_Contact_Data	ポルトガルの連絡先データ（住所、電話番号、Número de Identificação Fiscal（NIF）番号など）を解析、標準化、および検証します。

ルール rule_PRT_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_PRT_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

ルール	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	[Informatica_DQ_Content]\Rules \General_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_PRT_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Address_Data_Cleansing
rule_PRT_Company_Name_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Corporate_Data_Cleansing
rule_PRT_NIF_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_PRT_NIF_Validate	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_PRT_Personal_Name_Parse_Validate	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_PRT_Phone_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_PRT_Phone_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_PRT_Prenome_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_PRT_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing

ポルトガル連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、ビジネス上の連絡先や個人についてのデータをパース、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules>Contact_Data_Cleansing

以下の表に、ポルトガルアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_PRT_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「Artur Cruz」という名前には、男性を表す「M」を割り当てます。
rule_PRT_Given_Name_Standard	ポルトガルのニックネームから名を生成します。
rule_PRT_NIF_Parse	Número de Identificação Fiscal (NIF) 番号を文字列からパースします。このルールは ID 番号を返し、ID 番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_PRT_NIF_Standardization	Número de Identificação Fiscal (NIF) 番号を 9 桁の文字列に標準化します。このルールは、英文字、記号、およびスペースを削除します。
rule_PRT_NIF_Validate	Número de Identificação Fiscal (NIF) 番号を、そのチェックデジットに基づいて検証します。このルールでは、入力がスペースなしの 9 桁の数値文字列である必要があります。
rule_PRT_Personal_Name_Parse_Validate	人名の値を個別のポートにパースします。ルールによって、役職、名、ミドルネーム、姓などの値のポートが作成されます。ルールは、名前に会社名の可能性があるかどうかを示し、名前のスペルを検証します。 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートが含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。
rule_PRT_Phone_Number_Parse	文字列からポルトガルの電話番号をパースします。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号をパースします。このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_PRT_Phone_Number_Standardization	ポルトガルの電話番号を国際通話および域内通話のフォーマットに標準化します。
rule_PRT_Phone_Number_Validation	ポルトガルの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の地域に加えて、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。

名前	説明
rule_PRT_Prenam_Assignm ent	性別に応じて敬称を生成します。female_prenam 式変数を「Sra」から「Sta」に変更できます。
rule_PRT_Salutation_Assign ment	名および名前トークンから正式なあいさつと略式のあいさつを生成します。例えば、入力データに「Sr. Artur Cruz」が含まれる場合、正式なあいさつ「Prezado Sr. Cruz,」と、略式のあいさつ「Prezado Artur,」を生成します。敬称と句読点を変更するには、dq_Generate_Salutation 式トランスフォーメーションの変数を編集します。

コア連絡先データクレンジングルールへの依存

ポルトガルアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の連絡先データクレンジングルールに依存します。

- rule_Email_Validation

これらのルールの詳細については、[「コア連絡先データクレンジングルール」](#) (ページ 21)を参照してください。

ポルトガル企業データクレンジングルール

企業データクレンジングルールは、データを解析、標準化、および検証するために使用します。

企業データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Corporate_Data_Cleansing

以下の表に、ポルトガルアクセラレータ内の企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_PRT_Company_Name_S tandardization	ポルトガルの会社名を参照テーブルの値に標準化します。
rule_PRT_NIPC_Parse	Número de Identificação Pessoa Colectiva (NIPC) を解析します。このルールは NIPC を返し、NIPC が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_PRT_NIPC_Standardize	Número de Identificação Pessoa Colectiva (NIPC) を 9 桁の文字列に標準化します。このルールは、英文字、記号、およびスペースを削除します。
rule_PRT_NIPC_Validate	Número de Identificação Pessoa Colectiva (NIPC) 番号を、そのチェックデジットに基づいて検証します。このルールでは、入力が 9 桁の文字列である必要があります。

ポルトガル一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、ポルトガルアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_PRT_NER_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報の種類を特定します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、およびポルトガルの住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データを使用して情報の種類を特定します。このルールは、確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。

コアの一般データのクレンジングルールに対する依存

ポルトガルアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_GeocodingStatus_Description
- rule_Assign_DQ_ElementResultStatus_Description
- rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description
- rule_Assign_DQ_Match_Code_Descriptions
- rule_Parse_First_Word
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Non_Numbers
- rule_Remove_Punctuation
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Replace_Limited_Punct_with_Space
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、「[コア一般データクレンジングルール](#)」(ページ 22)を参照してください。

ポルトガル一致および重複排除ルール

一致および重複排除ルールは、マッチ率を生成し、重複レコードを特定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、ポルトガルアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_Company_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値から Soundex コードを生成し、その Soundex コードをグループキーとして使用します。
mplt_PRT_Company_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名と住所データに基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。

名前	説明
mplt_PRT_Familyname_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、姓と住所データに基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_PRT_Firstname_and_NIF_BI_Match	フィールド照合ストラテジを使用し、名と個人識別番号（Número de Identificação Fiscal (NIF) や Bilhete de Identidade (BI) など）に基づいて、ポルトガルのデータ内の重複した行を特定します。このマップレットは、個人識別番号データからグループキーを生成します。
mplt_PRT_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_PRT_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_PRT_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_PRT_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、Número de Identificação Fiscal (NIF) などの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データから生成されたグループキーを生成します。
mplt_PRT_Individual_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と住所データに基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_PRT_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と日付データに基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。
mplt_PRT_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電子メールアドレスに基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_PRT_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電話番号に基づいて、ポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電話番号データからグループキーを生成します。
mplt_PRT_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名に基づいてポルトガルのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
rule_Company_Name_Match Score	会社名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_PRT_Company_Name_and_Address_MatchScore	会社名とポルトガルの住所データに基づいてマッチ率を生成します。

名前	説明
rule_PRT_Familyname_and_Address_MatchScore	姓とポルトガルの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_PRT_Firstname_and_NIF_BI_MatchScore	名のデータ、Número de Identificação Fiscal (NIF)、および Bilhete de Identidade (BI) 番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_PRT_Individual_Name_and_Address_MatchScore	人名とポルトガルの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_PRT_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_PRT_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。
rule_PRT_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	人名と電話番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_PRT_Individual_Name_MatchScore	人名に基づいてマッチ率を生成します。

ポルトガルデモンストレーションマッピング

ポルトガルアクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\PRT_Accelerator

このアクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれます。

m_PRT_customer_data_demo

ポルトガルのデータを解析、標準化、および検証します。

m_PRT_customer_matching_demo

ポルトガルからの ID データを解析して標準化し、データの ID 照合分析を行います。

このマッピングは、以下のデータの組み合わせを分析し、それぞれの組み合わせの一致クラスタを生成します。

- 人名と住所データ
- 人名と電話番号

第 12 章

スペインアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [スペインアクセラレータの概要, 124 ページ](#)
- [スペイン住所データクレンジングルール, 124 ページ](#)
- [スペイン連絡先データクレンジングルール, 126 ページ](#)
- [スペイン企業データクレンジングルール, 127 ページ](#)
- [スペイン一般データクレンジングルール, 127 ページ](#)
- [スペイン一致および重複排除ルール, 128 ページ](#)
- [スペインデモンストレーションマッピング, 130 ページ](#)

スペインアクセラレータの概要

スペインアクセラレータ内のルールは、スペインの組織からのデータの検証と改善に使用します。

スペインアクセラレータには、以下のデータ品質処理を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 企業データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除

このアクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるデータクレンジングルールに依存します。

スペイン住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、スペインアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_ESP_Address_Parse_Hybrid	構造化されていないスペインの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_ESP_Address_Parse_Multiline	構造化されていないスペインの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_ESP_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	スペインの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_ESP_Address_Validation_Discrete	スペインの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_ESP_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	スペインの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_ESP_Address_Validation_Hybrid	スペインの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_ESP_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	スペインの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_ESP_Address_Validation_Multiline	スペインの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。

スペイン連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、ビジネス上の連絡先や個人についてのデータを解析、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

以下の表に、スペインアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_ESP_CIF_Parse	スペインの Certificado de Identificación Fiscal (CIF) を解析します。
rule_ESP_CIF_Standardization	スペインの Certificado de Identificación Fiscal (CIF) を標準化します。
rule_ESP_CIF_Validation	スペインの Certificado de Identificación Fiscal (CIF) を検証します。
rule_ESP_DNI_Parse	スペインの Documento Nacional de Identidad (DNI) を解析します。
rule_ESP_DNI_Standardization	スペインの Documento Nacional de Identidad (DNI) を標準化します。
rule_ESP_DNI_Validation	スペインの Documento Nacional de Identidad (DNI) を検証します。
rule_ESP_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「Juan Garcia」という名前には、男性であることを示す「M」を性別として割り当てます。
rule_ESP_Given_Name_Standard	スペインのニックネームから名を生成します。
rule_ESP_NIE_Parse	スペインの Spanish Número de Identidad de Extranjero (NIE) を解析します。
rule_ESP_NIE_Standardization	スペインの Spanish Número de Identidad de Extranjero (NIE) を標準化します。
rule_ESP_NIE_Validation	スペインの Spanish Número de Identidad de Extranjero (NIE) を検証します。
rule_ESP_NIF_Parse	文字列からスペインの Número de Identificación Fiscal (NIF) を解析します。
rule_ESP_NIF_Standardization	スペインの Número de Identificación Fiscal (NIF) を標準化します。
rule_ESP_NIF_Validation	スペインの Número de Identificación Fiscal (NIF) を検証します。
rule_ESP_Personal_Name_Parse	スペインの人名を解析します。

名前	説明
rule_ESP_Phone_Number_Parse	文字列からスペインの電話番号を解析します。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号を解析します。このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_ESP_Phone_Number_Standardization	スペインの電話番号を国際通話および域内通話のフォーマットに標準化します。このルールは、先頭のゼロ、国際通話コード、またはハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。
rule_ESP_Phone_Number_Validation	スペインの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の地域に加えて、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。
rule_ESP_Phone_Parse_Standardize_Validate	スペインの電話番号を解析し、フォーマットを標準化します。スペインの電話番号の市外局番と長さを検証します。
rule_ESP_Prenome_Assignment	性別に応じて敬称を生成します。
rule_ESP_Salutation_Assignment	名および名前トークンから正式なあいさつと略式のあいさつを生成します。例えば、入力データに「Sr. Juan Garcia」が含まれる場合、正式なあいさつ「Estimado Sr. Garcia,」と略式のあいさつ「Querido Juan,」を生成します。敬称と句読点を変更するには、dq_Generate_Salutation 式トランスフォーメーションの変数を編集します。

コア連絡先データクレンジングルールへの依存

スペインアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の連絡先データクレンジングルールに依存します。

- rule_Email_Validation

これらのルールの詳細については、[「コア連絡先データクレンジングルール」](#) (ページ 21)を参照してください。

スペイン企業データクレンジングルール

企業データクレンジングルールは、企業データを標準化するために使用します。

スペインアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の企業データクレンジングルールに依存します。

- rule_Company_Name_Standardization

スペイン一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、スペインアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_ESP_NER_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報の種類を特定します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、およびスペインの住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。

スペインアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_ElementResultStatus_Description
- rule_Assign_DQ_GeocodingStatus_Description
- rule_Assign_DQ_Match_Code_Descriptions
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Leading_Zero
- rule_Remove_Limited_Punctuation
- rule_Remove_Non_Numbers
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Remove_Punctuation
- rule_Replace_limited_Punct_with_Space
- rule_Translate_Diacritic_Characters
- rule_UpperCase

スペイン一致および重複排除ルール

一致および重複排除ルールは、マッチ率を生成し、重複レコードを特定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、スペインアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_Company_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名に基づいて、重複する行を特定します。
mplt_ESP_Company_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名と住所データに基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。

名前	説明
mplt_ESP_Famillyname_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、姓と住所データに基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_ESP_Firstname_and_NIF_BI_Match	フィールド照合ストラテジを使用し、名と個人識別番号（Número de Identificación Fiscal（NIF）など）に基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、個人識別番号データからグループキーを生成します。
mplt_ESP_IMO_Company_Name_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名に基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値から Soundex コードを生成し、その Soundex コードをグループキーとして使用します。
mplt_ESP_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_ESP_IMO_Famillyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データから生成するグループキーを生成します。
mplt_ESP_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_ESP_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号や電子メールなどの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
mplt_ESP_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名に基づいてスペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
mplt_ESP_Individual_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と住所データに基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_ESP_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と日付に基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。

名前	説明
mplt_ESP_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、電子メールアドレスと人名に基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_ESP_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電話番号に基づいて、スペインのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電話番号データからグループキーを生成します。
rule_Company_Name_MatchScore	会社名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_ESP_Company_Name_and_Address_MatchScore	会社名とスペインの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_ESP_Famillyname_and_Address_MatchScore	姓とスペインの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_ESP_Firstname_and_NIF_BI_Matchscore	名と Número de Identificación Fiscal (NIF) 番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_ESP_Individual_Name_MatchScore	人名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_ESP_Individual_Name_and_Address_MatchScore	人名とスペインの住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_ESP_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_ESP_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。
rule_ESP_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	人名と電話番号に基づいてマッチ率を生成します。

スペインデモンストレーションマッピング

スペインアクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\ESP_Accelerator

このアクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれます。

m_ESP_customer_data_demo

スペインのデータを解析、標準化、および検証します。

m_ESP_customer_matching_demo

スペインからの ID データを解析して標準化し、データの ID 照合分析を行います。

このマッピングは、以下のデータの組み合わせを分析し、それぞれの組み合わせの一致クラスタを生成します。

- 人名と住所データ
- 人名と電話番号

第 13 章

英国アクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [英国アクセラレータの概要, 132 ページ](#)
- [英国住所データクレンジングルール, 132 ページ](#)
- [英国複合ルール, 134 ページ](#)
- [英国連絡先データクレンジングルール, 135 ページ](#)
- [英国企業データクレンジングルール, 137 ページ](#)
- [英国財務データクレンジングルール, 138 ページ](#)
- [英国一般データクレンジングルール, 138 ページ](#)
- [英国一致および重複排除ルール, 139 ページ](#)
- [英国デモンストレーションマッピング, 142 ページ](#)

英国アクセラレータの概要

米国アクセラレータ内のルールは、米国の組織からのデータの検証と改善に使用します。

英国アクセラレータには、以下のデータ品質処理を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 財務データクレンジング
- 一致および重複排除

このアクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるデータクレンジングルールに依存します。

英国住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、英国アクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_GBR_Address_Parse_Hybrid	構造化されていない英国の住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_GBR_Address_Parse_Multiline	構造化されていない英国の住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_GBR_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	英国の住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_GBR_Address_Validation_Discrete	英国の住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_GBR_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	英国の住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_GBR_Address_Validation_Hybrid	英国の住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_GBR_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	英国の住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_GBR_Address_Validation_Multiline	英国の住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_GBR_Postcode_Parse	英国の郵便番号を解析します。

名前	説明
rule_GBR_Postcode_Standardize	<p>英国の郵便番号を標準化します。このルールでは、入力が入力定義済みのフォーマットに従っている必要があります。</p> <p>このルールは、以下のパターンに一致する入力を標準化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - A9 9AA - A99 9AA - AA9 9AA - AA99 9AA - A9A 9AA - AA9A 9AA - GIR 0AA <p>文字 A は英字 1 つに相当し、数字 9 は数字 1 つに相当します。</p>
rule_GBR_Postcode_Validate	<p>英国の郵便番号を検証します。このルールでは、標準化された郵便番号を英国の有効な郵便番号と照合します。一致する郵便番号が見つからない場合、その郵便番号が英国の標準の郵便番号のパターンに従っているかどうかを検証します。</p>

英国複合ルール

英国アクセラレータの複合ルールを使用して、一連のルールを 1 つのオブジェクトとしてマッピングに追加します。複合ルールは、他のアクセラレータルールのロジックを使用するルールです。

これらの複合ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Composite_Rules

連絡先データの英国複合ルール

以下の表に、英国アクセラレータ内の、連絡先データの複合ルールを示します。

名前	説明
rule_GBR_Contact_Data	英国の連絡先データ（住所、電話番号、国民保険番号（NINO）など）を解析、標準化、および検証します。

ルール rule_GBR_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_GBR_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

名前	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

名前	場所
rule_GBR_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Address_Data_Cleansing
rule_GBR_Company_Name_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Corporate_Data_Cleansing
rule_GBR_Gender_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_GBR_Multi_Person_Name_Parse	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_GBR_NINO_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_GBR_NINO_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_GBR_Phone_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_GBR_Phone_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Prenome_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing

英国連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、ビジネス上の連絡先や個人についてのデータを解析、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

以下の表に、英国アクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_GBR_Driver_Number_Parse	英国の運転免許番号のフォーマットに一致する文字列を解析します。
rule_GBR_Driver_Number_Validation	英国の Government Data Standards Catalog の要件に基づいて、英国の運転免許番号を検証します。

名前	説明
rule_GBR_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「John Smith」という名前には、男性であることを示す「M」を性別として割り当てます。
rule_GBR_Given_Name_Standard	英国のニックネームから名を生成します。
rule_GBR_Multi_Person_Name_Parse	<p>人名の値を個別のポートに解析します。ルールによって、役職、名、ミドルネーム、姓などの値のポートが作成されます。</p> <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートが含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p> <p>名前のデータで複数の個人が識別されると、ルールは各フルネームに対して出力ポートを作成します。例えば、ルールは「John and Jane Smith」という名前を読み込み、「John Smith」と「Jane Smith」の出力ポートを作成できます。</p>
rule_GBR_NHS_Number_Parse	国民医療サービス（NHS）番号を文字列から解析します。このルールは NHS 番号を返し、NHS 番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_GBR_NHS_Number_Standardize	国民医療サービス（NHS）番号を標準フォーマット（999 999 9999）に標準化します。このルールでは、入力が 10 桁の文字列である必要があります。
rule_GBR_NHS_Number_Validate	国民医療サービス（NHS）番号を、そのチェックデジットに基づいて検証します。このルールでは、入力が 10 桁の文字列である必要があります。
rule_GBR_NINO_Conformity_Check	英国の国民保険番号（NINO）の標準パターンを検証します。このルールは、NINO が正確またはアクティブであることは確認しません。
rule_GBR_NINO_Parse	英国の国民保険番号（NINO）を文字列から解析します。このルールは NINO を返し、NINO が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_GBR_NINO_Standardization	<p>英国の国民保険番号（NINO）を最も典型的な 2 つのフォーマットに標準化します。このルールは以下のフォーマットを返します。C は英文字、N は数字をそれぞれ表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - CC NN NN NN C - CCNNNNNNNC <p>このルールは、すべての英文字を大文字としてフォーマットします。このルールでは、入力が NINO のパターンに準拠している必要があります。</p>
rule_GBR_NINO_Validation	英国の国民保険番号（NINO）を検証します。このルールは、NINO がアクティブであることは確認しません。
rule_GBR_Passport_Number_MR_Parse	拡張フォーマットの英国パスポート番号を解析します。拡張フォーマットは、パスポート番号用の機械で読み取り可能なフォーマットです。
rule_GBR_Passport_Number_Parse	Government Data Standards Catalogue によって指定されたフォーマットを使用する英国パスポート番号を解析します。このルールでは、9 桁の文字列のすべてを解析します。
rule_GBR_Passport_Number_Validation	Government Data Standards Catalogue によって指定されたフォーマットを使用する英国パスポート番号を検証します。

名前	説明
rule_GBR_Personal_Name_Parsing_FML	<p>人名の値を個別のポートに解析します。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 名、ミドルネーム、姓 <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p>
rule_GBR_Personal_Name_Parsing_LFM	<p>人名の値を個別のポートに解析します。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 姓、名、ミドルネーム <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p>
rule_GBR_Phone_Number_Parse	<p>文字列から英国の電話番号を解析します。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号を解析します。</p> <p>このルールは、先頭のゼロ、国際通話コードの「+44」、およびハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。このルールは、プラス記号、丸括弧、およびハッシュ記号の各句読点を処理します。このルールを実行する前に、ダブルスペースなど、その他のすべての句読点を削除します。</p> <p>このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。</p>
rule_GBR_Phone_Number_Standardization	<p>英国の電話番号を国際通話および域内通話のフォーマットに標準化します。このルールは、先頭のゼロ、国際通話コードの「+44」、およびハッシュ記号で始まる内線番号を使用する電話番号を認識します。</p>
rule_GBR_Phone_Number_Validation	<p>英国の電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の地域に加えて、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。</p>
rule_Prenam_Assignment	<p>性別に応じて敬称を生成します。female_prenam 式変数を Ms.から Mrs.に変更できます。</p>
rule_Salutation_Assignment	<p>名および名前トークンから正式なあいさつと略式のあいさつを生成します。例えば、入力データに「Mr. John Smith」が含まれる場合、正式なあいさつ「Dear Mr. Smith,」と、略式のあいさつ「Dear John,」を生成します。敬称と句読点を変更するには、dq_Generate_Salutation 式トランスフォーメーションの変数を編集します。</p>

英国企業データクレンジングルール

企業データクレンジングルールは、企業データを標準化するために使用します。

企業データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Corporate_Data_Cleansing

以下の表に、英国アクセラレータからの企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_GBR_Company_Name_Standardization	会社名を標準化し、可能であれば名前の頭字語を指定します。

英国財務データクレンジングルール

財務データクレンジングルールは、財務データを解析、標準化、および検証するために使用します。

財務データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Financial_Data_Cleansing

以下の表に、英国アクセラレータ内の財務データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_GBR_Bank_Account_Parse	8桁の数値文字列を英国の銀行口座番号として解析します。
rule_GBR_Bank_Account_Validation	英国の銀行口座番号を検証します。入力が数値であるかどうか、および桁数が正しいかどうかを示すコードが返されます。
rule_GBR_Bank_Sort_Code_Parse	6桁の数値文字列を英国の銀行のソートコードとして解析します。数値文字列は以下の形式で解析されます。 <ul style="list-style-type: none">- 連続した数値 (999999)- ダッシュで区切られた数値 (99-99-99)
rule_GBR_Bank_Sort_Code_Validation	ダッシュ区切りの形式 (99-99-99) に標準化された英国の銀行のソートコードについて、形式と長さを検証します。ソートコードの有効性を示す Status ポートと、ステータスの内容を示す Validation Note ポートが返されます。ソートコードのプレフィックスが英国の銀行に割り当てられた既知のプレフィックスと一致する場合は、Validation Note ポートに銀行名が含まれます。
rule_GBR_Bank_Sort_Code_Standardize	英国の銀行のソートコードを「NN-NN-NN」の形式に標準化します。

英国一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、英国アクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_GBR_NER_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報の種類を特定します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、および英国の住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データを使用して情報の種類を特定します。このルールは、確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。

英国アクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_GeocodingStatus_Description
- rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description
- rule_Assign_DQ_Match_Code_Descriptions
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Leading_Zero
- rule_Remove_Period_Parentheses
- rule_Remove_Punctuation
- rule_Remove_Punctuation_and_Space
- rule_Remove_Space
- rule_Replace_Limited_Punct_with_Space
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、[「コア一般データクレンジングルール」 \(ページ 22\)](#)を参照してください。

英国一致および重複排除ルール

一致および重複排除ルールは、データセット内のレコード同士がどの程度似ているかを測定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、英国アクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_GBR_Company_Name_Postcode_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名と郵便番号に基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマッピングレットは、郵便番号からグループキーを生成します。
mplt_GBR_Familyname_and_NINO_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、姓と国民保険番号（NINO）に基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマッピングレットは、NINO データからグループキーを生成します。

名前	説明
mplt_GBR_Famlyname_and_Postcode_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、姓と英国の郵便番号に基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_GBR_Firstname_3Chars Surname_DOB_and_Postcode_Match	<p>フィールド照合ストラテジを使用して、以下のデータに基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 名 - 姓の最初の 3 文字 - 誕生日 - 郵便番号 <p>このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。</p>
mplt_GBR_Firstname_Surname_2ElementsDOB_and_Postcode_Match	<p>フィールド照合ストラテジを使用して、以下のデータに基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 人名 - 月と年など、誕生日の任意の 2 つの要素 - 英国の郵便番号 <p>このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。</p>
mplt_GBR_Firstname_Surname_DOB_and_Postcode_Match	<p>フィールド照合ストラテジを使用して、以下のデータに基づいて、重複する行を特定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 人名 - 誕生日 - 郵便番号 <p>このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。</p>
mplt_GBR_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_GBR_IMO_Famlyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_GBR_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_GBR_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、国民保険番号などの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
mplt_GBR_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と日付データに基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。
mplt_GBR_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電子メールアドレスデータに基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_GBR_Individual_Name_and_NINO_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と国民保険番号（NINO）に基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、NINO データからグループキーを生成します。

名前	説明
mplt_GBR_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電話番号に基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、電話番号データからグループキーを生成します。
mplt_GBR_Individual_Name_and_Postcode_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と郵便番号データに基づいて、英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_GBR_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名に基づいて英国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIS コードを生成し、それらの NYSIS コードをグループキーとして使用します。
rule_GBR_Familyname_and_NINO_MatchScore	姓と英国の国民保険番号（NINO）に基づいてマッチ率を生成します。
rule_GBR_Familyname_and_Postcode_MatchScore	姓と英国の郵便番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_GBR_Firstname_3CharsSurname_DOB_and_Postcode_MatchScore	以下の情報に基づいてマッチ率を生成します。 <ul style="list-style-type: none"> - 名 - 姓の最初の 3 文字 - 誕生日 - 郵便番号
rule_GBR_Firstname_Surname_2ElementsDOB_and_Postcode_MatchScore	以下の情報に基づいてマッチ率を生成します。 <ul style="list-style-type: none"> - 人名 - 月と年など、誕生日の任意の 2 つの要素 - 英国の郵便番号
rule_GBR_Firstname_Surname_DOB_and_Postcode_MatchScore	人名、誕生日、および郵便番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_GBR_Individual_Name_and_NINO_MatchScore	人名と英国の国民保険番号（NINO）に基づいてマッチ率を生成します。
rule_GBR_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	人名と電話番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_GBR_Individual_Name_and_Postcode_MatchScore	人名と英国の郵便番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_MatchScore	人名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_GBR_Company_Name_Postcode_MatchScore	会社名と英国の郵便番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。

英国デモンストレーションマッピング

英国アクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\GBR_Accelerator

英国アクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれています。

m_GBR_customer_data_demo

英国の顧客データを解析、標準化、および検証します。

m_GBR_customer_matching_demo

英国からの ID データを解析して標準化し、データの ID 照合分析を行います。

このマッピングは、以下のデータの組み合わせを分析し、それぞれの組み合わせの一致クラスタを生成します。

- 人名と住所データ
- 人名と電話番号

第 14 章

米国/カナダアクセラレータ

この章では、以下の項目について説明します。

- [米国/カナダアクセラレータの概要, 143 ページ](#)
- [米国/カナダ住所データクレンジングルール, 143 ページ](#)
- [米国/カナダ複合ルール, 146 ページ](#)
- [米国/カナダ連絡先データクレンジングルール, 148 ページ](#)
- [米国/カナダ企業データクレンジングルール, 153 ページ](#)
- [米国/カナダ一般データクレンジングルール, 153 ページ](#)
- [米国/カナダ一致および重複排除ルール, 154 ページ](#)
- [米国/カナダデモンストレーションマッピング, 157 ページ](#)

米国/カナダアクセラレータの概要

米国/カナダアクセラレータ内のルールは、米国およびカナダの組織からのデータの検証と改善に使用します。

米国/カナダアクセラレータには、以下のデータ品質処理を実行するルールが含まれています。

- 住所データクレンジング
- 連絡先データクレンジング
- 一般データクレンジング
- 一致および重複排除

このアクセラレータは、コアアクセラレータでインストールされるデータクレンジングルールに依存します。

米国/カナダ住所データクレンジングルール

住所データクレンジングルールは、住所データを解析、標準化、および検証するために使用します。

住所データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にあります。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing

以下の表に、米国/カナダアクセラレータ内の住所データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_CAN_Address_Certification_Hybrid	<p>カナダ郵政省がカナダの住所用に保守している Software Evaluation and Recognition Program (SERP) 標準に照合して、カナダの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合に入力住所のエラーを修正します。さらに、SERP 標準に適合する住所を識別するステータスポートが含まれています。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p> <p>注: 一連の住所レコードを SERP 標準に照合して認証する場合は、認証レポートをカナダ郵政省に提出する必要があります。アドレスバリデータ変換には、レポートの情報を入力できるプロパティフィールドが含まれています。レポートを保存または印刷し、カナダ郵政省に提出する住所の詳細情報を含めます。</p>
rule_CAN_Address_Parse_Hybrid	<p>構造化されていないカナダの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p>
rule_CAN_Address_Parse_Multiline	<p>構造化されていないカナダの住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p>
rule_CAN_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	<p>カナダの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p>
rule_CAN_Address_Validation_Discrete	<p>カナダの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p>
rule_CAN_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	<p>カナダの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p>
rule_CAN_Address_Validation_Hybrid	<p>カナダの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p>
rule_CAN_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	<p>カナダの住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p>
rule_CAN_Address_Validation_Multiline	<p>カナダの住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。</p>
rule_CAN_Postcode_Validation	<p>カナダの郵便番号を検証します。このルールは、「有効」または「無効」を返します。</p>

名前	説明
rule_CAN_Province_Validation	カナダの州名を検証します。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
rule_USA_Address_Certification_Hybrid	米国郵政公社が住所のために保守している Coding Accuracy Support System (CASS) 標準に照合して、米国の住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合に入力住所のエラーを修正します。さらに、CASS 標準に適合する住所を識別するステータスポートが含まれています。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。 注: 一連の住所レコードを CASS 標準に照合して認証する場合は、認証レポートを USPS に提出する必要があります。アドレスバリデータ変換には、レポートの情報を入力できるプロパティフィールドが含まれています。レポートを保存または印刷し、USPS に提出する住所の詳細情報を含めます。
rule_USA_Address_Parse_Hybrid	構造化されていない米国の住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_USA_Address_Parse_Multiline	構造化されていない米国の住所を住所要素に解析します。このルールは住所を検証しません。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_USA_Address_Validation_Discrete_w_Geocoding	米国の住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_USA_Address_Validation_Discrete	米国の住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの個別入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_USA_Address_Validation_Hybrid_w_Geocoding	米国の住所の住所レコードの配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_USA_Address_Validation_Hybrid	米国の住所の住所レコードの配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの混合入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_USA_Address_Validation_Multiline_w_Geocoding	米国の住所の配達可能性を検証し、各出力住所に緯度と経度の座標を追加します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_USA_Address_Validation_Multiline	米国の住所の配達可能性を検証します。このルールは、可能な場合、入力アドレス内のエラーを修正します。このルールは、アドレスバリデータトランスフォーメーションの複数行入力ポートに入力アドレスフィールドを接続できる場合に使用します。
rule_USA_County_Validation	米国の郡名を検証します。このルールは、入力データをすべての州の郡名と比較します。このルールは、「有効」または「無効」を返します。

名前	説明
rule_USA_State_Validation	米国の州名を検証します。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
rule_USA_ZIPCode_Validation	米国の 5 桁の ZIP (Zone Improvement Plan) コードを検証します。このルールは、「有効」または「無効」を返します。

米国/カナダ複合ルール

米国/カナダアクセラレータの複合ルールを使用して、一連のルールを 1 つのオブジェクトとしてマッピングに追加します。複合ルールは、他のアクセラレータルールのロジックを使用するルールです。

これらの複合ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Composite_Rules

以下の表に、米国/カナダアクセラレータ内の複合ルールを示します。

名前	説明
rule_CAN_Contact_Data	カナダの連絡先データ（住所、電話番号、社会保険番号（SIN）など）を解析、標準化、および検証します。
rule_USA_Contact_Data	米国の連絡先データ（住所、電話番号、社会保障番号（SSN）など）を解析、標準化、および検証します。

カナダの連絡先データの複合ルール

ルール rule_CAN_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_CAN_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

ルール	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing
rule_CAN_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules\Address_Data_Cleansing
rule_CAN_Gender_Assignment	Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing
rule_CAN_Multi_Person_Name_Parse	Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing
rule_CAN_Phone_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

ルール	場所
rule_CAN_Phone_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_CAN_SIN_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_CAN_SIN_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Company_Name_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Corporate_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Prename_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing

米国の連絡先データの複合ルール

ルール rule_USA_Contact_Data は、リポジトリ内の複数のフォルダからマップレットを読み取ります。このルールには、再利用不可変換も含まれます。

以下の表に、rule_USA_Contact_Data のルールと変換の名前およびリポジトリの場所を示します。

ルール	場所
Case_Converter	再利用不可能なトランスフォーメーション
rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description	[Informatica_DQ_Content]\Rules \General_Data_Cleansing
rule_Company_Name_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Corporate_Data_Cleansing
rule_Email_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Prename_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_Salutation_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing
rule_USA_Address_Validation_Hybrid	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Address_Data_Cleansing
rule_USA_Gender_Assignment	[Informatica_DQ_Content]\Rules \Contact_Data_Cleansing

ルール	場所
rule_USA_Multi_Person_Name_Parse	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ Contact_Data_Cleansing
rule_USA_Phone_Number_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ Contact_Data_Cleansing
rule_USA_Phone_Number_Validation	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ Contact_Data_Cleansing
rule_USA_SSN_Standardization	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ Contact_Data_Cleansing
rule_USA_SSN_Validation_post_June2011	[Informatica_DQ_Content]\Rules\ Contact_Data_Cleansing

米国/カナダ連絡先データクレンジングルール

連絡先データクレンジングルールは、企業担当者と個人についてのデータを解析、標準化、および検証するために使用します。

連絡先データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Contact_Data_Cleansing

以下の表に、米国/カナダアクセラレータ内の連絡先データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_CAN_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「John Smith」という名前には、男性であることを示す「M」を性別として割り当てます。
rule_CAN_Given_Name_Standard	カナダのニックネームから名を生成します。例えば、「Bob」というニックネームは「Robert」という名に標準化されます。
rule_CAN_Multi_Person_Name_Parse	<p>人名の値を個別のポートに解析します。ルールによって、役職、名、ミドルネーム、姓などの値のポートが作成されます。</p> <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートが含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p> <p>名前のデータで複数の個人が識別されると、ルールは各フルネームに対して出力ポートを作成します。例えば、ルールは「John and Jane Smith」という名前を読み込み、「John Smith」と「Jane Smith」の出力ポートを作成できます。</p>

名前	説明
rule_CAN_Personal_Name_Parse_and_Standardize_FML	<p>人名の値を個別のポートに解析します。ルールは、名前値の標準化も行います。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 名、ミドルネーム、姓 <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p>
rule_CAN_Personal_Name_Parse_and_Standardize_LFM	<p>人名の値を個別のポートに解析します。ルールは、名前値の標準化も行います。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 姓、名、ミドルネーム <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p>
rule_CAN_Personal_Name_Parsing_FML	<p>人名の値を個別のポートに解析します。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 姓、名、ミドルネーム <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p> <p>注: ルールは、名前値を標準化しません。ルールが定義するシーケンスのカナダの名前値を標準化して解析する場合は、rule_CAN_Personal_Name_Parse_and_Standardize_FML を選択します。</p>
rule_CAN_Personal_Name_Parsing_LFM	<p>人名の値を個別のポートに解析します。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 姓、名、ミドルネーム <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p> <p>注: ルールは、名前値を標準化しません。ルールが定義するシーケンスのカナダの名前値を標準化して解析する場合は、rule_CAN_Personal_Name_Parse_and_Standardize_LFM を選択します。</p>
rule_CAN_Phone_Number_Parse	<p>文字列からカナダの電話番号を解析します。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号を解析します。このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。</p>
rule_CAN_Phone_Number_Standardization	<p>カナダの電話番号を標準化します。このルールは、次のフォーマットの電話番号を返します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 標準 - (nnn) nnn-nnnn - ダッシュ - nnn-nnn-nnnn - スペースなし - nnnnnnnnnn
rule_CAN_Phone_Number_Validation	<p>カナダの電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、電話番号の種類と有効性を示すコードを返します。種類は、「通話料無料」などのカテゴリを表します。</p>

名前	説明
rule_CAN_Phone_Parse_Standardize_Validate	テキスト文字列から電話番号を解析し、市外局番がカナダで有効であることを確認します。 市外局番が有効な場合、このルールは電話番号を 3 つの標準形式で返します。このルールは、データがカナダの電話番号の標準形式に準拠しているかどうかを示すステータス値も返します。
rule_CAN_Phone_w_Extension_Parse	番号がカナダの電話番号の標準形式に準拠している場合、テキスト文字列から数値を解析します。このルールでは、電話番号を解析するときにはすべての内線電話データが含まれます。
rule_CAN_SIN_Parse	カナダの社会保険番号 (SIN) を文字列から解析します。このルールは SIN を返し、SIN が削除された入力テキストを含む文字列も返します。
rule_CAN_SIN_Standardization	カナダの社会保険番号 (SIN) を標準化します。このルールは以下のフォーマットを出力できます。 <ul style="list-style-type: none"> - 句読点なし - nnnnnnnnnn - スペース - nnn nnn nnn - ダッシュ - nnn-nnn-nnn フォーマットを編集するには、dq_Format_SIN 式トランスフォーメーションの SIN_Format 式変数を編集します。デフォルトは「No_Punctuation」です。
rule_CAN_SIN_Validation	カナダの社会保険番号 (SIN) を検証します。このルールは、Luhn アルゴリズムを使用して SIN が有効かどうかを確認します。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
rule_Prenome_Assignment	性別に応じて敬称を生成します。female_prenome 式変数を Ms. から Mrs. に変更できます。
rule_Salutation_Assignment	名および名前トークンから正式なあいさつと略式のあいさつを生成します。例えば、入力データに「Mr. John Smith」が含まれる場合、正式なあいさつ「Dear Mr. Smith,」と、略式のあいさつ「Dear John,」を生成します。敬称と句読点を変更するには、dq_Generate_Salutation 式トランスフォーメーションの変数を編集します。
rule_USA_Gender_Assignment	名に応じて性別を割り当てます。このルールは、男性名には「M」、女性名には「F」、性別が不明な場合には「U」を返します。例えば、「John Smith」という名前には、男性であることを示す「M」を性別として割り当てます。
rule_USA_Given_Name_Standard	米国のニックネームから名を生成します。例えば、「Bob」というニックネームは「Robert」という名に標準化されます。
rule_USA_Multi_Person_Name_Parse	人名の値を個別のポートに解析します。ルールによって、役職、名、ミドルネーム、姓などの値のポートが作成されます。 ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートが含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。 名前のデータで複数の個人が識別されると、ルールは各フルネームに対して出力ポートを作成します。例えば、ルールは「John and Jane Smith」という名前を読み込み、「John Smith」と「Jane Smith」の出力ポートを作成できます。

名前	説明
rule_USA_Personal_Name_Parse_and_Standardize_FML	<p>人名の値を個別のポートに解析します。ルールは、名前値の標準化も行います。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 名、ミドルネーム、姓 <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p>
rule_USA_Personal_Name_Parse_and_Standardize_LFM	<p>人名の値を個別のポートに解析します。ルールは、名前値の標準化も行います。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 姓、名、ミドルネーム <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p>
rule_USA_Personal_Name_Parse_Validation	<p>名前の性別の割り当てを検証します。このルールは、データ値が男性名または女性名である可能性を計算します。性別が不明な場合、このルールは、確率計算を使用して性別を名前に割り当てます。</p>
rule_USA_Personal_Name_Parsing_FML	<p>人名の値を個別のポートに解析します。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 名、ミドルネーム、姓 <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p> <p>注: ルールは、名前値を標準化しません。ルールが定義するシーケンスの米国の名前値を標準化して解析する場合は、rule_USA_Personal_Name_Parse_and_Standardize_FML を選択します。</p>
rule_USA_Personal_Name_Parsing_LFM	<p>人名の値を個別のポートに解析します。</p> <p>ルールによって、以下の順序でポートが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 姓、名、ミドルネーム <p>ルールの出力には、レコードの個人のフルネームを含むポートも含まれます。フルネームのポートは、ID 照合分析マッピングの一致トランスフォーメーションへの入力として使用できます。</p> <p>注: ルールは、名前値を標準化しません。ルールが定義するシーケンスの米国の名前値を標準化して解析する場合は、rule_USA_Personal_Name_Parse_and_Standardize_LFM を選択します。</p>
rule_USA_Phone_Number_Parse	<p>文字列から米国の電話番号を解析します。このルールは、右から左の順で、データ内の最初の電話番号を解析します。このルールは電話番号を返し、電話番号が削除された入力テキストを含む文字列も返します。</p>
rule_USA_Phone_Number_Standardization	<p>米国の電話番号を標準化します。このルールは、次のフォーマットの電話番号を返します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 標準 - (nnn) nnn-nnnn - ダッシュ - nnn-nnn-nnnn - スペースなし - nnnnnnnnn
rule_USA_Phone_Number_Validation	<p>米国の電話番号の市外局番と長さを検証します。このルールは、市外局番と電話番号の長さが有効であるかどうかを示すコードを返します。</p>

名前	説明
rule_USA_Phone_Parse_Standardize_Validate	テキスト文字列から電話番号を解析し、市外局番が米国で有効であることを確認します。 市外局番が有効な場合、このルールは電話番号を 3 つの標準形式で返します。このルールは、データが米国の電話番号の標準形式に準拠しているかどうかを示すステータス値も返します。
rule_USA_Phone_w_Extension_Parse	番号が米国の電話番号の標準形式に準拠している場合、テキスト文字列から数値を解析します。このルールでは、電話番号を解析するときにはすべての内線電話データが含まれます。
rule_USA_SSN_Parse	米国の社会保障番号 (SSN) を解析します。
rule_USA_SSN_Parse_Standardize_and_Validate	米国の社会保障番号を、より長いテキスト文字列から解析、標準化、および検証します。このルールは、ダッシュを含むかまたは省略した数値を解析できます。 デフォルトでは、このルールは句読点なしで社会保障番号を書き込みます。標準化の形式を変更するには、ルールで dq_SSN_Format 変換を開き、SSN_Format ポートで式を更新します。
rule_USA_SSN_Standardization	米国の社会保障番号 (SSN) を標準化します。このルールは以下のフォーマットを出力できます。 - 句読点なし - nnnnnnnnnn - スペース - nnn nnn nnn - ダッシュ - nnn-nnn-nnn フォーマットを変更するには、dq_SSN_Format 式トランスフォーメーションの SSN_format 式変数を編集します。デフォルトは「No_Punctuation」です。
rule_USA_SSN_Validation	米国の社会保障番号 (SSN) を検証します。このルールは、各 SSN について、[地域]、[グループ]、[シリアル番号] セクションの長さ、数値、および既知の最小値と最大値を検証します。 [地域] セクションは、SSN の最初の 3 桁を構成し、[グループ] セクションは 4 桁目と 5 桁目を構成します。[シリアル番号] セクションは、最後の 4 桁を構成します。 SSN が 2011 年 6 月以前に発行されたものである場合は、[地域] の値と [グループ] の値が有効な組み合わせであることも検証します。SSN が発行済み番号であることは確認しません。このルールは、「有効」または「無効」を返します。
rule_USA_SSN_Validation_post_June2011	米国の社会保障番号 (SSN) を検証します。このルールは、各 SSN について、[地域]、[グループ]、[シリアル番号] セクションの長さ、数値、および既知の最小値と最大値を検証します。 [地域] セクションは、SSN の最初の 3 桁を構成し、[グループ] セクションは 4 桁目と 5 桁目を構成します。[シリアル番号] セクションは、最後の 4 桁を構成します。 このルールは [地域] の値と [グループ] の値が有効な組み合わせであることは検証しません。SSN が発行済み番号であることは確認しません。このルールは、「有効」または「無効」を返します。

コア連絡先データクレンジングルールへの依存

米国/カナダアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の連絡先データクレンジングルールに依存します。

- rule_Email_Validation

これらのルールの詳細については、[「コア連絡先データクレンジングルール」](#) (ページ 21) を参照してください。

米国/カナダ企業データクレンジングルール

米国/カナダアクセラレータ内の企業データクレンジングルールは、企業データを解析、標準化、および検証するために使用します。

以下の表に、米国/カナダアクセラレータ内の企業データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_NAICS_Code_Validation	北米産業分類システム（NAICS）コードを検証します。
rule_USA_SIC_Code_Validation	標準産業分類（SIC）コードを検証します。

米国/カナダアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の企業データクレンジングルールに依存します。

- rule_Company_Name_Standardization

米国/カナダ一般データクレンジングルール

一般データクレンジングルールは、入力フィールドに含まれている情報の種類を識別する場合に使用します。

一般データクレンジングルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\General_Data_Cleansing

以下の表に、米国/カナダアクセラレータ内の一般データクレンジングルールを示します。

名前	説明
rule_CAN_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報のタイプを識別します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、およびカナダの住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データを使用して情報の種類を特定します。
rule_CAN_NER_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報のタイプを識別します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、およびカナダの住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データを使用して情報の種類を特定します。このルールは、確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。
rule_USA_Field_Identification	入力フィールドに含まれる情報のタイプを識別します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、および米国の住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データを使用して情報の種類を特定します。

名前	説明
rule_Field_North_American_Data	<p>名前、職業上の役職、会社、住所、市区町村、都道府県、州または郡、郵便番号、国、個人 ID、電子メール、電話番号、クレジットカード番号、日付などのタイプのフィールドを識別します。</p> <p>このルールは、フィールド識別の信頼度を示すスコアを生成します。スコアが高ければ、信頼度が高いことになります。</p> <p>ルールでフィールドタイプを割り当てることができない場合、このルールは Out_Undetermined ポートにデータを書き込みます。</p>
rule_USA_NER_Field_Identification	<p>入力フィールドに含まれる情報のタイプを識別します。このルールは、名前、個人 ID、会社名、日付、および米国の住所データを特定できます。このルールは、入力データの種類を表すラベルを返します。このルールは、参照データを使用して情報の種類を特定します。このルールは、確率的な照合方法を使用して情報の種類を特定します。</p>

コアの一般データのクレンジングルールに対する依存

米国/カナダアクセラレータは、コアアクセラレータの以下の一般データクレンジングルールに依存します。

- rule_Assign_DQ_GeocodinStatus_Description
- rule_Assign_DQ_Mailability_Score_Description
- rule_Assign_DQ_Match_Code_Descriptions
- rule_Date_Validation
- rule_Remove_Extra_Spaces
- rule_Remove_Punctuation
- rule_Replace_Limited_Punct_with_Space
- rule_UpperCase

これらのルールの詳細については、[「コア一般データクレンジングルール」 \(ページ 22\)](#)を参照してください。

米国/カナダ一致および重複排除ルール

一致および重複排除ルールは、データセット内のレコード同士がどの程度似ているかを測定するために使用します。

一致および重複排除ルールは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules\Matching_Deduplication

以下の表に、米国/カナダアクセラレータ内の一致および重複排除ルールを示します。

名前	説明
mplt_CAN_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、カナダのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_CAN_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、カナダのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_CAN_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、カナダのデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_CAN_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、カナダのデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、社会保険番号などの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
mplt_Company_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名と住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_Company_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、会社名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、会社名の値から Soundex コードを生成し、その Soundex コードをグループキーとして使用します。
mplt_Familyname_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、姓と住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_Firstname_and_SSN_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、名と米国の社会保険番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、社会保険番号データからグループキーを生成します。
mplt_Individual_Name_and_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と米国の住所データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値と郵便番号の値に含まれる文字の組み合わせを使用し、グループキーを生成します。
mplt_Individual_Name_and_Date_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と日付データに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、日付データからグループキーを生成します。
mplt_Individual_Name_and_Email_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電子メールアドレスに基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、電子メールアドレスデータからグループキーを生成します。
mplt_Individual_Name_and_Phone_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と電話番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、電話番号データからグループキーを生成します。
mplt_Individual_Name_and_SSN_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名と米国の社会保険番号に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、社会保険番号データから生成されたキーを生成します。

名前	説明
mplt_Individual_Name_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、人名に基づいて、重複する行を特定します。このマップレットは、姓の値から NYSIIS コードを生成し、それらの NYSIIS コードをグループキーとして使用します。
mplt_USA_Address_Match	フィールド照合ストラテジを使用して、米国の住所データに基づいて、米国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_USA_IMO_Company_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、会社名と住所に基づいて、米国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_USA_IMO_Familyname_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、姓と住所に基づいて、米国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_USA_IMO_Individual_Name_and_Address_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と住所に基づいて、米国のデータ内の重複する行を特定します。このマップレットは、郵便番号データからグループキーを生成します。
mplt_USA_IMO_Personal_Name_and_Data_Match	ID 照合ストラテジを使用して、人名と個人データに基づいて、米国のデータ内の重複する行を特定します。個人データカラムのフィールドには、電話番号、電子メール、社会保障番号などの、単一の種類のデータが含まれている必要があります。このマップレットは、個人データからグループキーを生成します。
rule_Company_Name_and_Address_MatchScore	会社名と米国の住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_Company_Name_MatchScore	会社名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Familyname_and_Address_MatchScore	姓と米国の住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_Firstname_and_SSN_MatchScore	名と米国の住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Address_MatchScore	人名と米国の住所データに基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Date_MatchScore	人名と日付に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Email_MatchScore	人名と電子メールアドレスに基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_Phone_MatchScore	人名と電話番号に基づいてマッチ率を生成します。
rule_Individual_Name_and_SSN_MatchScore	人名、社会保障番号、および ID データに基づいてマッチ率を生成します。

名前	説明
rule_Individual_Name_Match Score	人名に基づいてマッチ率を生成します。
rule_USA_Address_MatchScore	米国の住所データに基づいてマッチ率を生成します。

米国/カナダデモンストレーションマッピング

米国/カナダアクセラレータ内のデモンストレーションマッピングは、複数のルールを使用してデータ品質処理を示します。

これらのデモンストレーションマッピングは、以下のリポジトリの場所にインストールされます。

[Informatica_DQ_Content]\Rules_Demo\US_Canada_Accelerator

米国/カナダアクセラレータには、以下のデモンストレーションマッピングが含まれています。

m_customer_data_US_demo

米国およびカナダのデータを解析、標準化、および検証します。

m_customer_matching_US_demo

米国からの ID データを解析して標準化し、データの ID 照合分析を行います。

このマッピングは、以下のデータの組み合わせを分析し、それぞれの組み合わせの一致クラスタを生成します。

- 人名と住所データ
- 人名と電話番号